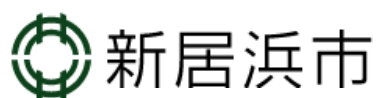


新居浜市シティブランド戦略

平成29年3月

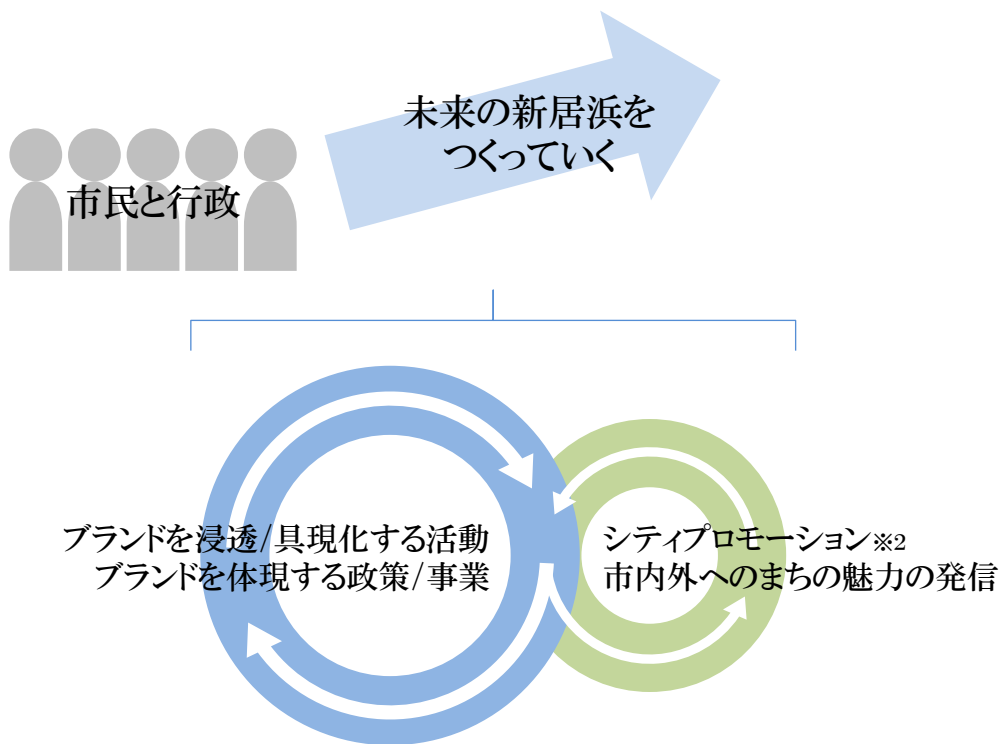


1	はじめに	2
	(1) シティブランド戦略とは	3
	(2) シティブランド戦略立案の趣旨	4
	(3) シティブランド戦略立案のプロセス	5
2	新居浜市の現状と課題	6
	(1) 調査分析からの示唆	7
3	シティブランド戦略	14
	(1) シティブランドにおける価値構造	15
	(2) シティブランドとシンボルターゲット	16
	(3) シティブランドと新居浜のポテンシャル	17
	(4) シティブランド戦略のブランド・エッセンス	18
	(5) シティブランド戦略の取組	19
	(6) シティブランド戦略の目指すところ	20
	(7) シティブランド戦略の5つの指針	21
	(8) シティブランド戦略の目標指標(KPI)	22
4	ブランド・スローガンとシンボルマーク	23
	(1) ブランド・スローガン	25
	(2) シンボルマーク	26
	(3) ブランド・スローガンとシンボルマークの開発・選定理由	27
5	シティブランド実施計画	28
	(1) シティブランド実施計画と3か年の位置付け	30
	(2) 展開施策の方向	31
	(3) シティブランド実施計画と市民との関係	33
	(4) シティブランド実施計画の推進体制	34

1 はじめに

新居浜市シティブランド※1 戦略とは、
新居浜市の目指す方向を明らかにし、
市民と行政とが一緒になって、
未来の新居浜をつくっていく活動です。

新居浜市シティブランド戦略



※1 シティブランド

都市の名前から人々が思い浮かべる全体的な評価。
その評価によって、そのまちの特産品を買いたい、
観光に訪れたい、そのまちに住みたいといった効果生まれる。

※2 シティプロモーション

広告や広報などを通じて、まちの魅力を市内外に発信すること。

新居浜市人口ビジョン(平成27年12月策定)

平成72(2060)年の将来目標人口を9万人に設定

新居浜市総合戦略(平成27年12月策定)

「住みたい、住み続けたい あかがねのまち」の実現を目指し、人口減少の抑制と本市の地方創生に資する事業を実施



上記の目標達成に向けて、

- 明確な目標と、新居浜市が持っているポテンシャル※1を最大化するコンセプト※2の設定
- それを具体化する幅広い施策の連携と中長期の実践が必要



シティブランド戦略は、それらを実現するための有効な手段

さらに、市制施行80周年を迎える平成29年は、シティブランド戦略をスタートさせるのに、最良のタイミングです。

※1 ポテンシャル
潜在的な能力。

※2 コンセプト
商品などの全体につらぬかれた、骨格となる発想や観点。

数字で語る。
市民の声に
耳を傾ける。

調査分析

- ファクトブックまとめ
- ベンチマーク調査分析
- 市民アンケート調査
- 市民ワークショップ※
(主婦/社会人/高校生)
- 市民ヒアリング
(高校教諭)

2016/5-8

次世代の
職員とともに
構想する。

若手職員との 協働

- 庁内若手職員
ワークショップ※
- #1: 2016/7/27
#2: 2016/9/12-13
#3: 2016/10/19

戦略を描く。
実現のために
計画する。

ブランド戦略と 実施計画の立案

- シティブランド戦略立案
- シティブランド戦略
実施計画立案

2016/9-2017/2

未来への
市民の想いを
カタチにする。

スローガンと シンボルマーク

- スローガン開発・選定
- シンボルマーク開発・選定

2016/11-12

※ ワークショップ
特定のテーマについて、専門的な進行のもとで、
参加者同士が議論を重ねたりアイデアを生み出したりする場。

2 新居浜市の現状と課題

新居浜市の現状

- 平成27年国勢調査で119,903人。平成22年からは1.5%の減少。周辺の都市の人口減少が著しい中、比較的その減少は軽微。
- 住友グループ企業を中心とした、産業構造が強固に存在。
- 新居浜市の歴史は、日本における産業近代化の縮図とも呼べるものであり、精銅場、製錬所、水力発電所、鉱山鉄道、総合病院、社宅群など、常に新しいものを取り入れてきた。
- 合計特殊出生率は1.80(平成20～24年)であり、四国内で最も高い。愛媛県全体の1.50(平成20～24年)、日本全体の1.43(平成23年)を大きく上回る。

新居浜市は、日本全国はもとより県内でも
十分に存在感を示すことができていない。
※全国順位で魅力度や認知度は500位/1000位前後
県内及び日本全国での存在感の向上は大きな課題です。

	魅力度		認知度		情報接触度		観光意欲度		居留意欲度						
	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位					
松山市	13.9	123	1	35.3	141	1	22.7	178	2	24.4	144	1	5.6	100	1
今治市	13.0	136	2	34.8	150	2	26.9	120	1	24.0	154	2	4.5	176	2
宇和島市	7.7	281	3	25.0	319	4	13.9	358	3	19.5	247	3	2.9	437	7
伊予市	6.6	330	4	25.3	313	3	12.3	412	4	18.1	291	4	4.1	211	3
西条市	5.1	418	5	17.0	545	6	10.9	469	6	12.7	596	7	4.0	223	5
八幡浜市	4.8	437	6	16.1	569	7	10.7	477	7	16.6	353	5	4.1	211	3
内子町	4.0	501	7	7.7	884	11	5.0	837	11	11.4	741	11	2.5	603	8
新居浜市	3.5	558	8	18.8	487	5	9.7	530	8	12.4	626	8	2.1	791	12
西予市	2.8	676	9	10.5	776	9	5.1	826	10	14.0	512	6	3.1	371	6
砥部町	2.8	676	9	8.5	856	10	5.7	766	9	10.8	805	13	2.3	698	10
大洲市	2.5	728	11	7.5	892	13	4.0	896	12	11.3	751	12	1.7	917	14
東温市	2.0	828	12	7.6	888	12	3.5	934	14	12.2	654	9	2.5	603	8
伊方町	1.9	855	13	13.7	640	8	12.3	412	4	10.4	855	14	1.8	898	13
四国中央市	1.3	962	14	7.3	902	14	3.9	902	13	9.2	955	15	1.7	917	14
愛南町	1.1	983	15	5.2	976	15	2.5	988	15	11.6	714	10	2.2	743	11

	産品購入意欲度		食品想起率		食品以外想起率				
	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位			
松山市	25.9	131	3	7.7	118	3	1.7	98	3
今治市	35.6	24	1	4.1	237	5	21.7	1	1
宇和島市	25.3	156	4	8.5	106	2	1.6	105	4
伊予市	27.3	107	2	9.9	90	1	0.3	498	7
西条市	17.4	794	12	2.4	376	6	0.2	611	9
八幡浜市	24.6	176	5	5.4	176	4	0.1	713	11
内子町	18.4	664	11	1.2	640	12	0.7	248	5
新居浜市	19.9	460	9	2.2	509	10	0.2	611	9
西予市	21.7	326	6	2.4	376	6	0.1	713	11
砥部町	20.6	398	7	0.3	922	15	3.3	46	2
大洲市	17.3	805	14	1.2	640	12	0.1	713	11
東温市	20.3	431	8	1.4	575	11	0.0	822	14
伊方町	17.4	794	12	1.9	461	8	0.3	498	7
四国中央市	17.1	828	15	1.9	461	8	0.6	294	6
愛南町	19.4	523	10	0.5	860	14	0.0	822	14

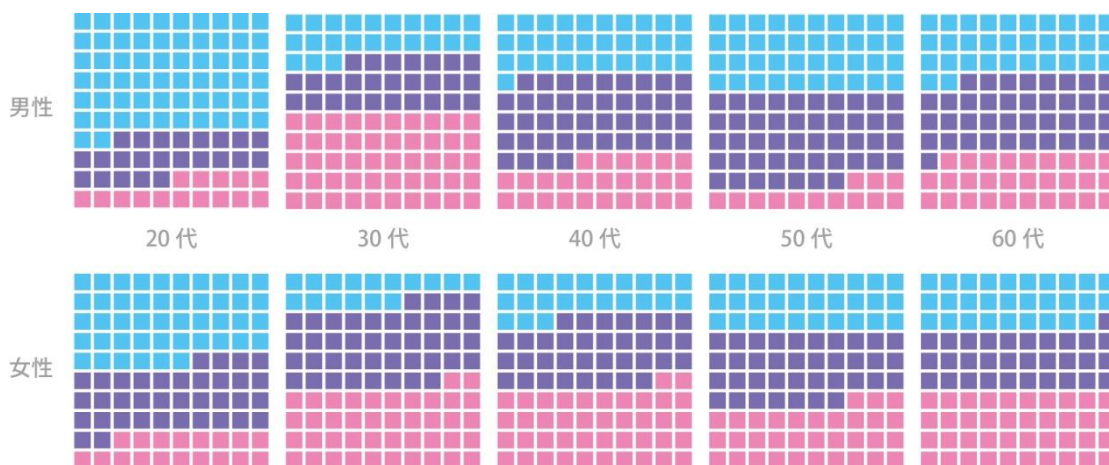
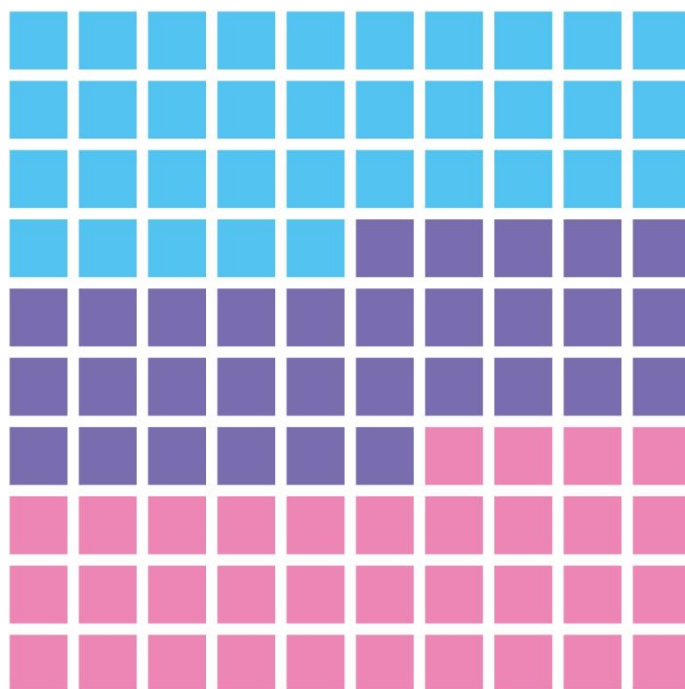
全国順位は日本の1,000市町村の中での順位
県内順位は愛媛県の15市町の中での順位
※魅力度で並び替え

新居浜出身でずっと住み続ける人と、
 新居浜出身で一度市外に出てから戻ってきた人と、
 市外で生まれて転入した人が概ね1/3ずつを占めている。
 人口の流動性と循環性が高く、
 常に外からの新しい人を迎えています。

35%
 新居浜出身

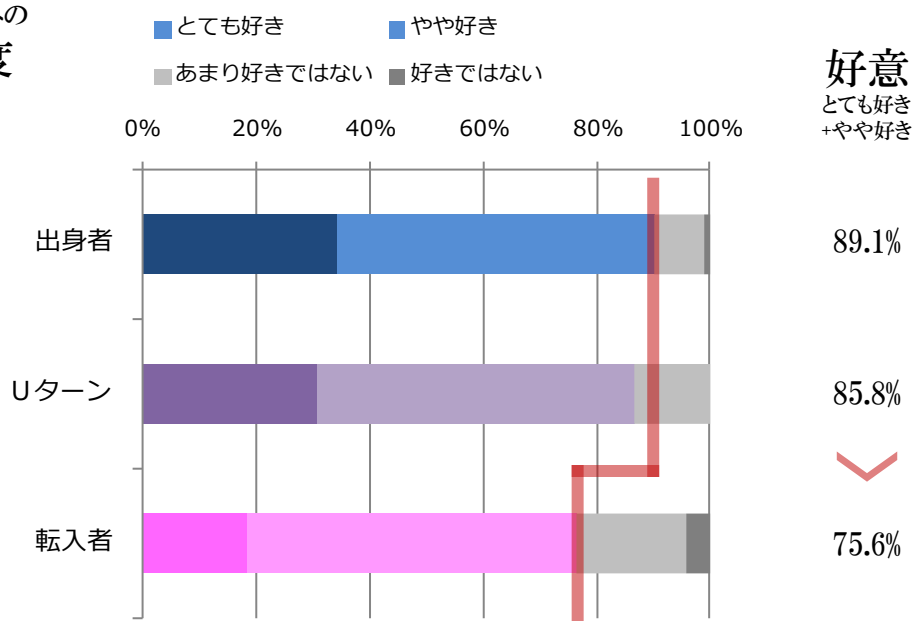
31%
 Uターン

34%
 転入

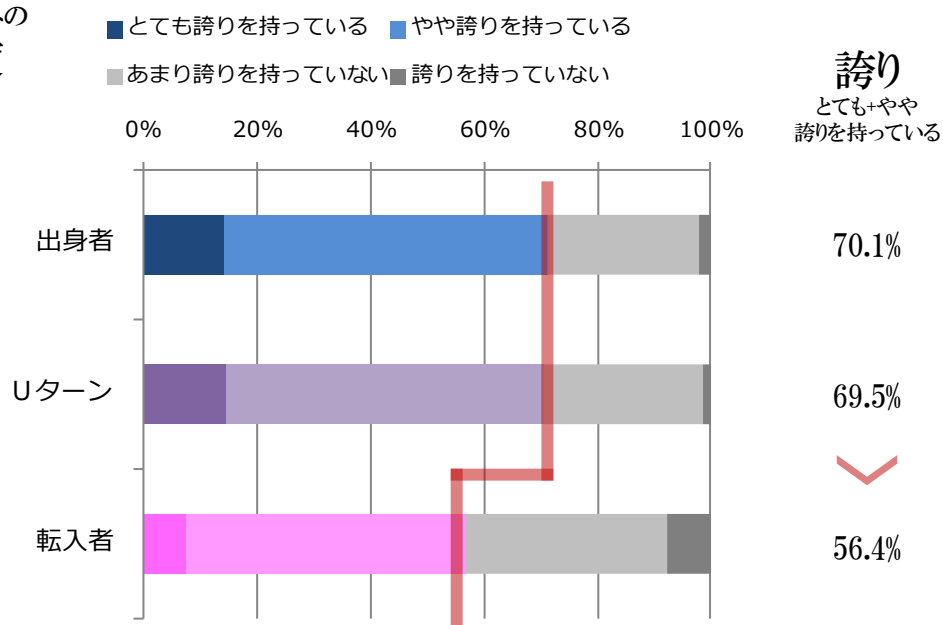


市外からの転入者は、地元出身者やUターン層よりも
新居浜市への好意度・誇り度が10ポイント以上低い。
この差を縮めること、全体にスコアの底上げをすることが課題です。

新居浜市への 好意度

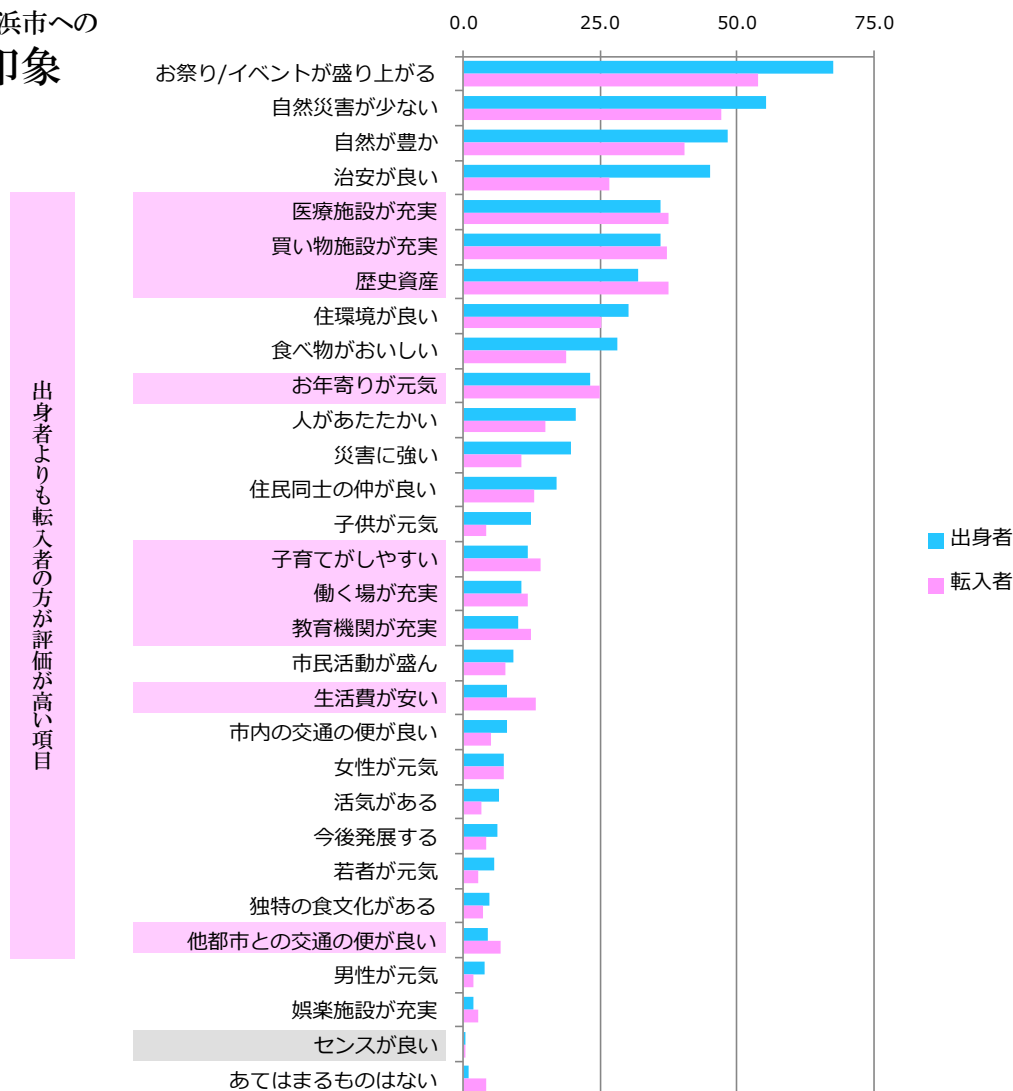


新居浜市への 誇り度



市外からの転入者と、新居浜出身者とは、
新居浜市への印象として評価する項目にズレがあり、度合いにも差がある。
新居浜市の未来を考える上で、このズレを認識し、
同じ未来を目指せるようにすることを目標とします。

新居浜市への 印象



市民ワークショップ・市民ヒアリングにおける参加者の声



主婦 30-40代

「大都市に比べて物足りなさを感じる」
「子どもに芸術文化をもっと体験させたい」



社会人 転入者 男性20-30代

「地元の人との交流が少ない」
「市への愛着が薄い」



高校生

「市への愛着は非常に高い」
「卒業したら市外に出る予定、将来的には戻ってきたいけれど・・・」



高校教諭

「(実感レベルだが)大学等へ進学後に新居浜へ戻ってくるのは少数派」
「生徒は新居浜が大好きだけれど、それが地元に戻る動機にはなりにくい」

SWOT分析※

<p>強み (Strength)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住友グループ企業を中心とした製造業中心の強固な産業構造 就職などによる若年層の継続的な転入 高い出生率(平成20～24年は四国内で最高) 人口減少は軽微にとどまる 常に新しいモノを取り入れてきた歴史と活力 	<p>弱み (Weakness)</p> <ul style="list-style-type: none"> 10代後半の進学、就職による転出(戻ってこない人も多い) 30～40代家族が転出超過数の約半分を占めると推測される 地元出身者やUターン層に比べ、転入者の市への評価が低い 十分活かされていない観光資源(観光・産品資源の認知度が低い) 市内公共交通の整備が不十分
<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年は市制施行80周年、えひめ国体があり、市全体の盛り上がり期待 地方創生への取組を推進、予算も継続 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少、少子高齢化の中で、大都市圏への人口集中は継続 地域間競争の激化

新居浜市のシティブランド戦略策定上の課題は、次のとおりです。

産業都市としての基盤は維持されているため、若年層が流入し、また出生率の高さもあり、地方都市としては人口の減少は軽微にとどまっている。

しかしながら、10代後半、30～40代家族を中心とする転出者も多いことから、転出抑制が課題となる。

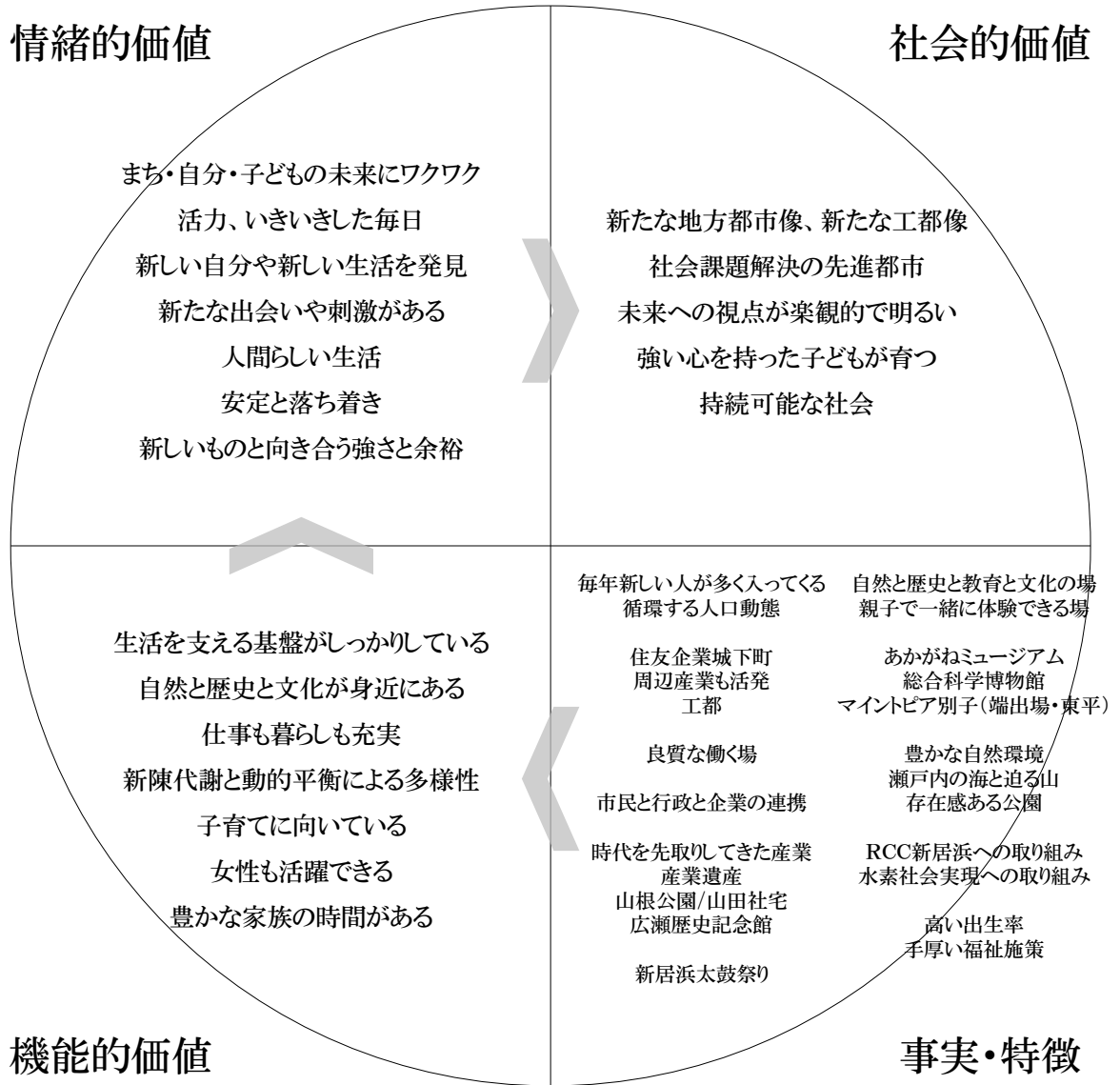
そのためには、日常生活における市民の満足度を高めていく必要があります。

※ SWOT分析
組織などが持つ強み(Strength)と弱み(Weakness)、
環境における機会(Opportunity)と脅威(Threat)に分けて分析する手法。

3 シティブランド戦略

ブランド価値構造

ブランドを構成する要素を、事実・特徴→機能的価値→情緒的価値→社会的価値の4つの視点から分析



新居浜市以外の出身(転入者)、20代後半から30代で、 小さな子ども(未就学児)のいるママ

- 新居浜市に住み続けるかどうかの意思決定をする年代へのアプローチ
- もともと新居浜への評価は高くないが、この層の共感を得られれば、新居浜への定着が進み、他の層にも共感が拡がることが期待される
- 子育てしやすいまちづくりを進め、子育てを地域と関わるきっかけとし、行政や地元出身者とのつながりと新居浜への愛着を持ってもらう

※ 市の取組は、すべての市民のためのものですが、シティブランド戦略立案においては、象徴的なターゲット※ を設定します。そのターゲットにまず伝わるかどうかを出発点とし、戦略を練り上げることにより、市民すべてが共感し参加できるものにしていきます。

- 新居浜はずっと昔から、「新しい」を受け入れてきた
- 市制施行80周年を迎える今、
さらに「新しい」ヒト・モノ・コトを引き寄せ、
これまでとこれからが混ざり合うことにより、
他にはない新居浜市の「新しい」暮らしをつくりあげていく。
- 「新しい」視点によって、まちの魅力が再発見される。
「新しい」価値観によって、まちの未来が構想される。
「新しい」挑戦によって、まちが活性化する。
それらを、新居浜の未来の活力に。

新居浜はずっと昔から、「新しい」を受け入れてきました。
「新居」という地名に起源を持つまち。
別子銅山の発見によって「新しい仕事」が生まれたまち。
そして、工都として働き手である多くの「新しい人々」を受け入れてきたまち。

新居浜は今でも、毎年多くの「新しい人々」を迎え入れています。
3人に1人はずっと新居浜に住んでいる人、
次の1人は一旦外に出てから戻ってきた人、
そして残りの1人は新居浜に新しくやってきた人で構成されています。

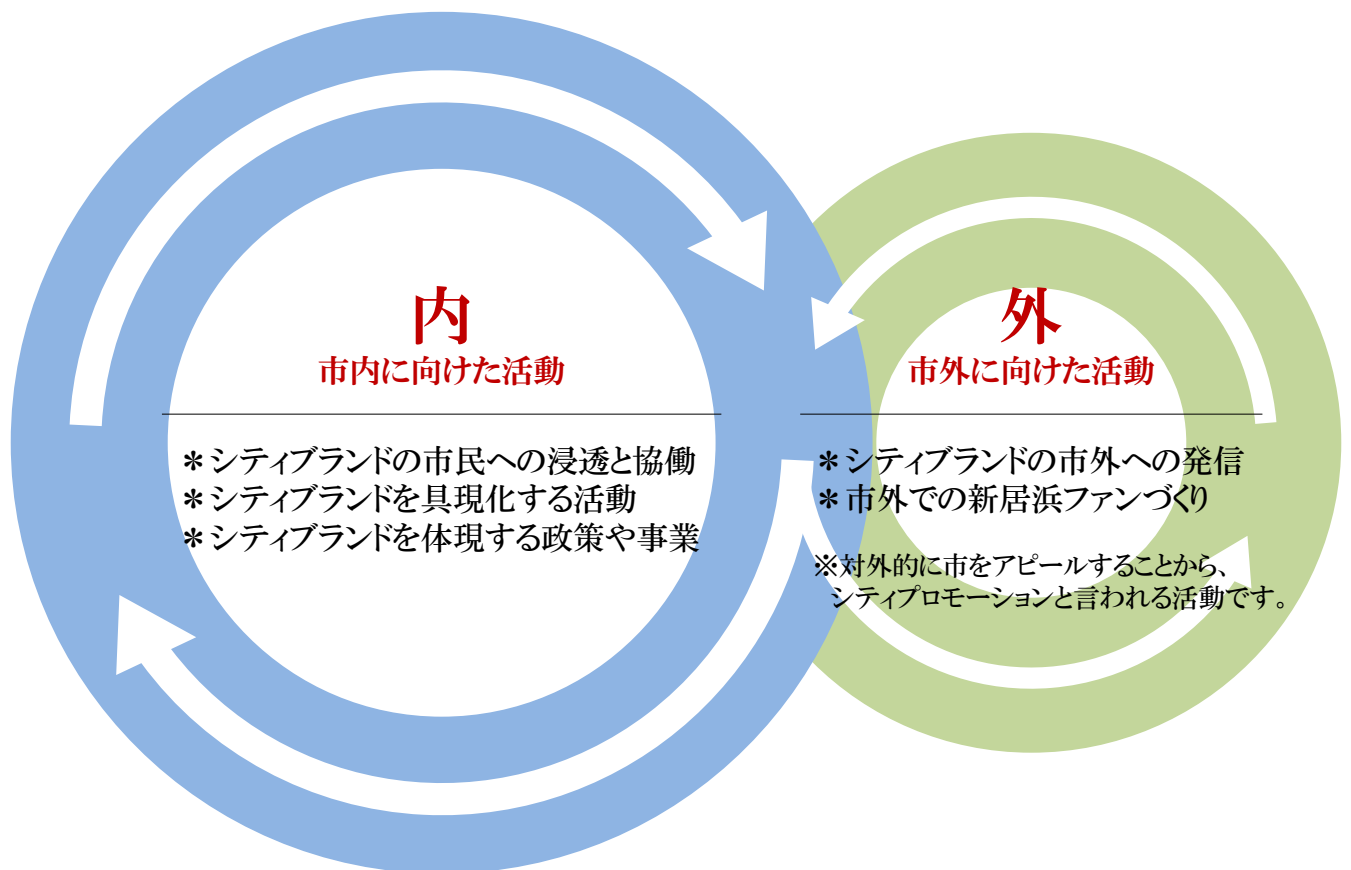
そして新居浜は、「新しい」ヒト・モノ・コトを受け入れるだけでなく、
それをチカラとして、他の場所にはない個性と「新しい価値」を生み出してきました。

今では全国に誇る高い出生率によって人口を維持し、
新たに「企業城下町版生涯活躍のまち」へ取り組むなど、
市民の誰もがいきいきと暮らせる、「新しい暮らし」を実現しようとしています。
さあ次は、どんな「新しい」が待っているだろう、
どんな「新しい」を生み出せるだろう。
私たちは「新しい」が未来をつくるチカラになると信じているから。

新しいをチカラにするまち 新居浜市

新居浜市のシティブランド戦略は、「内」と「外」の両輪で取り組みます。特に、市内に向けた活動は、ブランドの骨格をつくるものとして重要です。また、市外に向けても、新居浜の魅力を発信していきます。

新居浜市シティブランド戦略



新居浜市のシティブランド戦略において、中長期的に目指すのは、新居浜に対する、市民の誇りと愛着を高めること、市民を主役にしたまちづくりを進めること、市外にも、新居浜ファンをつくっていくことです。

新居浜市シティブランド戦略

新居浜への誇りと愛着 市民を主役に

市民が、新居浜に誇りと愛着を持つ。
それにより、住み続けたいと思う。
あるいは、離れてもいずれ戻りたいと思う。

市民が主役になり、市と一緒にあって、
未来の新居浜をつくり続ける。

新居浜のファンづくり

市外に向けては、まずは新居浜市への
興味を喚起することから始める。

情報発信と活動の積み重ねにより、
少しずつ共感を得ながら、
新居浜ファンをつくっていく。

※地方自治体の情報発信競争が激しい昨今では、
安易な取組ではなく、戦略的に進めることが必要。
ファンづくりの先には、観光誘致や移住促進の
可能性が開ける。

※市外の情報発信をどこまで広げるかは戦略推進
の段階と予算を踏まえ、精緻な検討が必要。
対象範囲を拡げすぎると、予算は大きく膨らみ、
効果も薄まってしまう懸念がある。まずは、愛媛県内
と四国エリアで基盤をつくることから始める。

1. 未来の新居浜をつくる主役は、市民。

市民の共感が得られるか、市民の心がポジティブ※1 に向くか、市民が小さな一歩でも前に進むことができるかを判断材料に。

2. 市民が信じられる価値、前に向かう価値を。

現状の価値を大切に守るだけでなく、未来を見据え、ポテンシャルのある新たな価値を見極めることも必要。

3. まずは転入者の若いママの心が動くか。

戦略の成否を判断するにあたり、転入者の若いママを想定。まずはこのターゲットをふり向かせることができるかどうか。そして、市民みんなの共感が得られるかどうか。

4. ブランドづくりは市民のファンづくりから。

新居浜ブランドのファンを、内なるところで確立する。そのプロセスを経て、段階的に外への情報発信を拡大させていく。

5. アクションを可能な限り集約していく。

市からの情報発信や各部局で進めている施策も同じフレーム※2 で語ることを考える。オンリーワン、ナンバーワン、ファーストワンを生み出すエンジンに。

※1 ポジティブ
積極的。プラス思考。
※2 フレーム
枠組。

新居浜市のシティブランド戦略の目標指標としては、
市民向けには「好意度」と「誇り度」(いずれも主に転入者の底上げを目指す)、
また、市外向けには「魅力度」を設定します。

※地元出身者/Uターン層の「好意度」や「誇り度」は重要であるものの、既に一定程度高いため、計測可能な変化を生みにくい。
※市外の「認知度」も重要だが、認知度向上は費用対効果が高くない。現状では低い「魅力度」に注目することが適切である。

市内の目標指標(KPI)

新居浜市 市民アンケート調査

平成28年8月実施分を起点として3年後、平成31年の目標

○新居浜市への好意度

	現状 [平成28年]		目標 [平成31年]
市外からの転入者	75.6%	→	80.0% (+4.4pt)

○新居浜市への誇り度

	現状 [平成28年]		目標 [平成31年]
市外からの転入者	56.4%	→	60.0% (+3.6pt)

市外の目標指標(KPI)

地域ブランド調査

平成28年6-7月実施分を起点として3年後、平成31年の目標

○魅力度

現状 [平成28年]		目標 [平成31年]
3.5点 全国558位/1,000位 県内8位/15位	→	8.0点(+4.5pt) 全国200位以内/1,000位 県内3位以内/15位

4 ブランド・スローガンとシンボルマーク

ブランド・エッセンス

- * 未来の新居浜の姿を言い表したもの
- * 新居浜市を主語に考えたもの

新しいをチカラにするまち



ブランド・スローガン[※]と シンボルマーク

- * 未来の市民の姿勢を示したもの
- * 市民を主語に考えたもの

?

※ ブランド・スローガン
ブランドの価値や意味、伝えたいことを、
簡潔で、伝播しやすいように表現した言葉。

立案したブランド戦略及びブランドエッセンスをもとに、
新居浜市のブランド・スローガンとして
「Hello! NEW」を開発・選定しました。

Hello! NEW

Hello! NEW PEOPLE (新しい人々)

Hello! NEW JOB (新しい仕事)

Hello! NEW LIFE (新しい生活)

Hello! NEW SENSE (新しい感覚)

Hello! NEW CULTURE (新しい文化)

ヒト、モノ、コト。

このまちに集まるたくさんの「新しい」を

受けとめ、交わり、

次の新しいを生み出そう。

新しいをチカラに。

ひとり一人の軽やかなフットワークが、

このまちの未来になってゆく。

水色の吹き出し/風船モチーフによるシンボルマークを
開発・選定しました。



〈開発意図〉

Hello! NEWと、吹き出し/風船モチーフの組み合わせ。
市民の想いが生まれる。気持ちが動き出す。
ひとりひとりの想いがふくらみ、大きな想いに。

開発・選定理由は、主に以下の5つです。
新居浜のこれまでを大切に、これからをつくるときに、
市民の想いを最も重ねられ、前に進む力となるものです。



新居浜市が目指す未来の姿を、
印象的かつ簡潔に表現している。

主役となる市民が、口にしやすい、
身近なところから参画できる。

新居浜市の持っている魅力を、
もっともわかりやすく伝えることができる。

新居浜市の持っている潜在的な価値を、
視覚的に引き出すことができる。

新居浜市のこれまでと、これからの
取組を包括することができる。
※一体的な情報発信のため

5 シティブランド実施計画



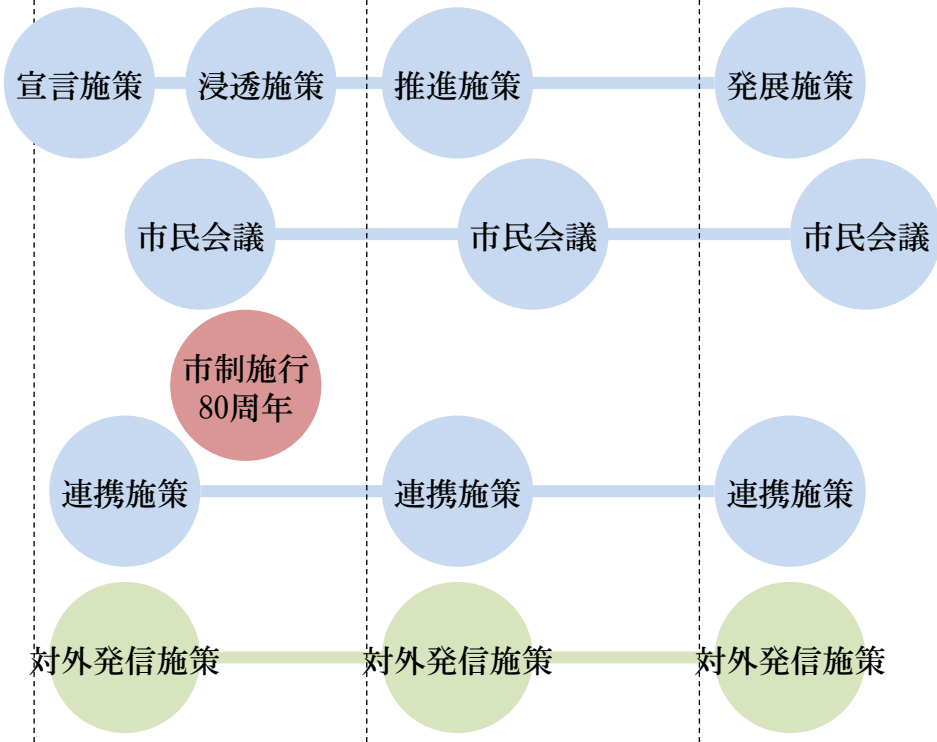
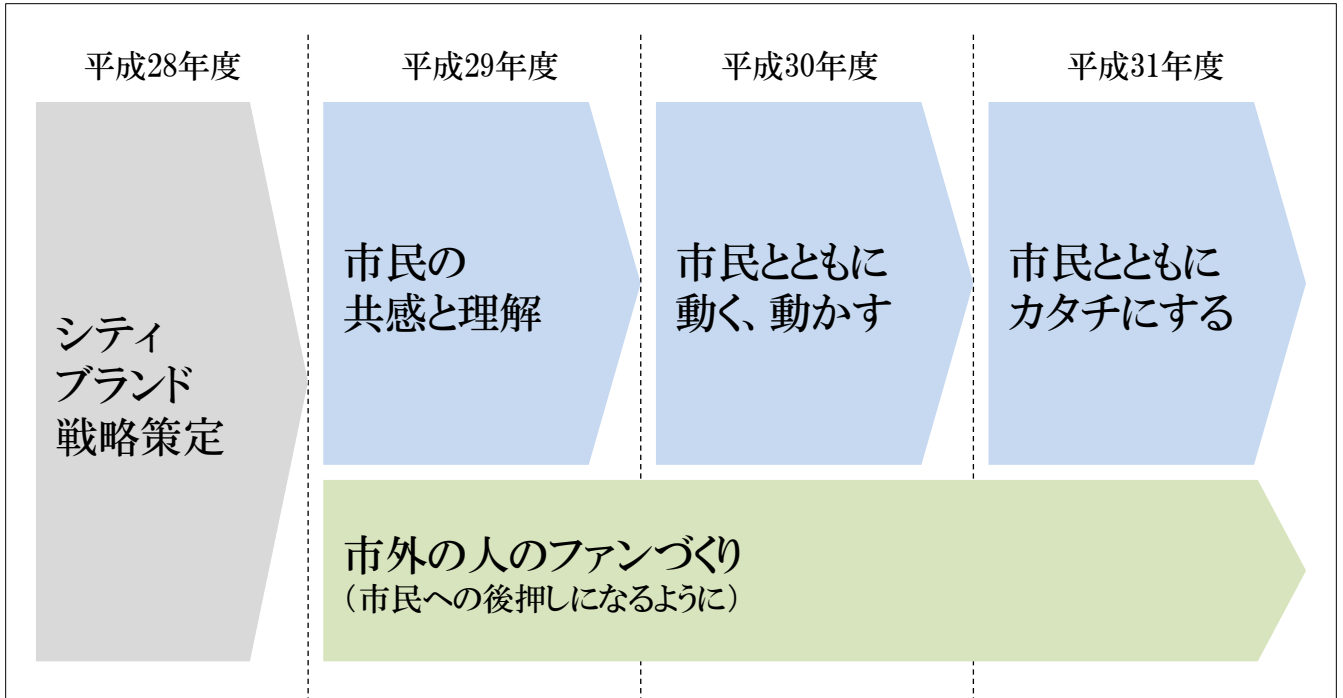
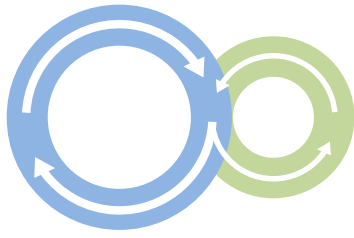
Hello!
NEW



ブランド戦略実施計画

- * 未来の新居浜を具現化する活動
- * 市民と行政との協働による展開

?



平成29年度

① 市内外への情報発信施策の実施

新居浜市シティブランド戦略は、まず市民の皆さんに知ってもらうことからスタートします。シティブランド戦略とはどのような活動なのか、何のためにやるのか、どんな効果が期待できるのかについて分かりやすく伝えます。

また、市外に対しても情報発信を行い、新居浜市への興味を喚起していきます。

- ・シティブランド宣言(ブランド・スローガン、シンボルマークの発表)

- ・市内各所でのポスターの掲示

- ・シティプロモーション用ウェブサイトやSNS※1などの開設

- ・主に愛媛県あるいは四国エリアでの広告展開

など

② (仮称)新居浜みらい会議の開催

新居浜市シティブランド戦略では、市民と行政が一緒になって、未来の新居浜市をつくっていきます。市民の皆さんに参加していただき、シティブランド戦略を推進する、(仮称)新居浜みらい会議を立ち上げます。会議には市内で生まれ育った方、最近新居浜市に転入された方、若者からお年寄りまで、幅広い参加を募る必要があります。

- ・新居浜市が目指す方向の共有と議論

- ・新居浜市の新たな魅力の探索、発見、発信

- ・シティブランド戦略のシンボル事業※2の企画(市制施行80周年記念事業と連携)

など

③ シティブランド戦略の効果測定調査

シティブランド戦略を推進する最大の目的は、市民の満足度や誇りを向上させることです。シティブランド戦略の効果客観的に把握するために、定期的な調査を継続的に実施して、進捗状況の管理や施策展開の見直しに役立てます。

※1 SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)

個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援する、インターネットを利用したサービスのこと。

※2 シンボル事業

ブランドの価値や目指す姿を象徴する事業。その事業の推進を通じて、ブランドの意味が共有され、目標の実現が促進される。

平成30年度

平成30年度は、(仮称)新居浜みらい会議での議論を踏まえたシンボル事業の実践を中核に据え、さらに新居浜市シティブランド戦略を幅広く展開します。シンボル事業にはさらに多くの市民参加を促し、市民と行政とが一体になって新しい新居浜づくりを進めます。

シティプロモーションは、シンボル事業を市内外へ広く告知するだけでなく、市内外からの参加を促し、事業自体を推進する役割も担います。

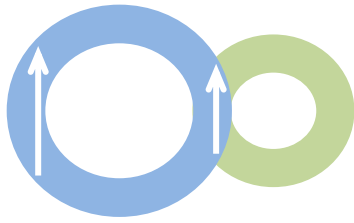
平成31年度

平成31年度はシティブランド戦略の3年目、第1ステージの仕上げの年になります。シンボル事業も2年目となり、さらに強力で押し進めます。

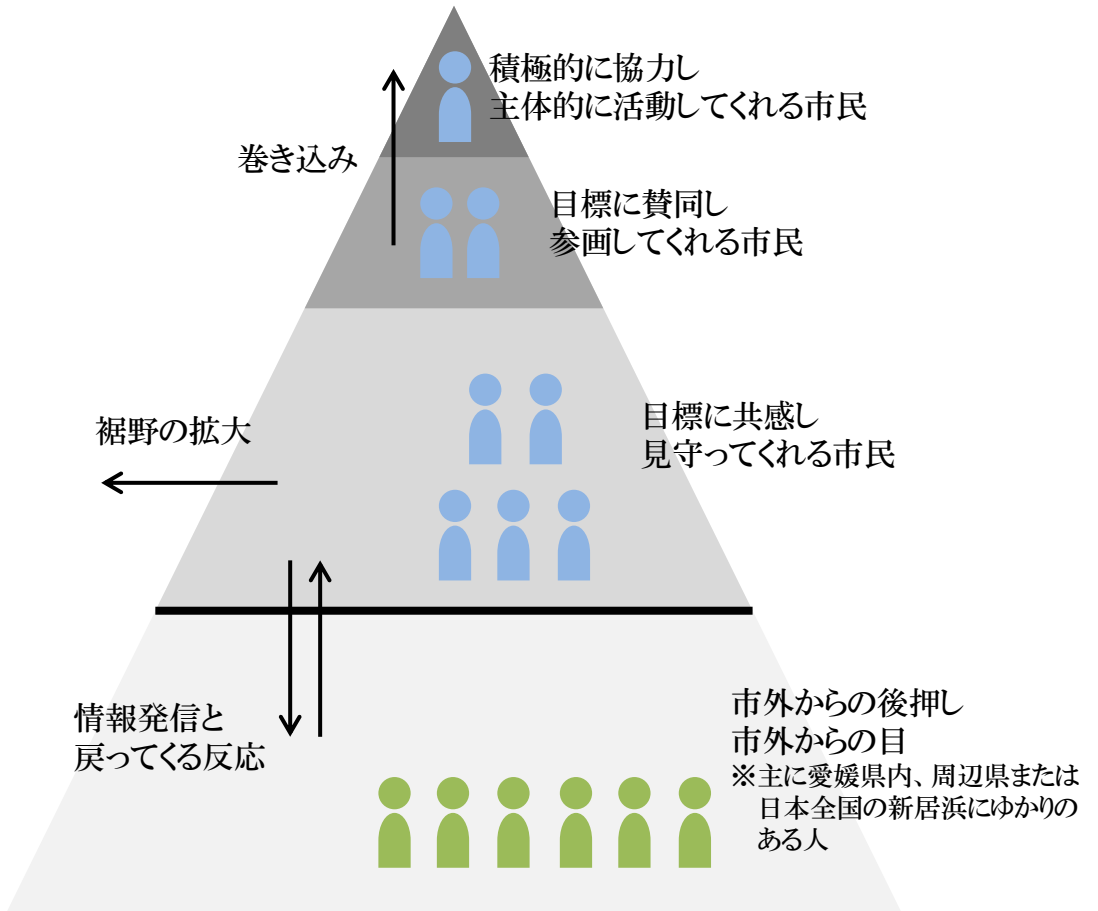
事業の特性にもよりますが、市外からの来訪のきっかけとして機能させることも考えられます。その場合、シティプロモーションは市外への告知機能も担うこととなります。

3年間の成果を測定分析し、平成32年度以降の第2ステージにおけるシティブランド活動につなげていきます。

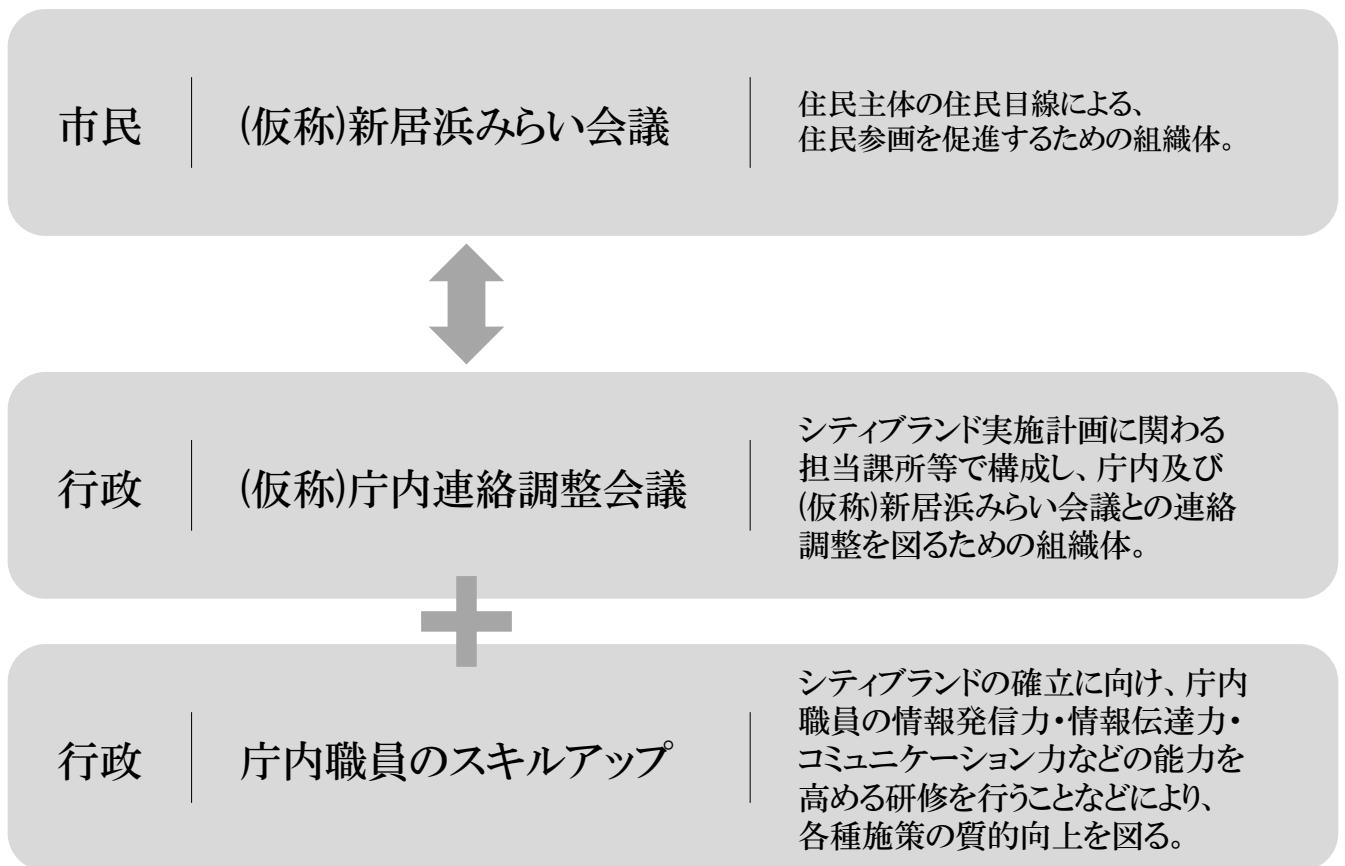
※上記展開施策に記載した事業は基本的なものであり、これ以外の事業はシティブランド戦略事業の委託事業者を選定する公募型プロポーザルで提案のあったものから選定します。



シンボルマーク
未来の新居浜の目標であり
市民が共有するビジョンであり
求心力の中心



シティブランド戦略の取組を着実に推進するためには、市民と行政との協働による「オール新居浜」の全市体制を構築する必要があるため、当面、次の組織を立ち上げ、それぞれの緊密な連携を図りながら、取組を推進します。



新居浜市シティブランド戦略推進プロジェクト 資料編

市民アンケート調査報告書（A4縦書き）
N FACTBOOK（A4横書き）

38～71
74～179

新居浜市シティブランド戦略
市民アンケート調査報告書

調査概要

<調査目的>

- ・ 居住歴パターン（新居浜市出身か、Uターンか、市外出身か）など、市民の基本的プロフィールを明らかにするとともに、市への好意度などの現状評価を把握することで、「新居浜市シティブランド戦略」立案のための基礎資料とする。
- ・ 今後定期的に実施することで、「新居浜市シティブランド戦略」のベンチマーク＝目標管理のための指標とする（今回調査はその初期値の設定と位置付けられる）。

<調査手法>

- ・ 郵送調査

<調査対象者>

- ・ 新居浜市内在住の15歳以上の男女（平成28年7月4日時点の住民基本台帳から、平成13年7月1日以前生まれの者を無作為抽出、但し1世帯につき1名）
- ・ 配布数 1,400／回収数 705／回収率 50.4%

<主な調査項目>

- ・ 市の総合評価（好意度、住みやすさ、誇り・自慢度、居住推奨度、継続居住意向）
- ・ 市の個別評価（印象、施策評価、魅力的でない点、好きな地域資源、今後の理想像）
- ・ 市民の特性（デモグラフィック特性、居住歴パターン、転出入の理由、通算居住年数、今後の転出予定など）

<調査期間>

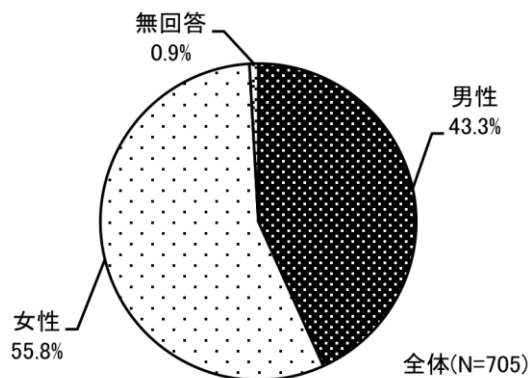
- ・ 2016年（平成28年）7月7日～29日

<調査機関>

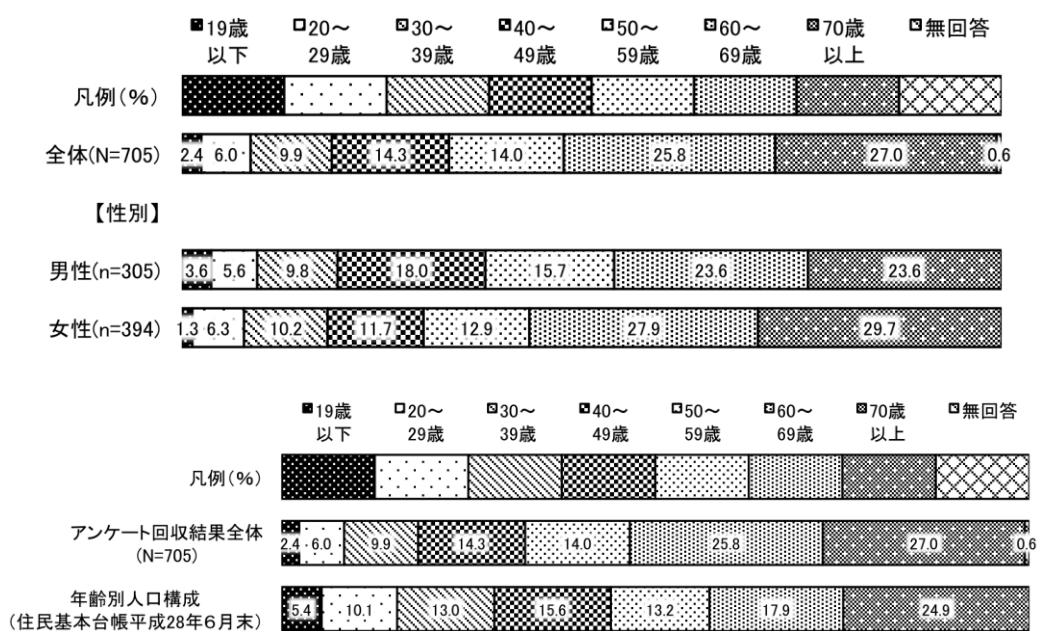
- ・ 株式会社中国四国博報堂、株式会社博報堂

調査結果 I 新居浜市民の特性

【性別】（問 11）



【年齢】（問 12）

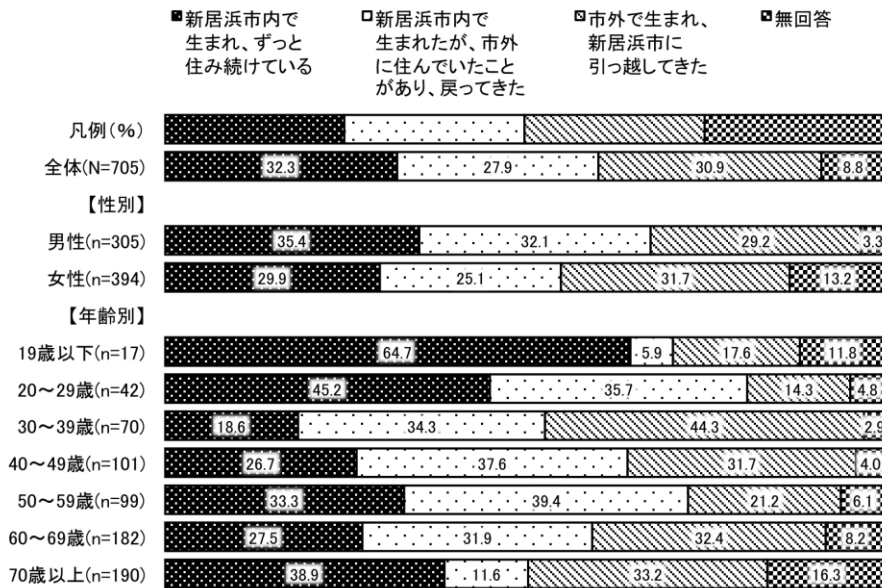


■ 60代以上が 52.8%と過半数を占める。住民基本台帳で 60代以上の占める比率は 15歳以上の 42.8%であり、高齢者の回答率の高いことがわかる。特に 60代女性が高い。

男 15	男 20	男 30	男 40	男 50	男 60	男 70-	女 15	女 20	女 30	女 40	女 50	女 60	女 70-
1.6	2.4	4.3	7.8	6.8	10.2	10.2	0.7	3.5	5.7	6.5	7.2	15.6	16.6
2.7	5.3	6.6	7.9	6.6	8.5	9.7	2.7	4.8	6.4	7.6	6.6	9.4	15.2

※上段：本調査の構成比 (%)、下段：住民基本台帳の人口構成比 (%)

【居住歴パターン（生まれ育った場所）】（問 24）



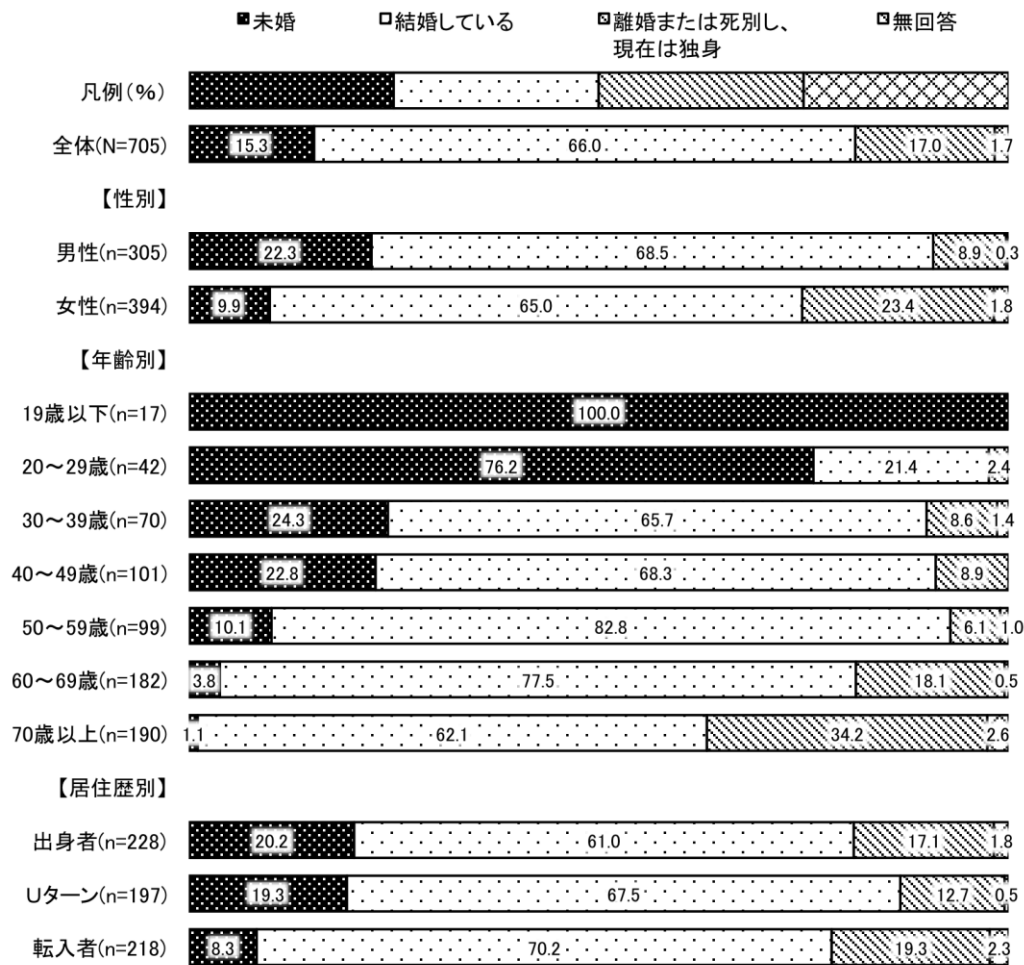
- 「出身者」（新居浜市内で生まれ、ずっと住み続けている）、「Uターン」（新居浜市内で生まれたが、市外に住んでいたことがあり、戻ってきた）、「転入者」（市外で生まれ、新居浜市に引っ越してきた）の比率はおおよそ 1/3 ずつである。
- Uターンが相対的に多いのは 20-50 代、転入者が多いのは 30 代となっている。
- 転入者は、男性では 30 代が多いのに対して、40-60 代は少なく、70 代が多くなっている。30 代に比べ 40、50 代で少ないのが、転出のためか、時代要因なのかは不明。

縦	全体	男-20	男 30	男 40	男 50	男 60	男 70-	女-20	女 30	女 40	女 50	女 60	女 70-
100%	(705)	(28)	(30)	(55)	(48)	(72)	(72)	(30)	(40)	(46)	(51)	(110)	(117)
出身	32.3	57.1	23.3	30.9	39.6	30.6	37.5	43.3	15.0	21.7	27.5	25.5	40.2
Uturn	27.9	21.4	26.7	41.8	45.8	37.5	16.7	33.3	40.0	32.6	33.3	28.2	8.5
転入	30.9	14.3	50.0	25.5	12.5	27.8	41.7	16.7	40.0	39.1	29.4	35.5	27.4

※ □は全体より 10%以上高い数値

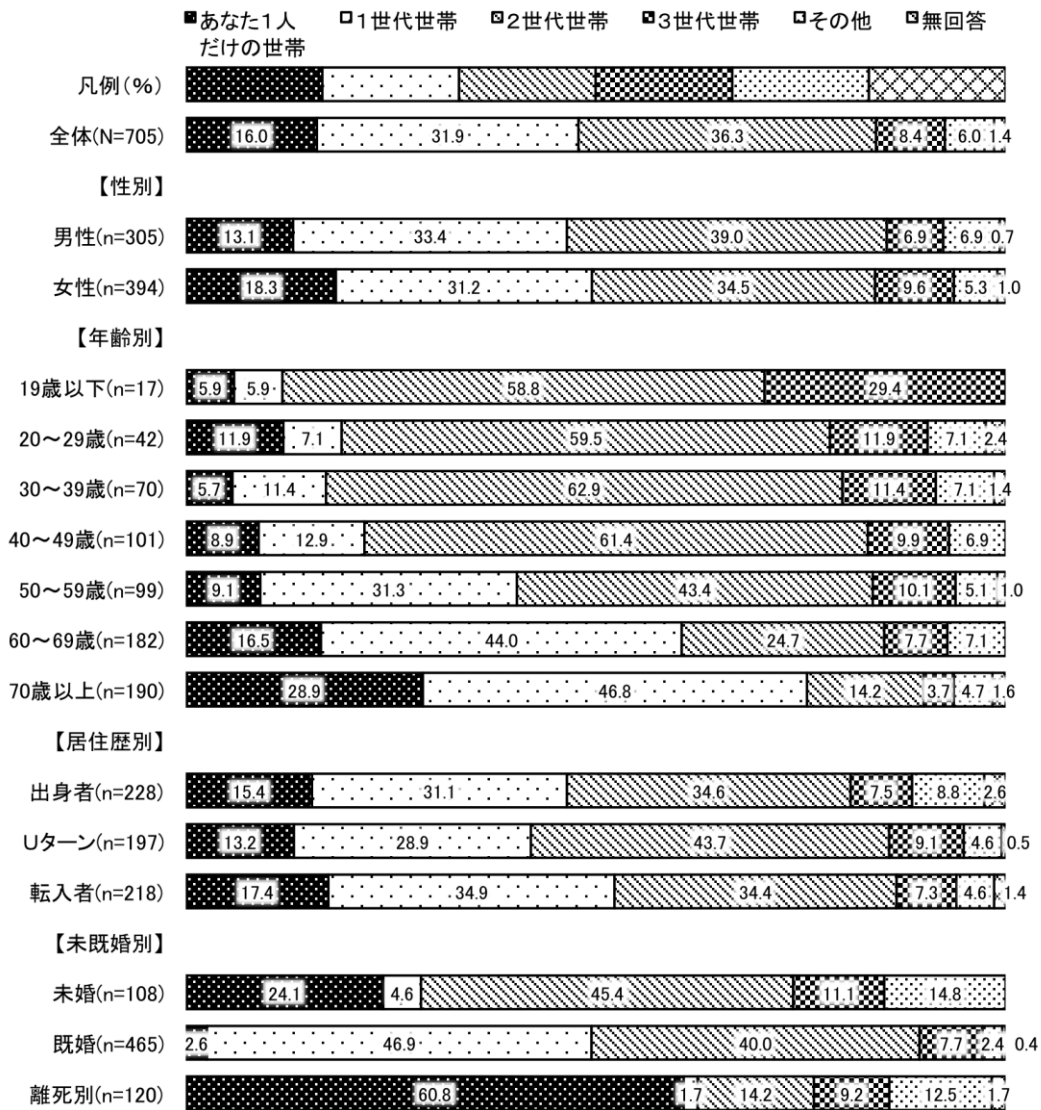
出身者、Uターン、転入者の合計が 100%にならないのは無回答がいるため

【未既婚】（問 13）



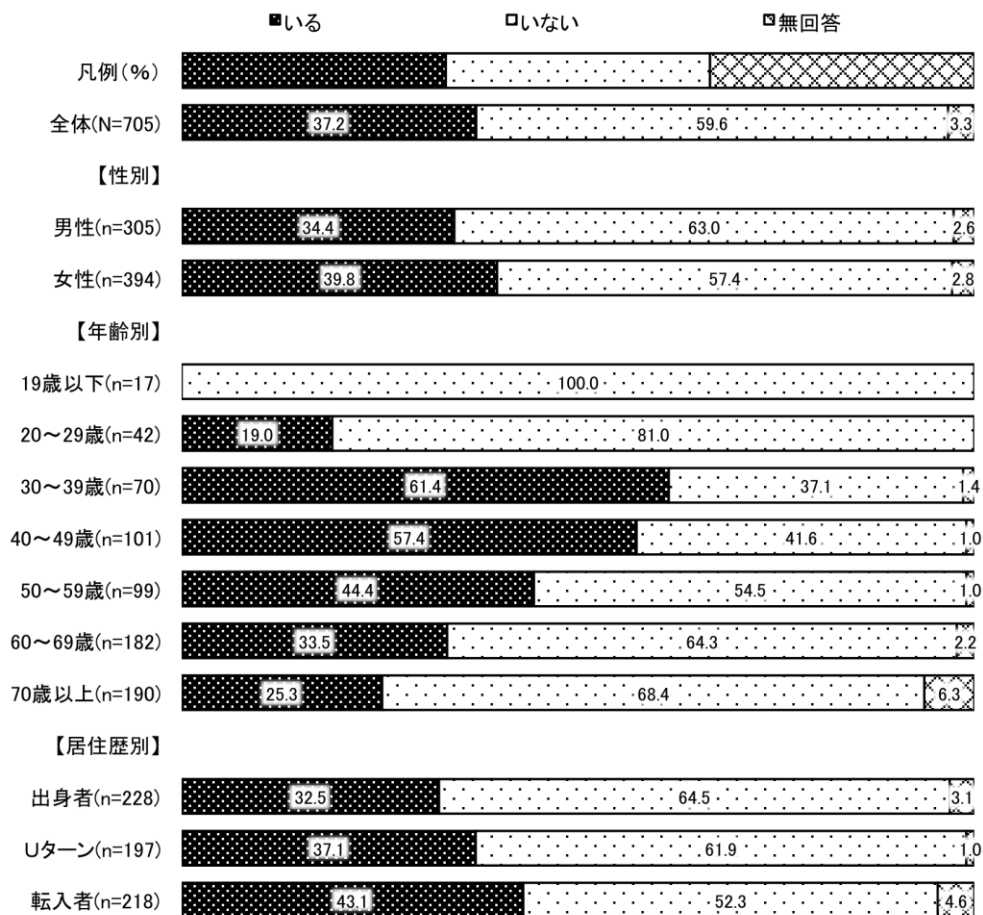
■ 未婚 15%、既婚 66%、離死別 17%。

【家族構成】（問 14）



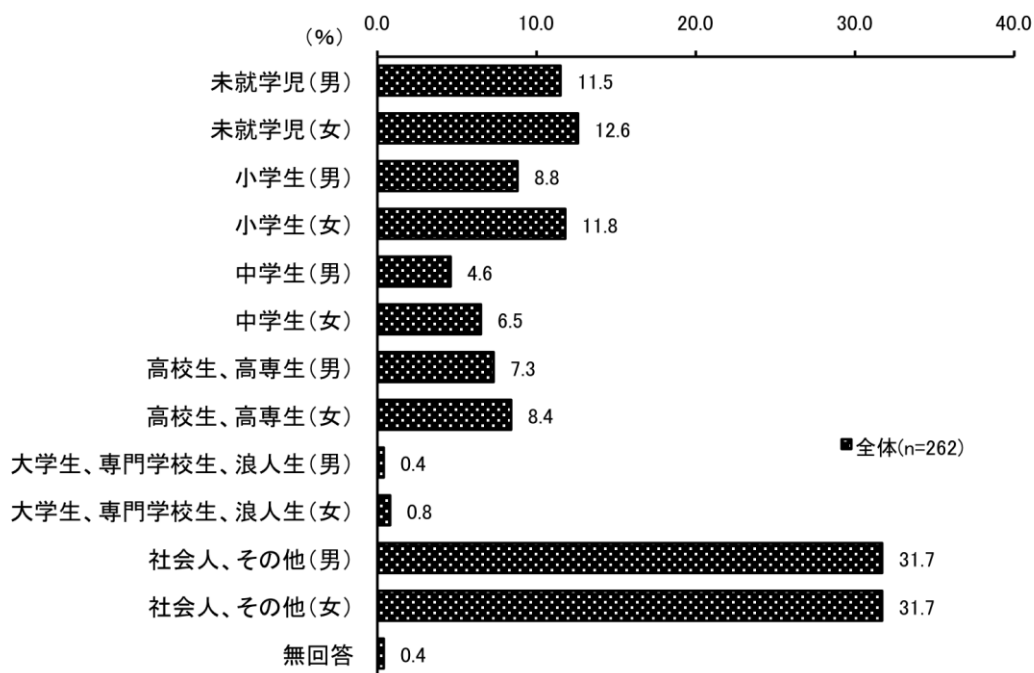
■ 単身世帯 16%、1 世代世帯（夫婦のみ） 32%、2 世代世帯（親と子） 36%、3 世代世帯 8%。

【同居している子どもの有無】（問 15）



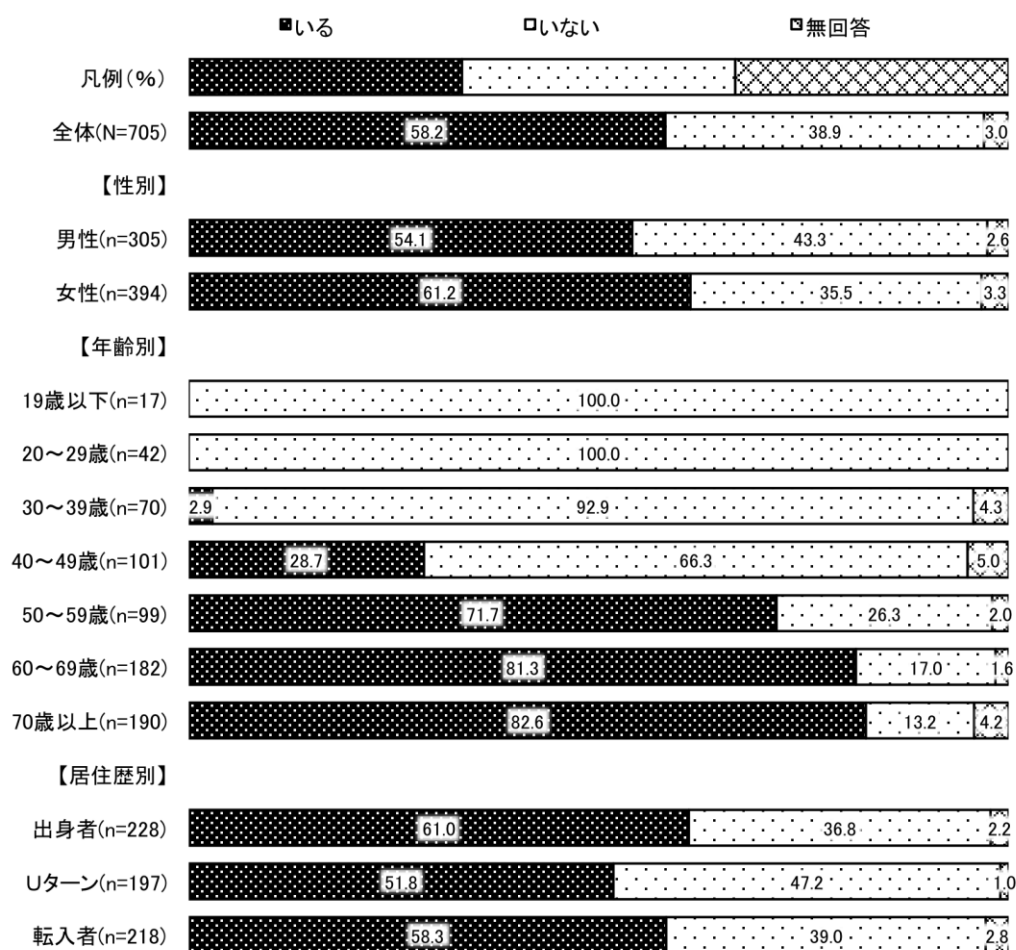
- 同居している子どもがいるのは4割弱。
- 30-40代の6割、50代の4割に同居している子どもがいる。

【同居している子どもの区分】（問 16・「同居している子どもがいる」が 100%）



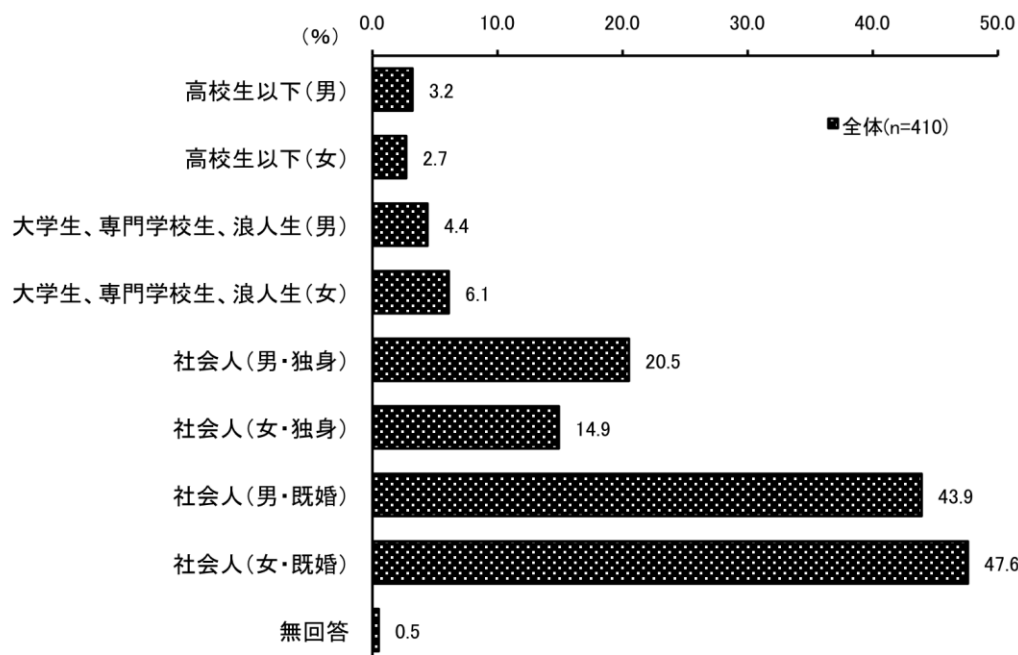
- 大学生の子どもと同居している人はほとんどいない。進学でほぼ全員市外に出ていく構造が明確。

【別居している子どもの有無】（問 17）

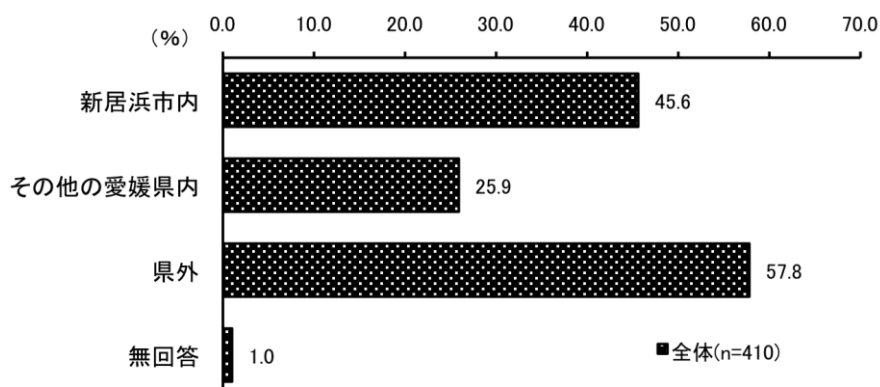


- 別居している子どもがいるのは6割弱。
- 50代の7割、60代以上の8割に別居している子どもがいる。
- なお、同居している子ども・別居している子どもの両方がある人は19%、同居のみは17%、別居のみは36%、両方いない人は22%となっている。

【別居している子どもの区分】（問 18・「別居している子どもがいる」が 100%）

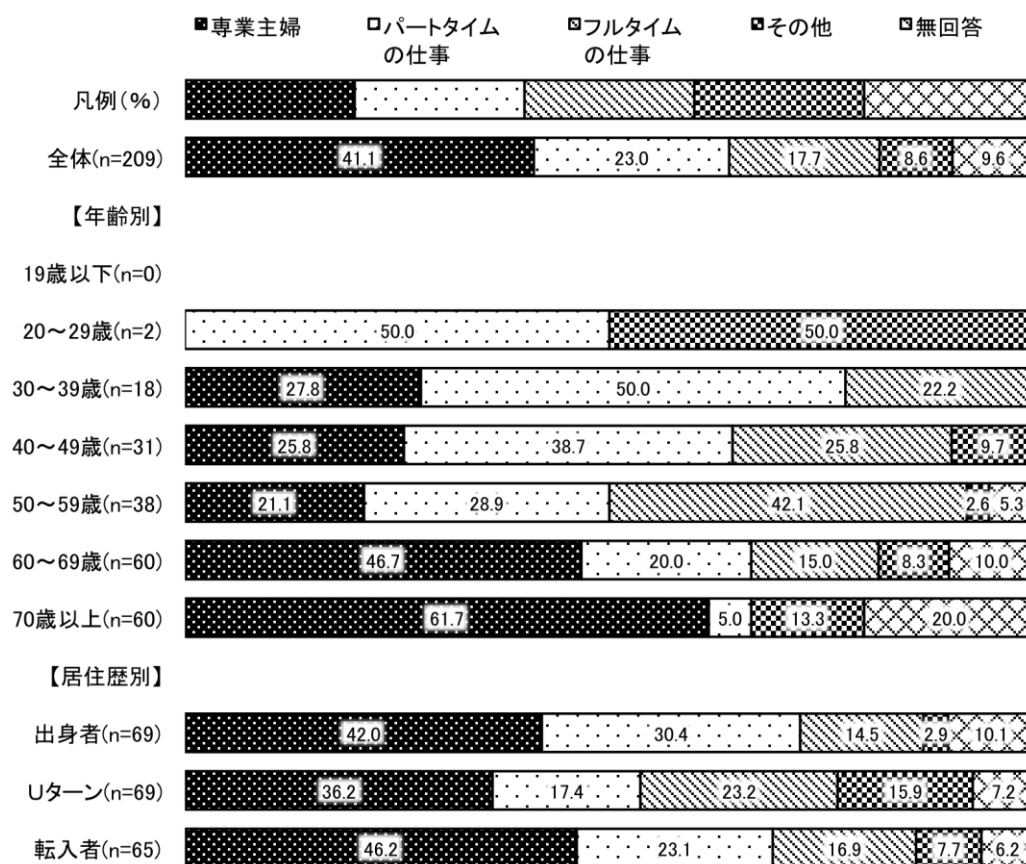


【別居している子どもの居住地】（問 19・「別居している子どもがいる」が 100%）



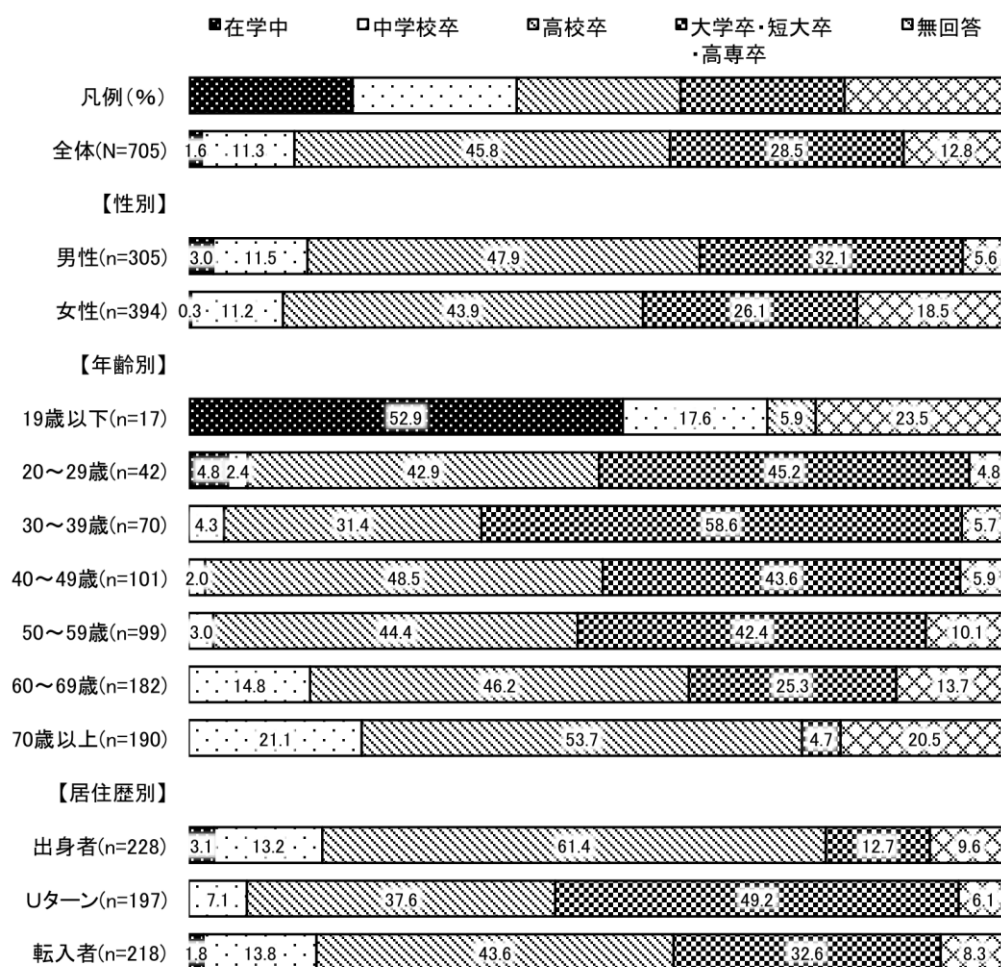
- 市内に別居している子どもがいる人が半数弱（全体の 3 割弱）、その他県内に別居している子どもがいる人が 1/4（全体の 15%）、県外に別居している子どもがいる人が 6 割（全体の 3 割強）。（複数回答なので、重複あり）
- 大学生の子どもでは、県外が 3/4。社会人独身の子どもでは市内が 4 割、県外が 7 割。社会人既婚の子どもでは、市内が 6 割、県外が 6 割。

【既婚男性の配偶者職業】（問 20・既婚男性が 100%）



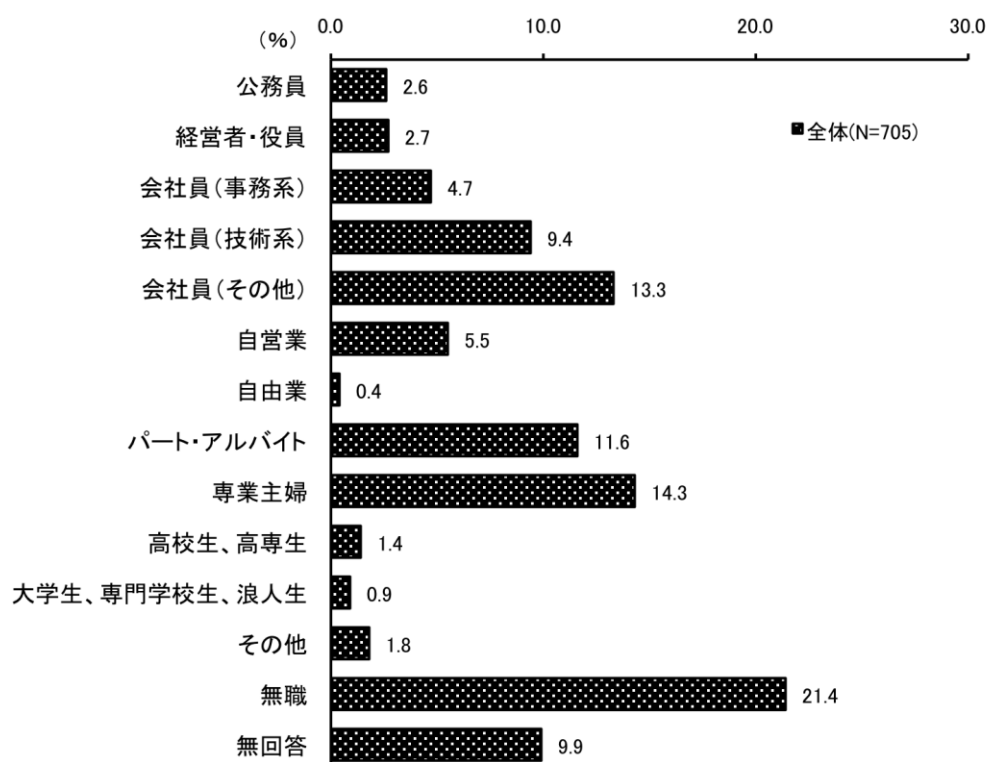
- 専業主婦が 4 割、パートタイムが 2 割強、フルタイムが 2 割弱。30 代から加齢に伴い、パートタイム、専業主婦の比率が減り、フルタイムが増えるが、60 代以上は専業主婦が中心となる。

【最終学歴】（問 21）



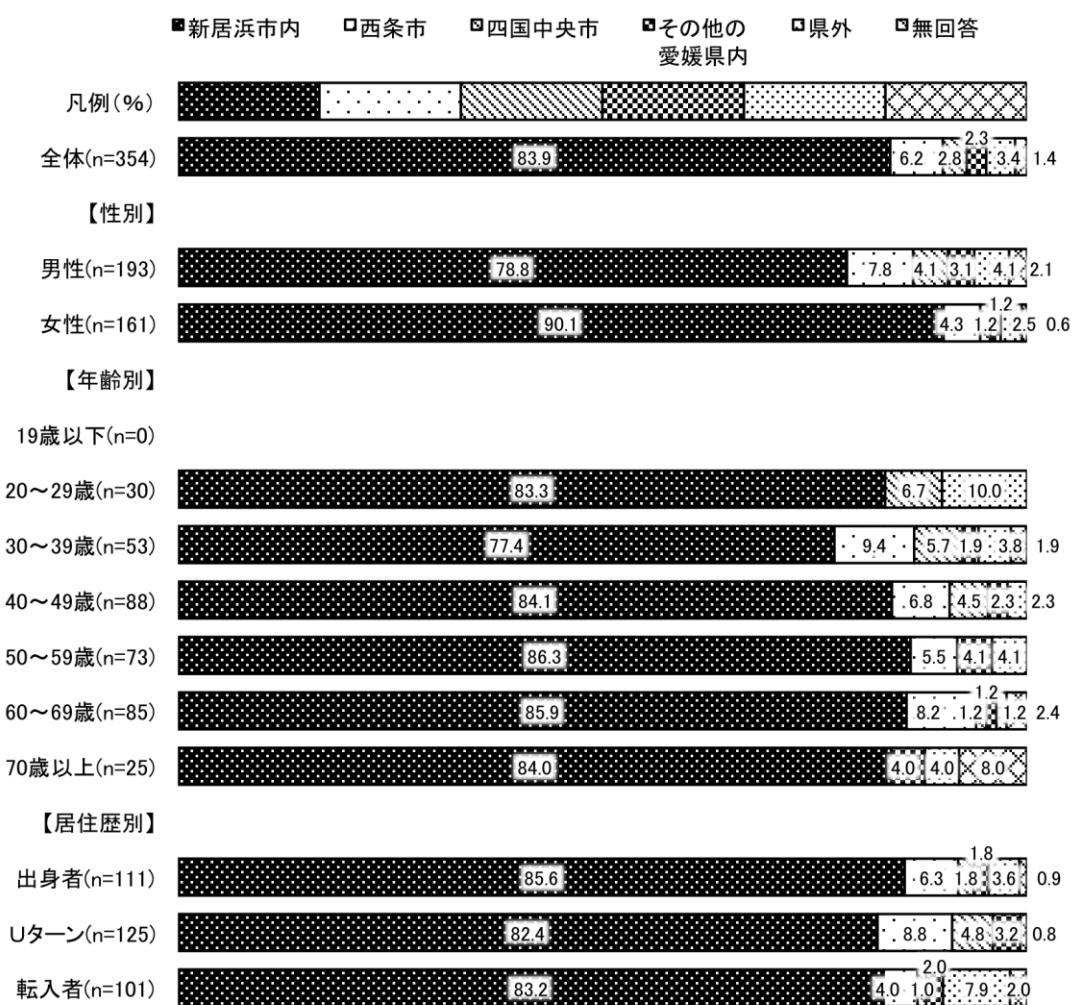
- 大卒比率は全体で3割弱だが、20代、40代、50代で4割前半、30代では6割弱となっている。30代の大卒比率が高いのは転入者比率が高いため、★50代以下の転入者の大卒比率は男女ともに5割強。
- 出身者では大卒は1割強、高卒が6割なのに対して、Uターンでは大卒が5割、高卒は4割弱である。

【職業】（問 22）



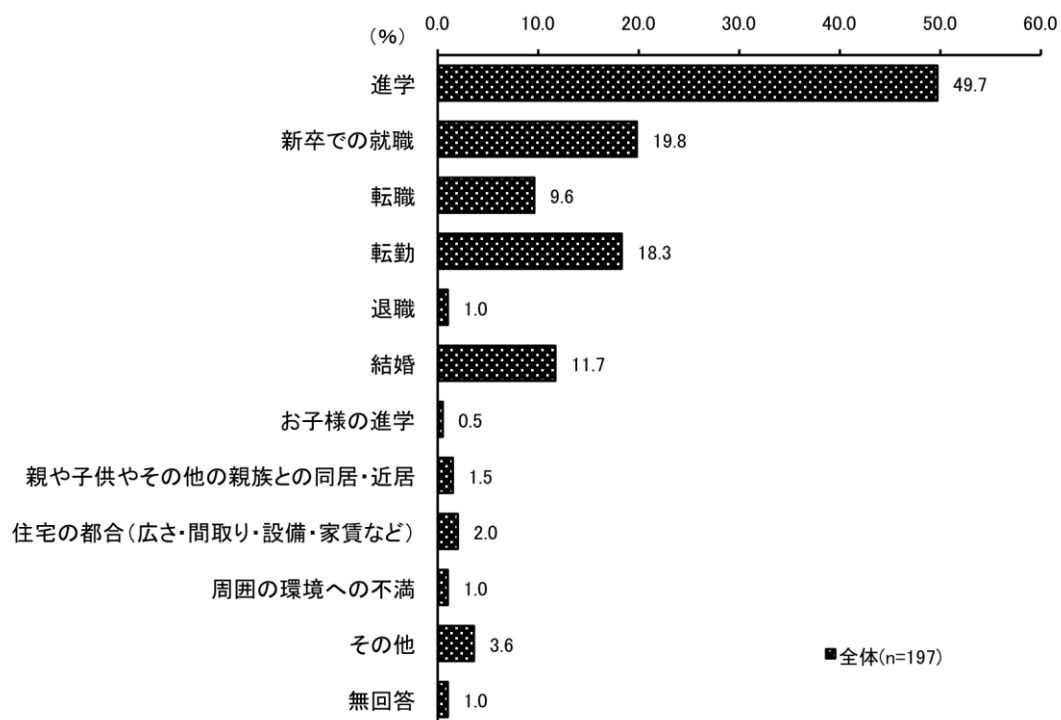
- 30代男性の5割が会社員（技術系）、1/3が会社員（その他）と特徴的。
- 会社員（技術系）、会社員（その他）の比率は、40代男性で1/4、2割弱、50代男性で1/4、3割。

【勤め先の地域】（問 23・有職者が 100%）



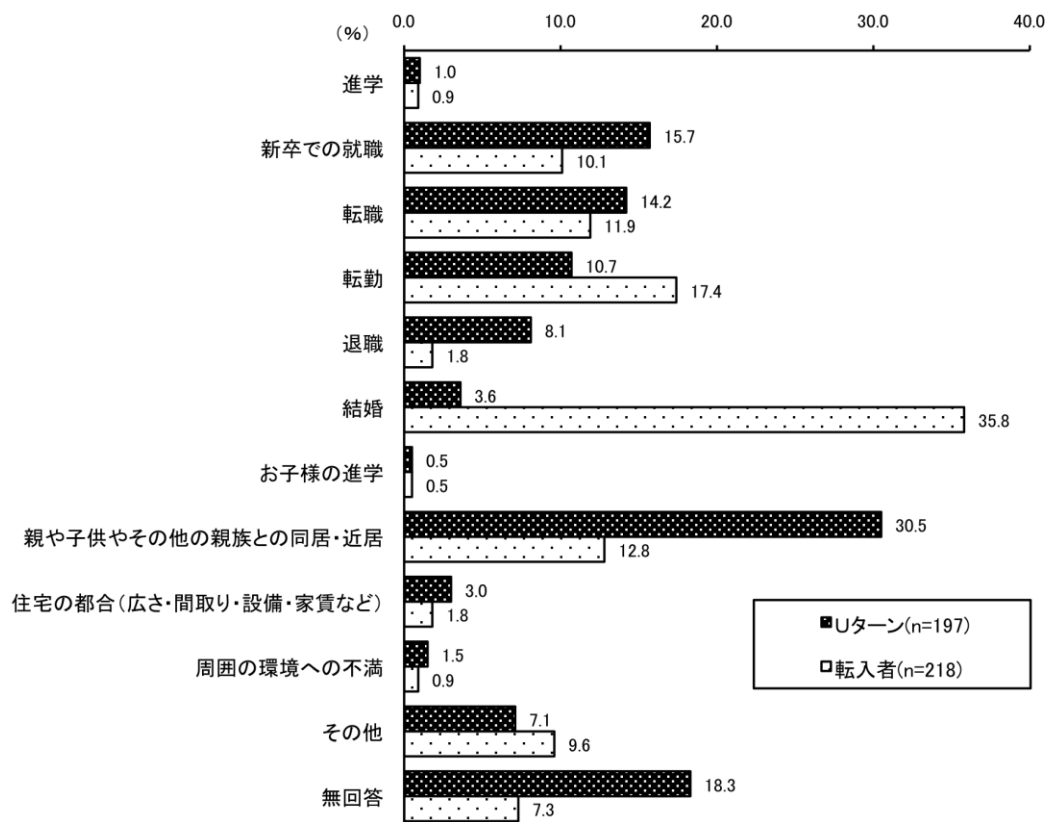
■ 有職者（パート・アルバイトを含む）の8割強が市内で働いている。

【市外への転居理由】（問 25・複数回答・Uターン層が 100%）



- Uターン層の転出目的の5割は進学。新卒での就職、転勤がそれぞれ2割。
- 進学が目的は、20代で9割、30-40代で2/3。新卒での就職は30代で3割。転勤は50代以上で3割前後。

【新居浜市への転居理由】（問 26・複数回答・Uターン層、転入者それぞれが100%）



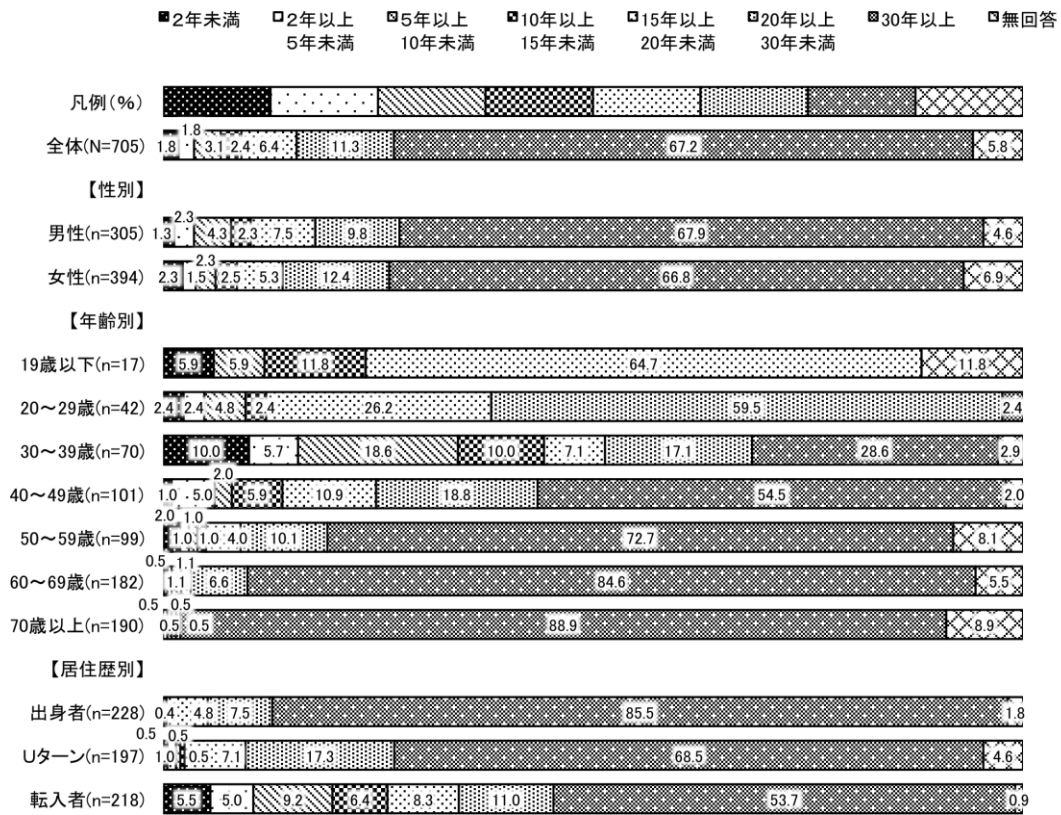
■ Uターン層の最大の転入目的は、親などとの同居・近居で3割。新卒での就職、転職がそれぞれ15%程度。（回答は複数回答）

■ 転入者の最大の転入目的は、結婚で1/3。転勤が2割弱、新卒での就職、転職がそれぞれ1割。50代以下の男性に絞ると、転勤3割弱、転職、新卒での就職が2割程度で、合わせて7割となる。

※下表は転入者の性年代別の転入目的

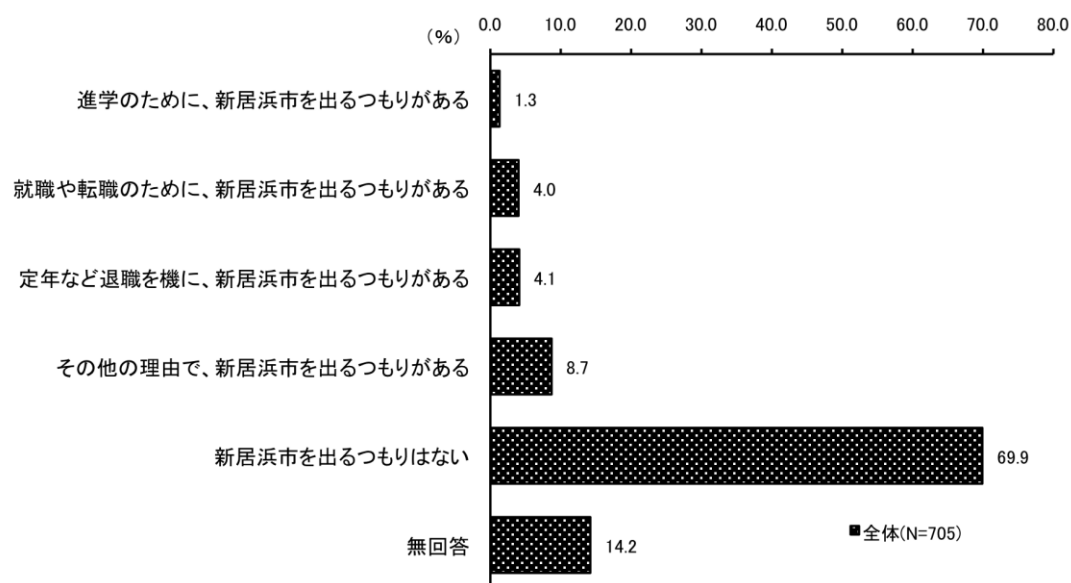
(%)	新卒での就職	転職	転勤	結婚	親等と同居近居
男50代以下(39)	17.9	20.5	28.2	12.8	10.3
男60代以上(50)	12.0	18.0	20.0	10.0	24.0
女50代以下(54)	11.1	11.1	14.8	48.1	5.6
女60代以上(71)	4.2	2.8	11.3	56.3	12.7

【新居浜市内での通算居住年数】（問 27）



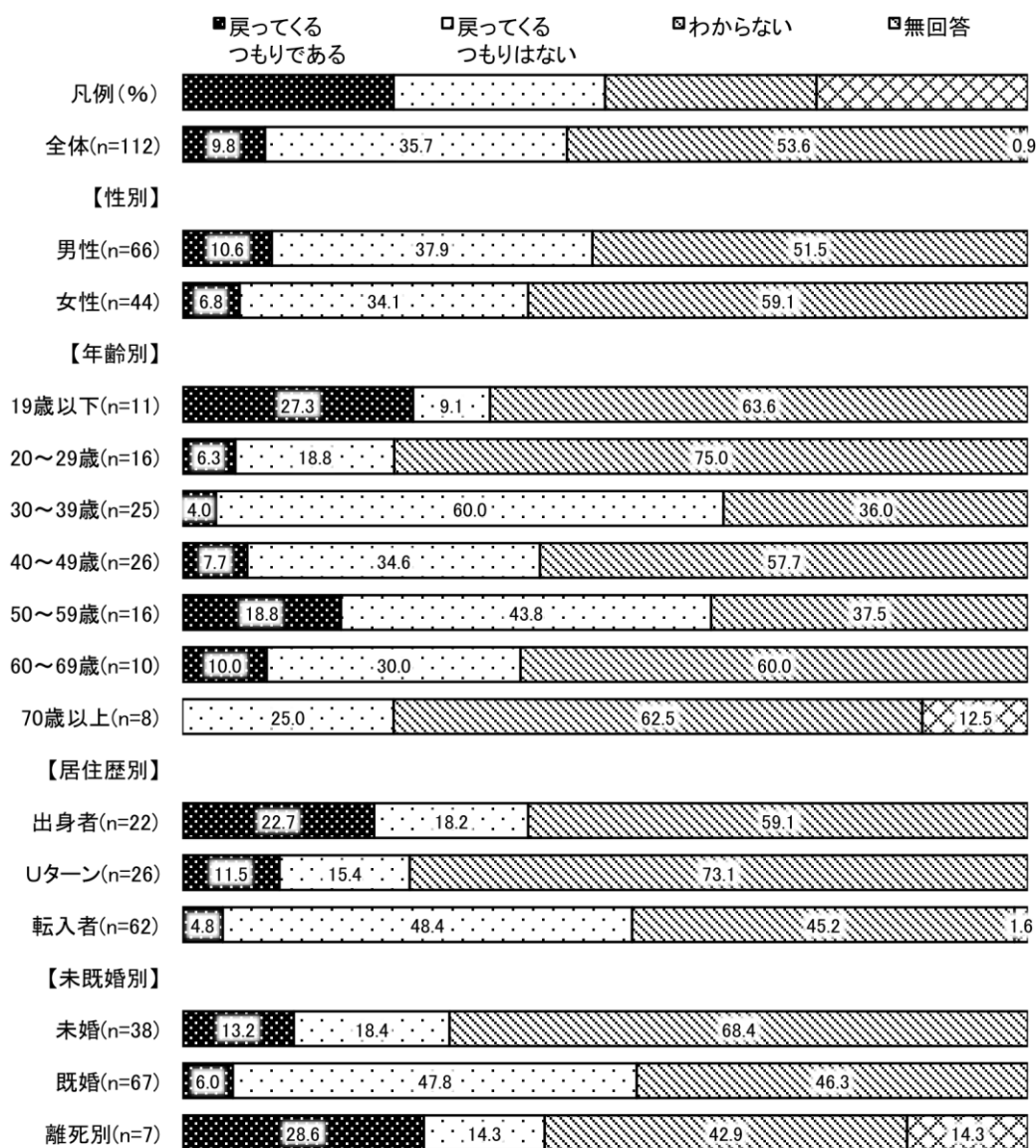
- 居住年数 30 年以上が 2/3 を占める。 出身者の約 85%、U ターン層の 7 割弱、転入者の 5 割強。
- 居住歴 10 年未満は全体の 7%だが、30 代では 1/3 を占める。 転入者が多いためと考えられる。
- 転入者全体では居住歴 10 年未満は 2 割。転入者の性年代別でみると、男性 50 代以下 49%、男性 60 代以上 6%、女性 50 代以下 39%、女性 60 代以上 0%。

【今後の転出予定】（問 28・複数回答）



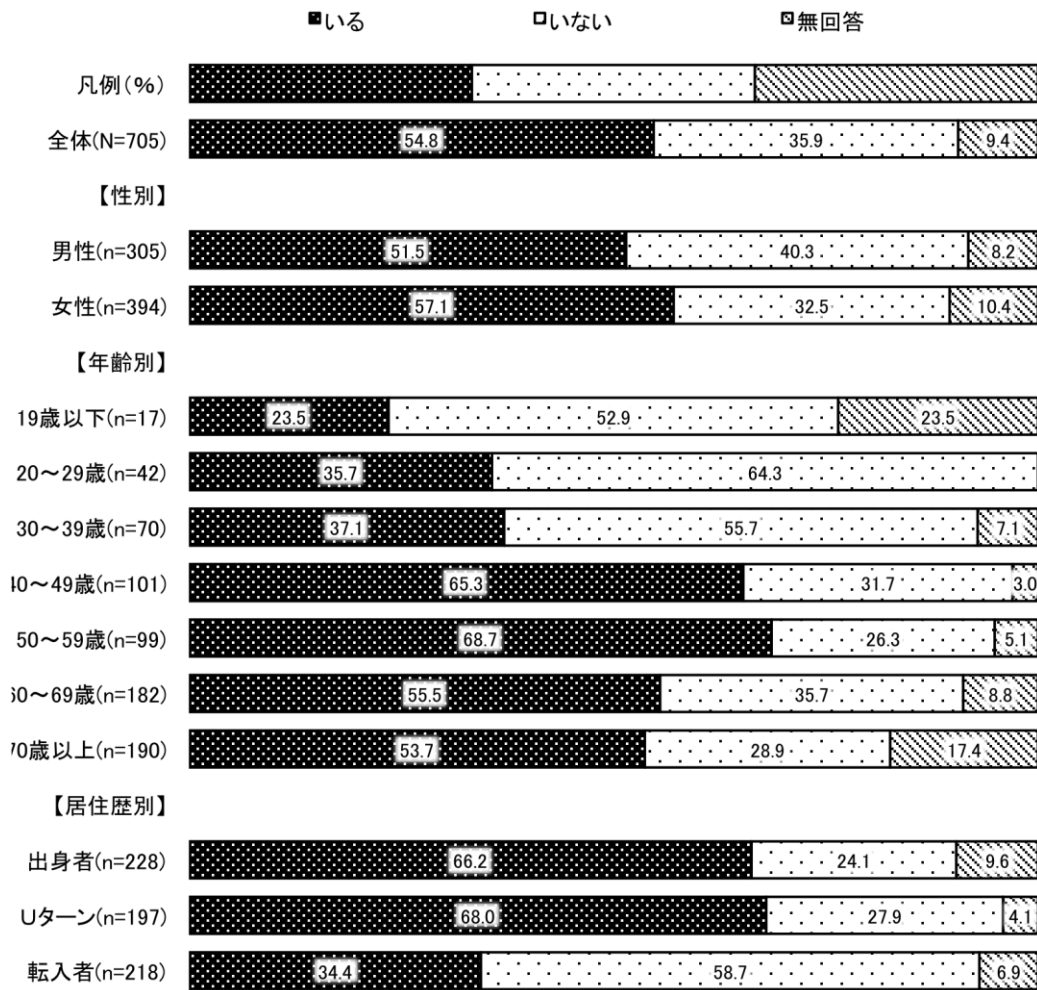
- 何らかの理由で新居浜市を転出する予定のある人は全体の 15%程度。
- 転出意向ありは、10代 (N=17) の 2/3 (進学のためが 4割、就職・転職のためが 1/4)、20-30代の 4割 (20代は就職・転職のため、30代はその他の理由 (転勤か) がそれぞれ 1/4。)

【再転入予定】（問 29・転出意向のある人が 100%）



- 「戻ってくるつもりである」が1割、「戻ってくるつもりはない」が1/3だが、「わからない」が5割を超える。
- 「戻ってくるつもりはない」は30代 (N=25) で6割、転入者で5割と高い。転入者の男性50代以下 (N=25) では60%、女性50代以下 (N=25) では44%。

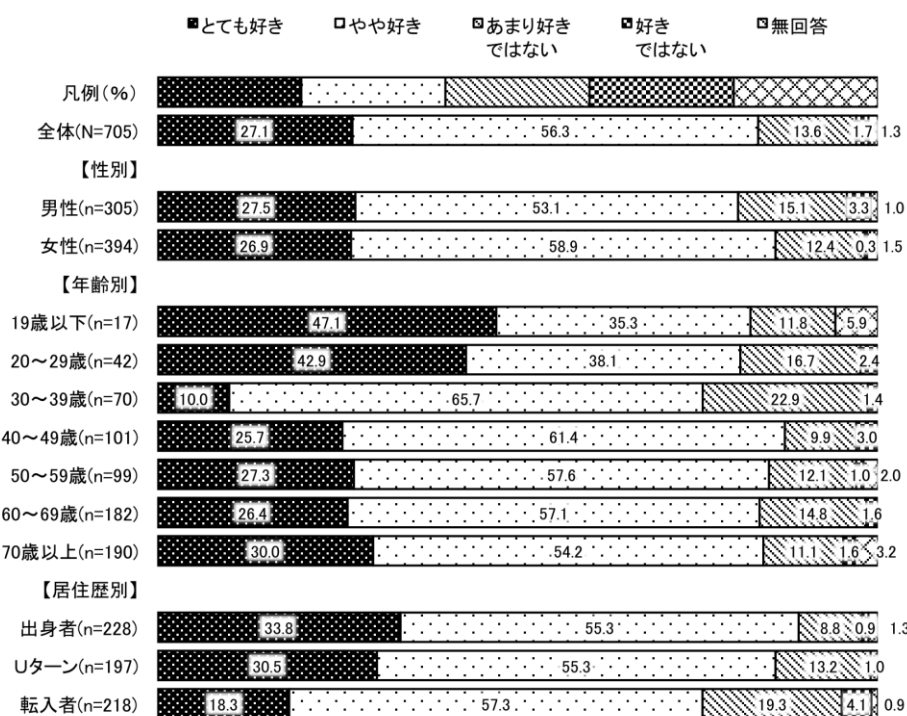
【市内で別居している親や兄弟姉妹の有無】（問 30）



■ 市内に別居している親や兄弟姉妹がいる人が5割を超える。出身者やUターン層では2/3、転入者でも1/3。

調査結果Ⅱ 新居浜市の評価

【新居浜市の好意度】（問1）

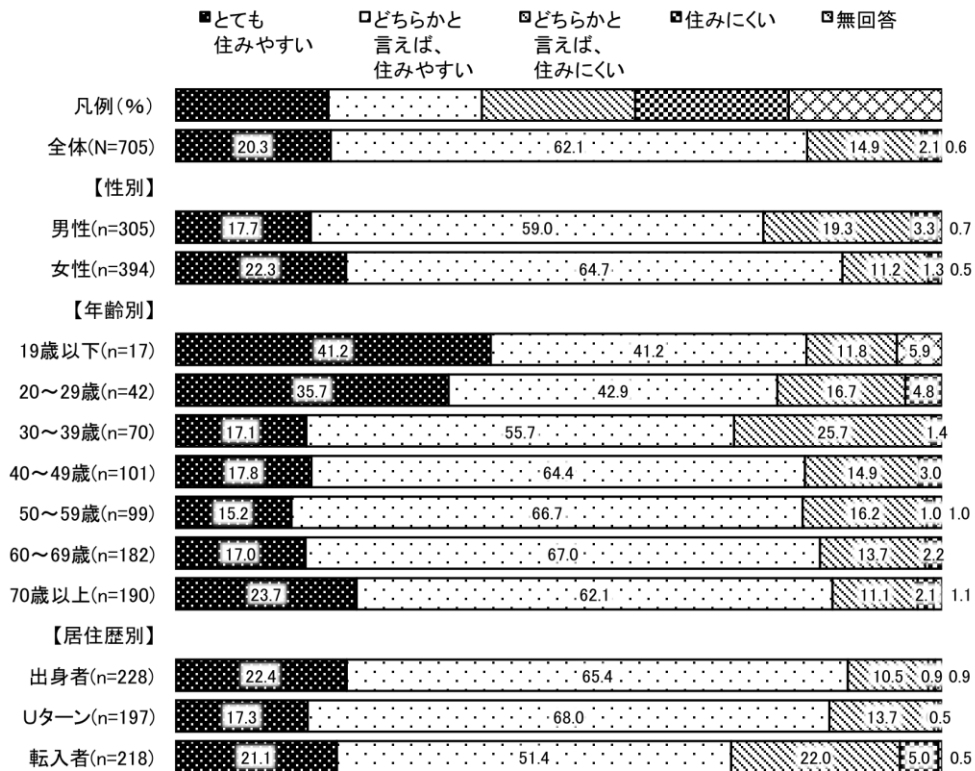


※加重平均値（とても好き～好きではないを、それぞれ2, 1, -1, -2点として計算）

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
0.95	0.87	1.01	1.25	1.02	0.60	0.97	1.00	0.92	1.03	1.14	1.04	0.67
	男-20 (28)	男 30 (30)	男 40 (55)	男 50 (48)	男 60 (72)	男 70- (72)	女-20 (30)	女 30 (40)	女 40 (46)	女 50 (51)	女 60 (110)	女 70- (117)
	1.18	0.37	0.84	1.02	0.90	0.88	0.97	0.78	1.13	0.98	0.93	1.16

- 新居浜市民の新居浜市の好意度は、加重平均値で **0.95**。
- 博報堂エリア HABIT 調査（2013）による全国（41 都道府県）の居住都道府県の好意度の平均は **1.03**、愛媛県民の愛媛県の好意度は **0.99** なので、平均的。
- 性年齢別では 10 代 (N=17) が 1.25 と高いが、30 代が 0.60、30 代男性が 0.37 と低い。
- 居住歴パターン別では、出身者 1.14、U ターン 1.04、転入者 0.67 である。また、居住歴 5 年未満 (N=26) では 0.58、10 年未満 (N=22) では 0.50 となっている。30 代男性で好意度が相対的に低いのは、転入者が多く、居住歴が短いためと考えられる。

【新居浜市の住みやすさ】（問2）

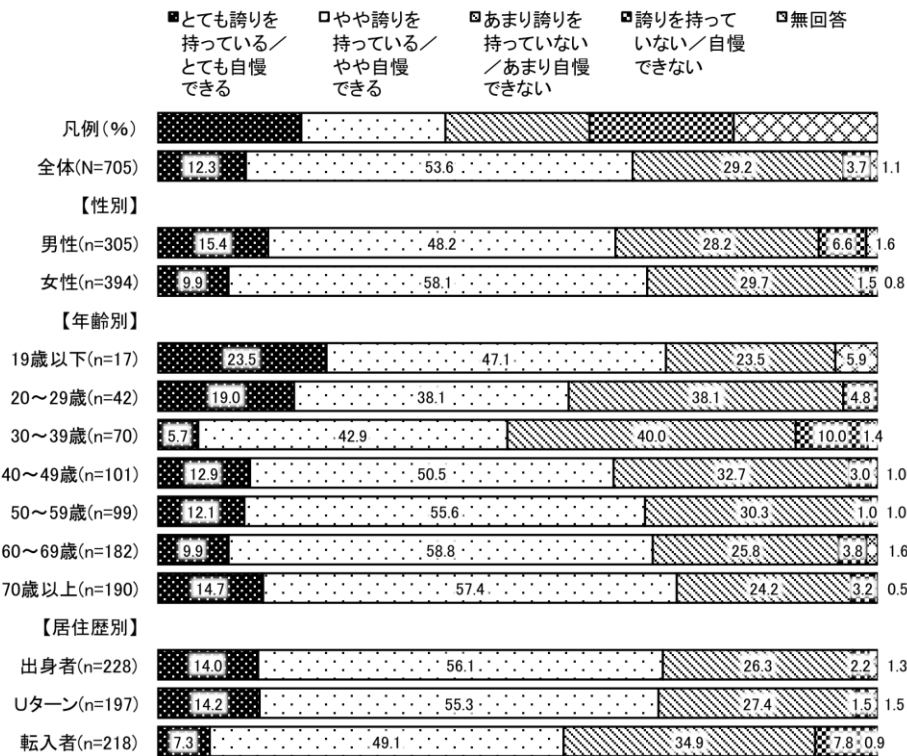


※加重平均値（とても住みやすい～住みにくいを、それぞれ2, 1, -1, -2点として計算）

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
0.84	0.69	0.96	1.19	0.88	0.61	0.79	0.80	0.83	0.95	0.99	0.88	0.62
	男-20 (28)	男30 (30)	男40 (55)	男50 (48)	男60 (72)	男70- (72)	女-20 (30)	女30 (40)	女40 (46)	女50 (51)	女60 (110)	女70- (117)
	0.93	0.23	0.51	0.79	0.78	0.78	0.97	0.90	1.13	0.81	0.87	1.08

- 新居浜市民の新居浜市の住みやすさは、加重平均値で 0.84。
- 博報堂エリア HABIT 調査（2013）による全国（41 都道府県）の居住都道府県の住みやすさの平均は 1.07、愛媛県民の愛媛県の住みやすさは 1.19 なので、やや低め。
- 性年齢別では、10 代（N=17）が 1.19 と高い一方で、30 代が 0.61、特に 30 代男性が 0.23 と低い。
- 居住歴パターン別では、出身者 0.99、U ターン 0.88、転入者 0.62 である。また、居住歴 5 年未満（N=26）では 0.35、10 年未満（N=22）では 0.55 となっている。居住歴の短い転入者が多い 30 代男性の数値が低いのは、好意度と同様の傾向。

【新居浜市住民であることの誇り／自慢】（問3）

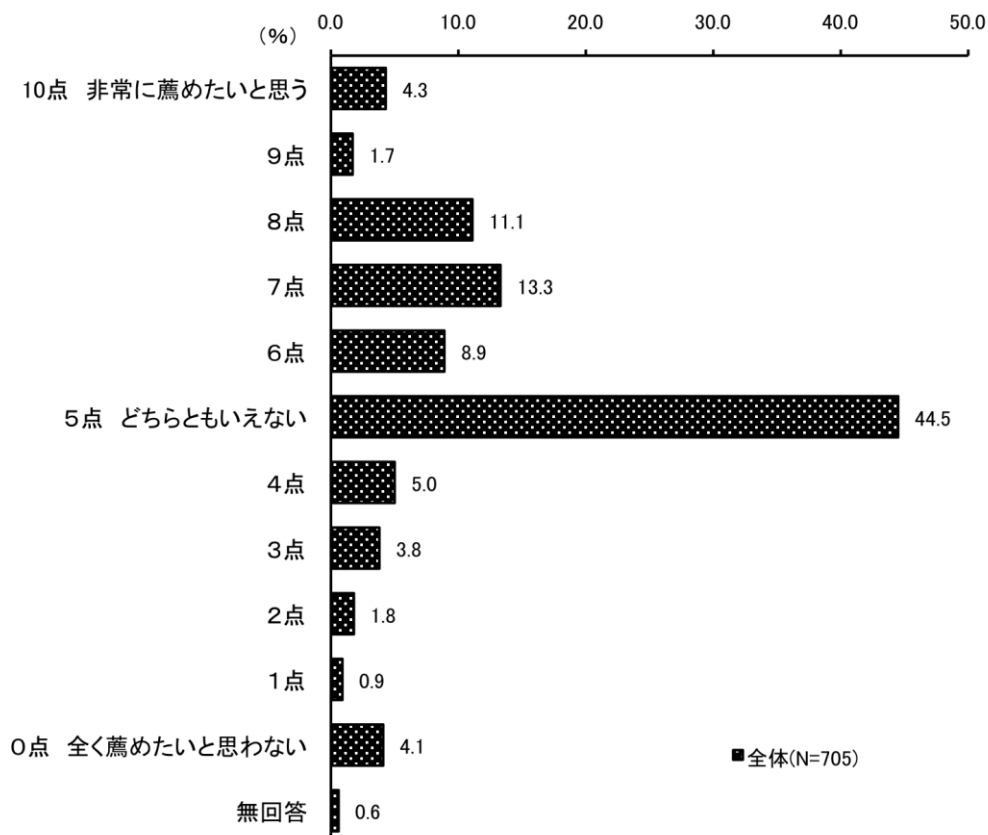


※ 加重平均値（とても誇りを持っている／自慢できる～誇りを持っていない／自慢できないを、それぞれ2, 1, -1, -2点として計算）

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
0.42	0.38	0.46	0.75	0.28	-0.06	0.38	0.48	0.46	0.56	0.54	0.54	0.13
	男-20 (28)	男30 (30)	男40 (55)	男50 (48)	男60 (72)	男70- (72)	女-20 (30)	女30 (40)	女40 (46)	女50 (51)	女60 (110)	女70- (117)
	0.70	-0.31	0.42	0.53	0.42	0.38	0.10	0.13	0.33	0.43	0.48	0.70

- 新居浜市民の新居浜市の誇り／自慢度は、加重平均値で0.42。
- 博報堂エリアHABIT調査（2013）による全国（41都道府県）の居住都道府県の誇り／自慢度の平均は0.66、愛媛県民の愛媛県の誇り／自慢度は0.53なので、やや低めである。
- 性年齢別では、10代（N=17）が0.75と高い一方で、30代が-0.06、特に30代男性が-0.31と低い。また、20代女性が0.10、30代女性が0.13と他の年代に比べ低い。
- 居住歴パターン別では、出身者0.54、Uターン0.54、転入者0.13、居住歴5年未満（N=26）-0.50、10年未満（N=22）-0.23と、好意度や住みやすさと同様の傾向。

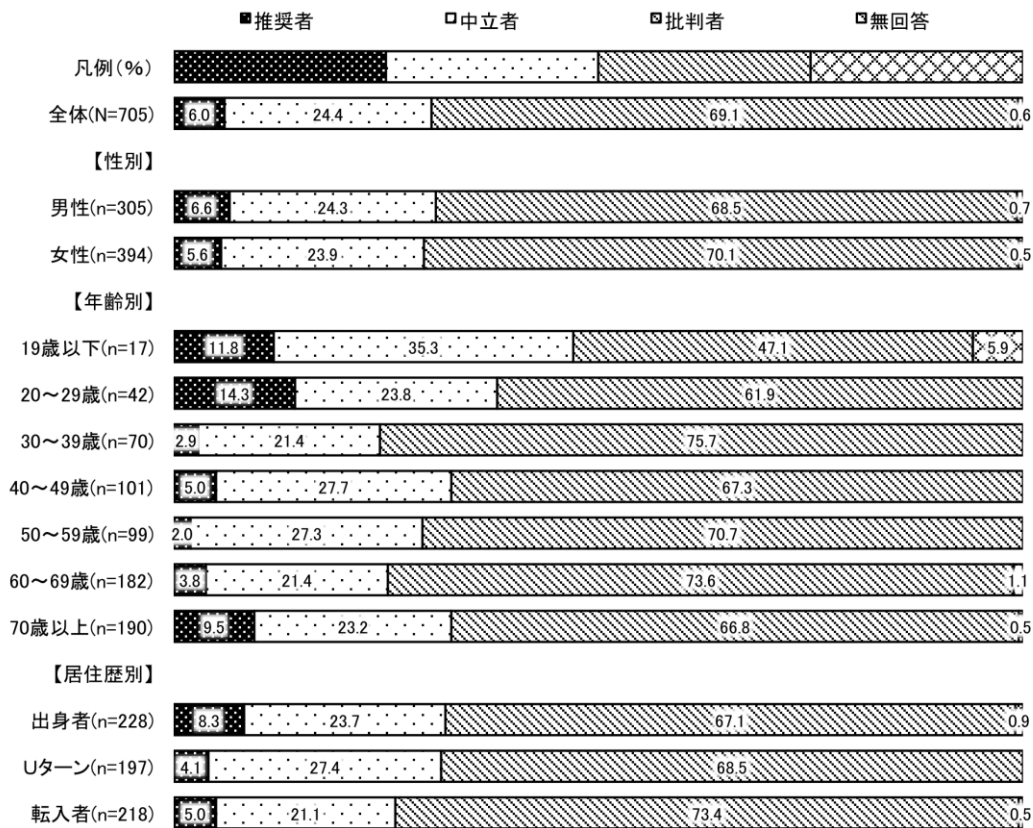
【新居浜市への居住推奨度（ネットプロモータースコア）】（問4）



※ ネットプロモータースコアは、その製品を人に薦めたい度合いを10点～0点の中から選んでもらうもので、真の顧客満足度を測る指標とされる。10,9点を「推奨者」、8,7点を「中立者」、6～0点を「批判者」として分類し、「推奨者」から「批判者」を引いた比率（ポイント）をネットプロモータースコアと呼ぶ。

※ スコアは製品カテゴリーによって異なり、直接比較できる基準値がないため、この数値が高いか低いかを一概に言うことはできない。以下では、主に層別の比較を行う。

■ 新居浜市民の市への居住推奨度は、5点「どちらともいえない」が45%と多く、推奨者6.0%、中立者24.4%、批判者69.0%で、ネットプロモータースコアは-63.0ポイントであった。

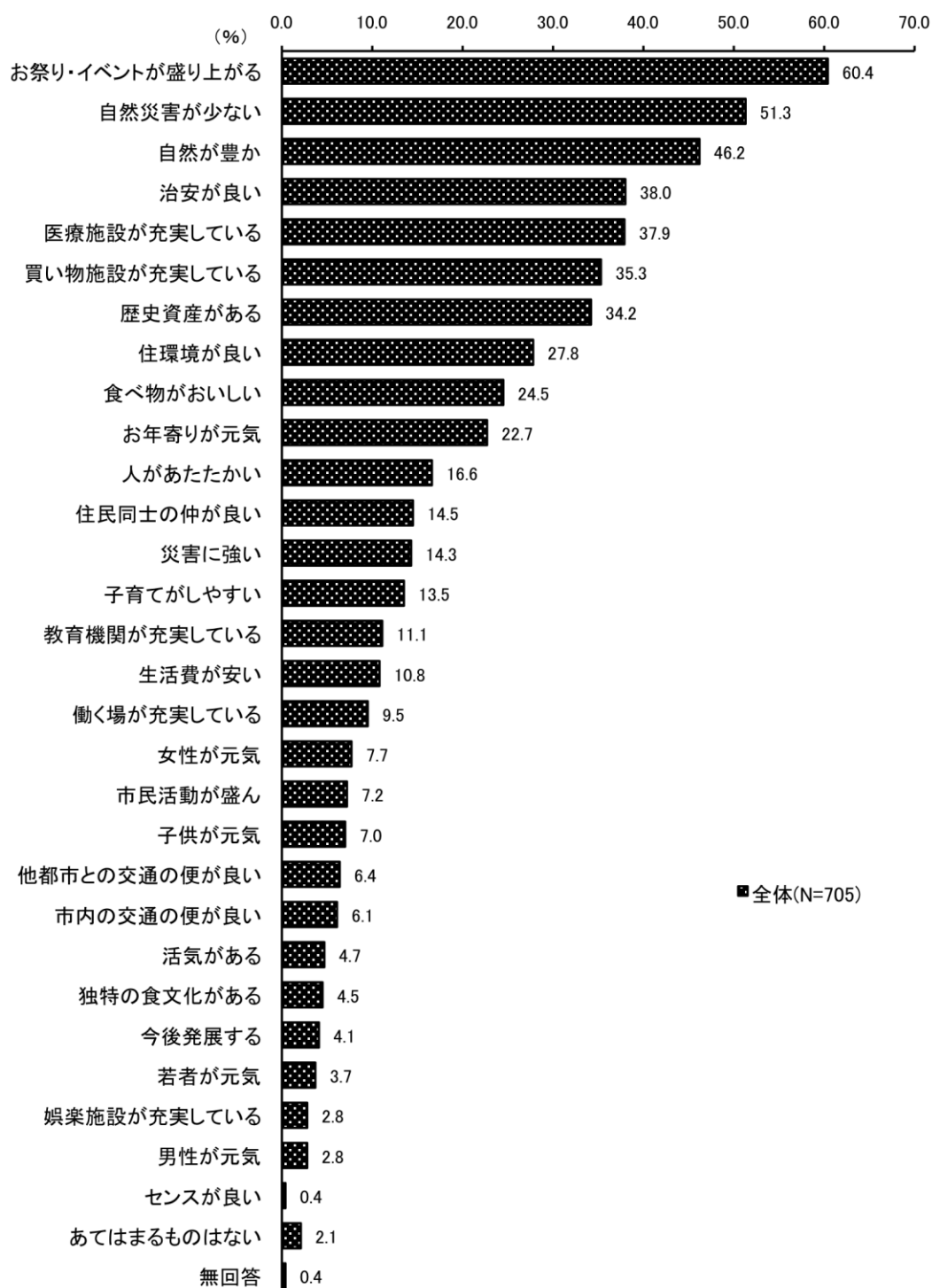


※ 上記は推奨者、中立者、批判者の比率のみを表したグラフ、下記はネットプロモータースコアの一覧である。

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
-63.0	-62.0	-64.4	-35.3	-47.7	-72.7	-62.5	-68.6	-69.7	-57.4	-58.6	-64.6	-68.3
	男-20 (28)	男 30 (30)	男 40 (55)	男 50 (48)	男 60 (72)	男 70- (72)	女-20 (30)	女 30 (40)	女 40 (46)	女 50 (51)	女 60 (110)	女 70- (117)
	-25.0	-86.6	-71.0	-68.7	-58.4	-58.5	-63.3	-62.5	-52.2	-68.6	-77.2	-56.5

- 全体のネットプロモータースコア-63.0ポイントに対して、性年代別で最も高いのは20代以下男性の-25.0ポイント。逆に最も低いのは30代男性で-86.6ポイント。
- 居住歴パターン別では、出身者-58.6、Uターン-64.6、転入者-68.3。居住歴5年未満(N=26)は-84.5、10年未満(N=22)は-72.6となっている。

【新居浜市の印象】（問5）



※グラフは、数値の高い順にソート

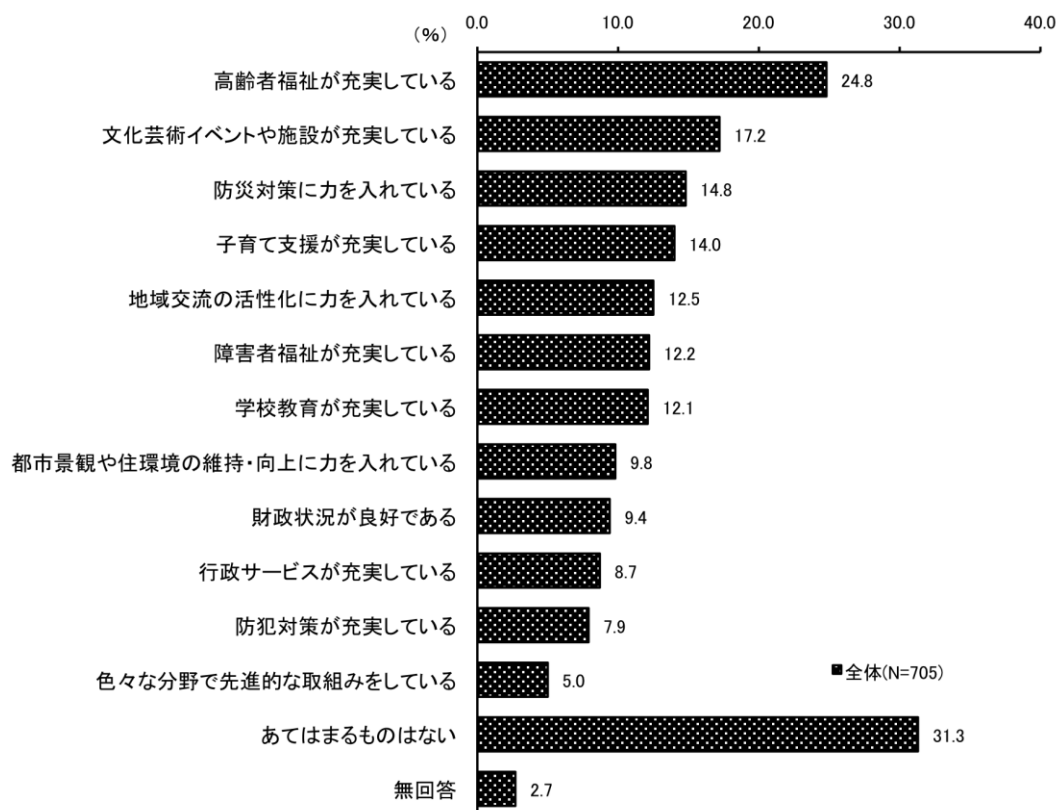
■ 上位には「お祭りが盛り上がる」「自然災害の少なさ」「自然の豊かさ」「治安」「医療施設・買い物施設」「歴史資産」等、下位には「活気」に関わる項目が並んでいる。

※下記は、各項目の回答率の単純平均値である。

全体 (705)	男性 (305)	女性 (394)	-19歳 (17)	20代 (42)	30代 (70)	40代 (101)	50代 (99)	60代 (182)	70歳- (190)	出身 (228)	U turn (197)	転入 (218)
21.6	21.0	21.8	29.2	19.5	18.3	17.3	18.0	22.3	25.8	23.1	20.4	20.3
	男-20 (28)	男30 (30)	男40 (55)	男50 (48)	男60 (72)	男70- (72)	女-20 (30)	女30 (40)	女40 (46)	女50 (51)	女60 (110)	女70- (117)
	<u>27.3</u>	16.2	16.6	17.3	22.3	<u>25.1</u>	15.9	19.8	18.1	18.7	22.4	<u>26.2</u>

- 回答率の単純平均値が高いということは、全般に市を肯定的に評価しており、イメージ総量も多いことを意味する。
- 全体の21.6%に対して平均値が高いのは、男性20代以下、女性70代以上、男性70代以上。逆に低いのは、女性20代以下～50代、男性30代～50代となっている。
- 男性20代以下、男女70代以上では全般に高い項目が多いが、その他の年代で相対的に高い項目としては、男性50代の「お祭り・イベントが盛り上がる」(79%)、女性30代・40代の「子育てがしやすい」(28%)が挙げられる。
- 新居浜市の総合評価(好意度、住みやすさ、誇り／自慢度、居住推奨度、継続居住意向)の高い層は、ほとんどの項目への評価が高い傾向にある(以下の個別評価でも同様)。
- 相対的に出身者で高く、転入者で低い項目には「お祭り・イベントが盛り上がる」(前者68%、後者54%、以下同様)、「治安が良い」(45%、27%)、「食べ物がおいしい」(28%、19%)などがある。

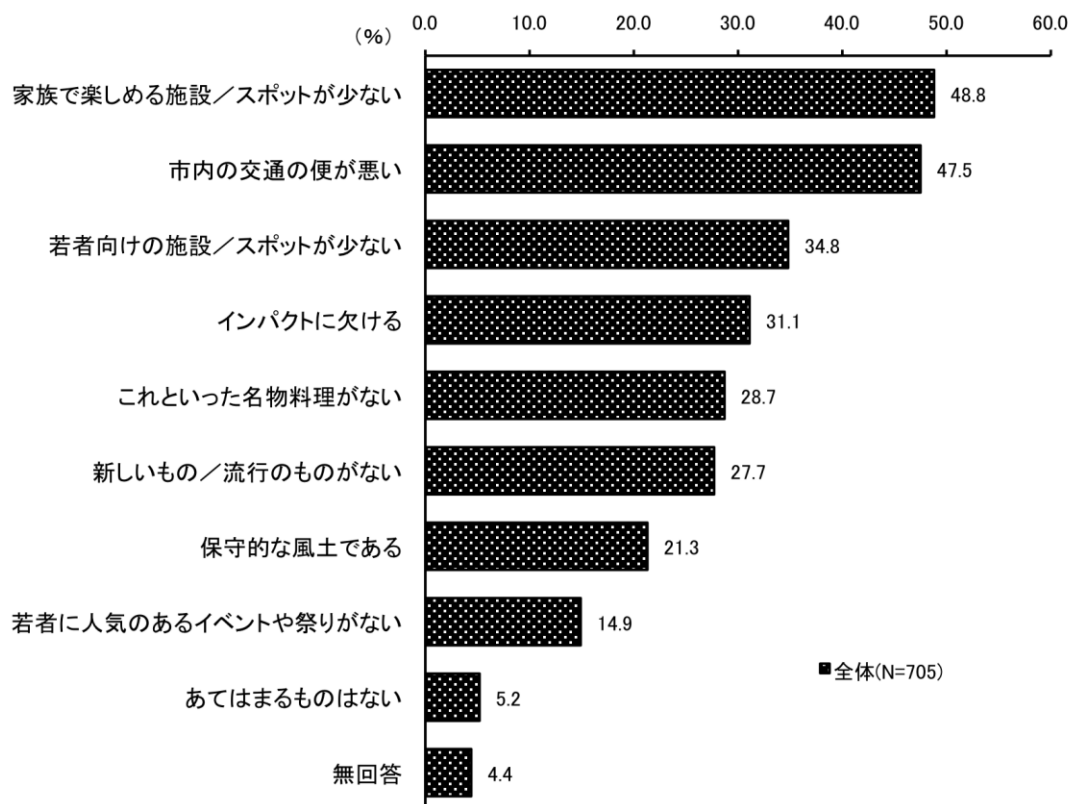
【新居浜市の施策についての印象】（問 6）



※グラフは、数値の高い順にソート

- 最も高いのは「高齢者福祉が充実」で 25%、「あてはまるものはない」が 31%とそれを上回る。「先進的な取り組み」は 5%にとどまる。
- 年代別で相対的に高い項目は以下の通り。
 - 20 代以下：「文化芸術イベントや施設が充実」 37%
 - 30 代：「子育て支援が充実」 24%
 - 70 代以上：「高齢者福祉が充実」 38%
- また、居住歴 10 年未満では、「文化芸術イベントや施設が充実」が 27%と相対的に高めである。

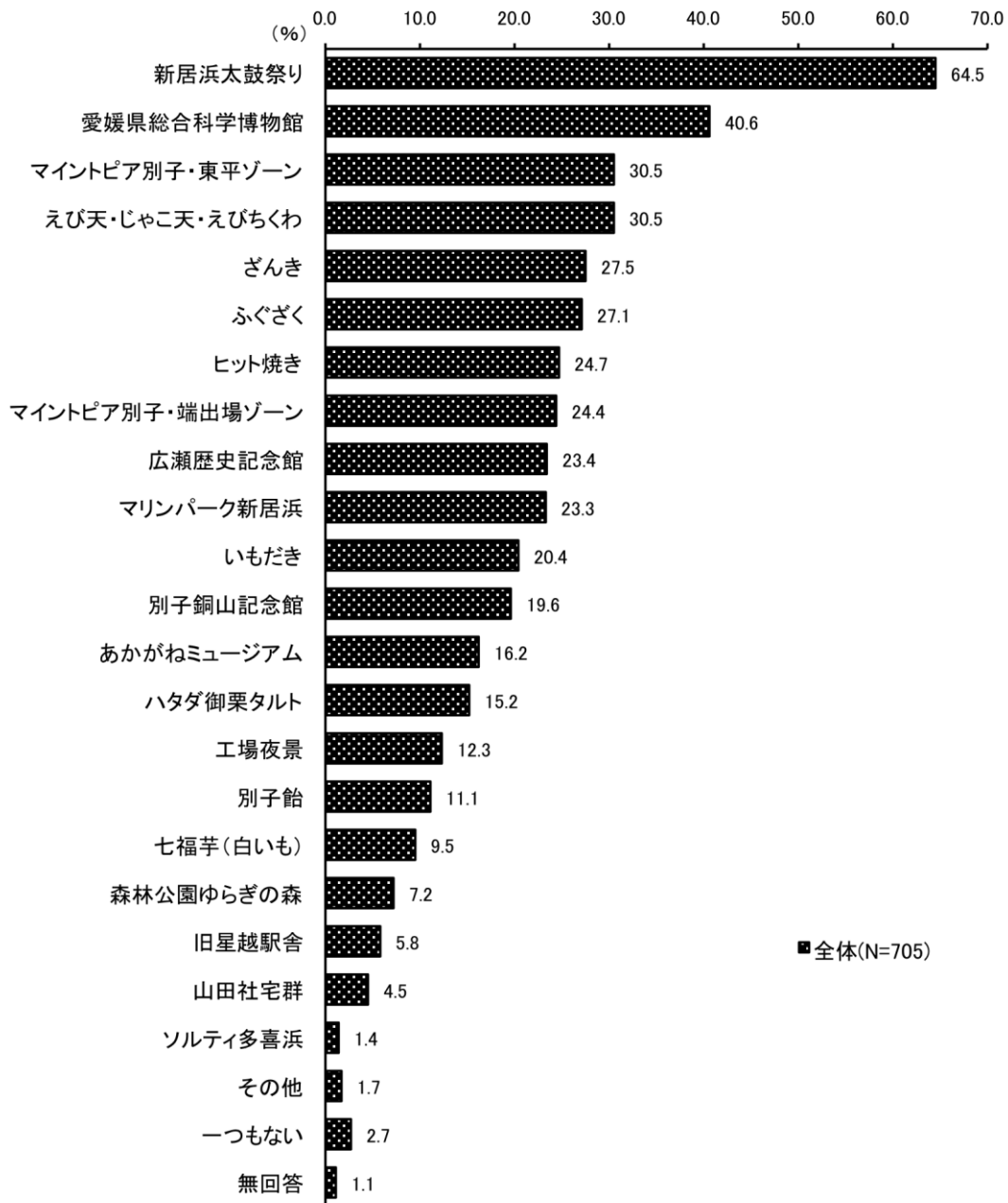
【新居浜市の魅力的でない点】（問7）



※グラフは、数値の高い順にソート

- 「家族で楽しめる施設が少ない」「市内の交通の便が悪い」を半数近くの人が挙げている。
- 「若者向けの施設が少ない」は20代以下で3/4、30～50代でも4割以上の人が挙げており、「新しいもの／流行のものが無い」は30代以下で半数の人が挙げている。
- 居住歴パターン別では、Uターン層で「インパクトに欠ける」が43%と相対的に高いのが目立つ。

【新居浜市の好きな地域資源】（問8）



※グラフは、数値の高い順にソート

■ 「新居浜太鼓祭り」を 2/3 の人が挙げ、他を引き離す。次いで、「愛媛県総合科学博物館」の 4 割、「マイントピア別子・東平ゾーン」「えび天・じゃこ天・えびちくわ」の 3 割が続く。

■ 年代別で相対的に高い項目は以下の通り。

20 代：「新居浜太鼓祭り」76%

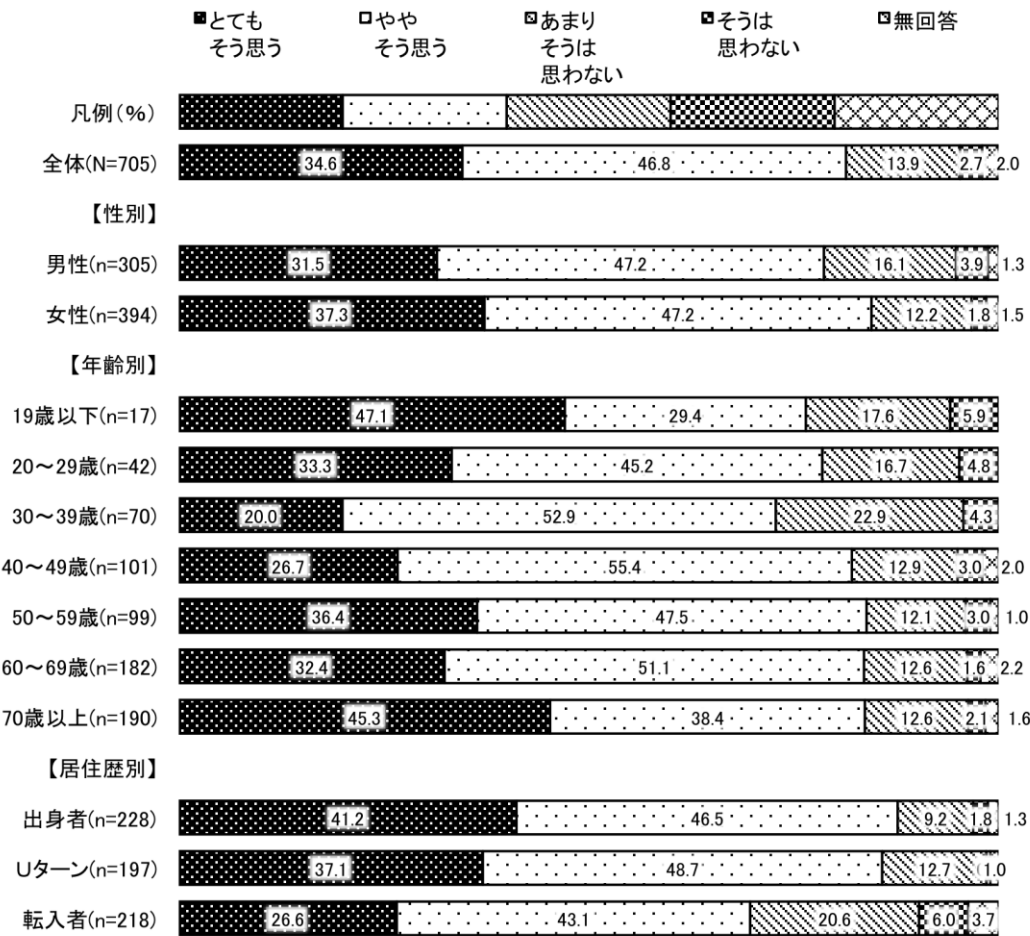
20 代以下：「マリンパーク新居浜」が半数、「ざんき」が半数弱（30 代でも高い）、「ヒ

ット焼き」が 1/3

60 代以上：「えび天・じゃこ天・えびちくわ」が 4 割、「広瀬歴史記念館」が 3 割。「マイントピア」や「別子銅山記念館」も年配層ほど高めである（但し、10 代も高い）。

- 「新居浜太鼓祭り」は「コア層」（新居浜市が「とても好き」「とても住みやすい」「とても誇りを持っている」、ネットプロモータースコアの「推奨者」）で 8 割前後と非常に高くなっている。
- 相対的に出身者で高く、転入者で低い項目には「新居浜太鼓祭り」（前者 74%、後者 50%、以下同様）、「えび天・じゃこ天・えびちくわ」（36%、23%）などがある。

【継続居住意向】（問 9）

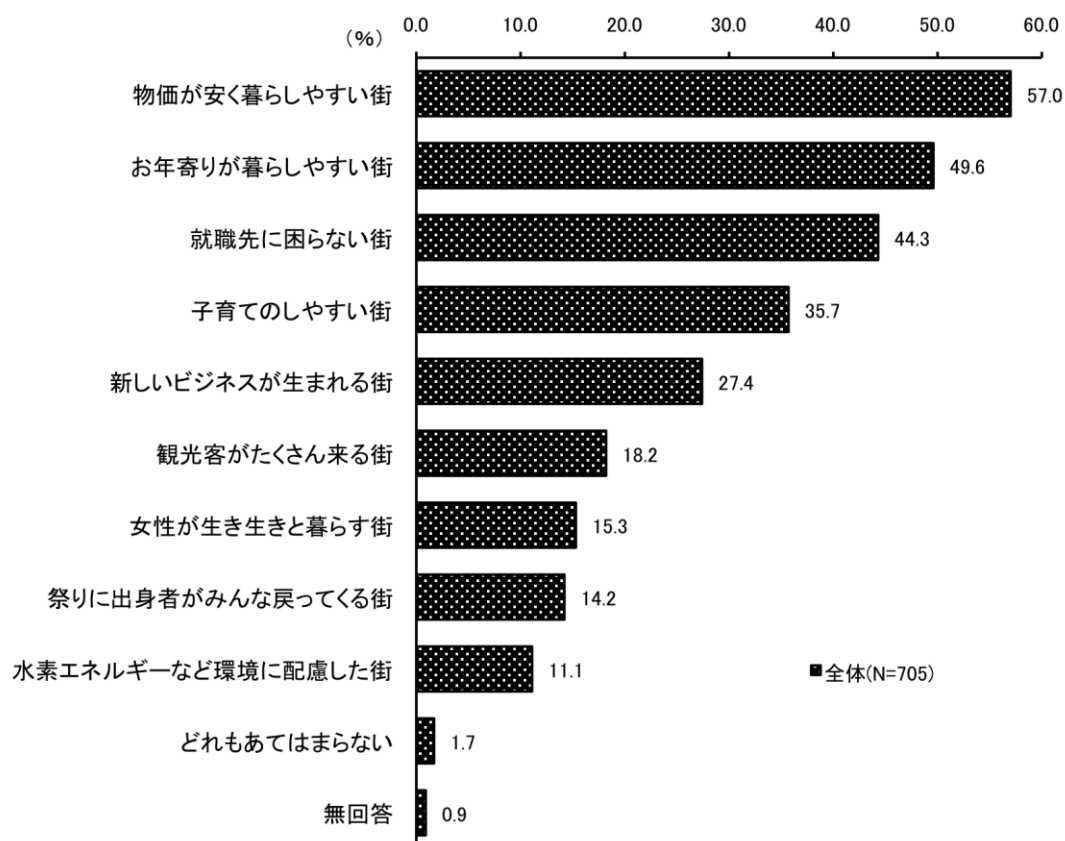


※加重平均値(とてもそう思う～そうは思わないを、それぞれ 2, 1, -1, -2 点として計算)

全体	男性	女性	-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳-	出身	U turn	転入
0.99	0.87	1.08	0.94	0.86	0.61	0.92	1.03	1.02	1.14	1.18	1.10	0.66
	男-20 (28)	男 30 (30)	男 40 (55)	男 50 (48)	男 60 (72)	男 70- (72)	女-20 (30)	女 30 (40)	女 40 (46)	女 50 (51)	女 60 (110)	女 70- (117)
	0.75	0.43	0.76	1.06	1.01	0.93	0.97	0.75	1.11	1.00	1.03	1.29

- 新居浜市民の新居浜市の継続居住意向は、加重平均値で 0.99。
- 性年齢別では、70代以上が 1.14 と高い一方で、30代が 0.61、特に 30代男性が 0.43 と低い。
- 居住歴パターン別では、出身者 1.18、Uターン 1.10、転入者 0.66 である。また、居住歴 5年未満 (N=26) では 0.04、10年未満 (N=22) では 0.32 と非常に低くなっている。

【今後の理想像】（問 10）



※グラフは、数値の高い順にソート

■ 「物価が安く暮らしやすい街」「お年寄りが暮らしやすい街」「就職先に困らない街」がベスト3。

■ 年代別で相対的に高い項目は以下の通り。

20代：「就職先に困らない」57%、「子育てのしやすい」50%

30代：「子育てのしやすい」66%

50代：「新しいビジネスが生まれる」37%

60代以上：「お年寄りが暮らしやすい」62%

要約

<新居浜市民の特性>

- ・ 調査対象者の 53%が 60 代以上（実際の人口構成比も 15 歳以上の 43%が 60 代以上）。
- ・ 出身者、U ターン、転入者の比率はおおよそ 1/3 ずつ。転入者が多いのは 30 代（男）。
- ・ 同居している子どもがいるのは 4 割弱（進学したら必ず市外へ）。別居している子どもがいるのは 6 割弱（その内訳は市内が半数弱、県内 1/4、県外 6 割）。
- ・ 大卒比率は出身者で 1 割強、U ターンで 5 割、50 代以下の転入者で 5 割強。
- ・ U ターン層の転出目的の 5 割は進学（20 代で 9 割）、新卒での就職、転勤が 2 割ずつ。
- ・ U ターン層の転入目的は親等との同居・近居が 3 割、新卒での就職、転職が各 15%。
- ・ 転入者の転入目的は結婚が 1/3、転勤が 2 割弱。50 代以下の男性に絞ると、転勤 3 割弱、転職、新卒での就職が 2 割程度。
- ・ 市内の通算居住年数は 30 年以上が 2/3。居住歴 10 年未満は全体の 7%だが、30 代では 1/3、転入者 50 代以下男性では 5 割、同女性では 4 割。
- ・ 今後の転出予定者は全体の 15%（20～30 代では 4 割）。その内、再転入意向ありが 1 割、なしが 1/3（転入者ではなしが 5 割）。

<新居浜市の評価>

- ・ 好意度は加重平均値（2, 1, -1, -2 点）で 0.95 点と平均的。30 代男性、転入者、居住歴 10 年未満で低い。
- ・ 住みやすさは 0.84 点、誇り／自慢度は 0.42 点で、全国や愛媛県と比べやや低め。継続居住意向は 0.99 点。30 代男性、転入者、居住歴 10 年未満で低いのは、好意度と同様。誇り／自慢度は 20～30 代女性も高くない。
- ・ 新居浜市の印象の上位は「お祭りが盛り上がる」「自然災害の少なさ」「自然の豊かさ」「治安」「医療施設・買い物施設」「歴史資産」等、下位は「活気」に関わる項目。男性 20 代以下、70 代が全般に高いのに対して、女性 20 代以下～50 代、男性 30～50 代は低め。総合評価の高い層はどの項目に対しても高めの評価。
- ・ 魅力的でない点は「家族で楽しめる施設が少ない」「市内の交通の便が悪い」が半数近く。「若者向けの施設が少ない」は 20 代以下で 3/4、30～50 代で 4 割以上。
- ・ 好きな地域資源は「新居浜太鼓祭り」が 2/3 で他を引き離す（総合評価の高い層では 8 割前後）。「新居浜太鼓祭り」が 20 代で高いのに対して、「えび天・じゃこ天・えびちくわ」「広瀬歴史記念館」「マイントピア」「別子銅山記念館」は年配層ほど高め。

N FACTBOOK

新居浜市シテイブランド戦略資料

N FACTBOOKの要約	76	(参考資料)産業都市	115
I 新居浜市の現状	80	(1)防府市	116
1. 新居浜市基本情報	81	(2)磐田市	122
(1)新居浜市の概要	81	(3)延岡市	128
(2)生活環境	83	(4)日立市	133
①住	83	(5)苫小牧市	138
②働	84	(参考)新居浜市	143
③産業	85		
④収入/貯蓄	86	主婦ワークショップ実施記録	148
⑤交通	87	勤労男性ワークショップ実施記録	156
⑥教育	89	高校生ワークショップ実施記録	166
2. 情報環境	90	西高教論ヒアリング記録	176
(1)新居浜市の情報資源(市の施策、イベント、施設等)	90		
①観光	90		
②文化イベント	92		
(2)新居浜市の情報発信状況	93		
3. 市民意識	95		
(1)市民から見た新居浜	95		
(2)市外から見た新居浜	96		
4. 今後5年間の主要な環境変化/上位計画	97		
(1)ブランド戦略を考える上で前提となる上位計画について	97		
(2)今後5年間程度で具体化する重点的な施策/事業について	98		
(3)行政の施策以外で今後5年間程度で実現する事象について	98		
(4)産業振興に関連する施策等について	99		
II 人口動向	100		
1. 総人口	101		
(1)視点1 人口ピラミッド	102		
(2)視点2 年齢階層推移	103		
(3)視点3 転出入	107		
2. 3つの視点から見えること	108		
3. 人口動態と市民アンケートの統合分析	111		
(1)居住歴パターンはほぼ1/3ずつ	111		
(2)転出入と合わせて見てみる	112		

N FACTBOOKの要約

N FACTBOOKは新居浜市シティブランド戦略を考えるための基礎情報収集を集約したものです
可能な限り幅広く俯瞰的にまちをとらえると同時に生活者視点の情報収集も行いました

面積 / 自然環境など	生活
<p>新居浜市は、四国の瀬戸内海側のほぼ中央に位置する人口約12万人の都市です。</p> <p>元禄4年（1691年）の別子銅山開坑によって繁栄し、沿岸地帯は工場群が帯状に形成され四国屈指の臨海工業都市となっています。</p> <p>平成15年4月1日、別子銅山という文化歴史的背景を共有した別子山村と合併しました。</p> <p>現在は、平成22年度に策定した第五次新居浜市長期総合計画（H23～H32）において、「一あかがねのまち、笑顔輝く一産業・環境共生都市」を目指す都市像とし、魅力あるまちづくりを目指しています。</p> <p>平成27年10月1日 国勢調査</p> <ul style="list-style-type: none">● 人口 119,903人● 世帯数 50,653世帯● 面積 234.3平方キロメートル (可住地面積63.11km²) <p>別子銅山から下りた山側（上部）と海側工場地帯周辺（川西、川東）その間を東西の丘陵が迫るといふ自然環境がまちの発展に影響を与えている</p>	<p>住 宅地価格は安定、新居浜はバブル期の高騰が少なかった 供給量は松山以外では圧倒的に豊富</p> <p>クルマ社会 公共交通は整備が十分ではなく、クルマがないと動きにくいまち 子ども/お年寄りの足がない</p> <p>消滅した繁華街 大型ショッピングセンターへの一極集中</p> <p>働 製造業・建設業が中核を担う構造 医療福祉など生活サービス領域が拡大 女性の求人就職が男性を上回る</p> <p>高校卒業後の進路 高校卒業1,000人のうち700人弱が進学 女子は8割が進学 就職は300人強 就職者の9割は県内、6割は製造業</p>
<p>観光</p> <p>観光資源は開花させづらい 産業遺産は市内各所に点在し、その間の公共交通機関が整備されておらず、観光資源としてのポテンシャルは開花していない</p> <p>東予東部圏域の観光客は合計数で松山圏域の1/3、今治圏域の3/5にとどまり、両地域が大幅に伸びているのに対し停滞している また、両地域が県外観光客が半分を占めるのに対し、県内観光客が中心を占める</p>	<p>産業</p> <p>総生産 市内総生産でみると製造業は、総生産の1/3を占めるにすぎない 製造業を中心にその周辺産業で構成される これは就業者数と同様の傾向</p> <p>住友系企業 住友系企業が生産額のほぼ1/2を占める</p>

情報発信

発信物

市の発信物はデザイン的にも配慮し、アプリ/Facebook等SNSを活用した情報発信も行っているがやや静めでおとなしい印象のものが多い

文化イベント

積極的な文化的イベントは、まちの魅力づくりに不可欠
「新居浜市」「あかかねミュージアム」「新居浜市ミュージアム」など表示が統一されていない

今後5年間の主要な環境変化

新居浜市市制施行80周年記念事業（H29年度実施）

「つむぐつなぐ 未来へ 人へ」
愛顔つなぐえひめ国体（H29年度実施）

《行政》

・新居浜市企業城下町版生涯活躍のまち（RCC新居浜）
（H31年度導入予定）

《民間》

- ・J R 新居浜駅前東横イン建設（H29年）
14階建246室のホテル
- ・住友化学愛媛工場飼料添加物メチオニン製造設備増設
（H30年）国内最大級の500億円を投資
- ・住友グループ日暮別邸移築（H30年）

《産業》

- ・ものづくりブランド創出・支援事業/製造業イメージアップ事業/技術シース展示会開催事業等の支援事業
- ・創業支援セミナーの開催/新居浜市創業支援補助金などの創業支援
- ・水素社会推進事業/水素社会推進協議会を開催し、エネルギー関連産業の創出・振興の推進

産業都市比較

※全国の企業城下町と呼ばれる他地域の人口動態を比較
（防府市、磐田市、延岡市、日立市、苫小牧市）

好調な磐田/苫小牧に対し日立/延岡は厳しい状況
基幹となる産業の好不調が人口に反映する

新居浜の流入/流出でみる人口動態は、産業都市として平均的
20代30代、特に20代の流入確保がポイントになるのはどの都市も
同様の傾向

20代流出は、防府を除けば同年代人口比11%前後と同水準
20代流入が低調な延岡/日立は人口減少が著しい

新居浜は転入に対して、やや転出数が多い傾向

30代40代の転出過剰に加え、その家族と思われる0～9歳・10～19歳の転出が過剰、このような傾向は日立/延岡など人口減少地区で著しい

市民は新居浜をどう見ているか

市民の新居浜市への評価はやや低い

- ・好意度は加重平均値 (2,1,-1,-2点) で0.95点と平均的。30代男性、転入者、居住歴10年未満で低い。
- ・住みややすさは0.84点、誇り/自慢度は0.42点で、全国や愛媛県と比べやや低め。継続居住意向は0.99点。30代男性、転入者、居住歴10年未満で低いのは、好意度と同様。誇り/自慢度は20~30代女性も高くない。
- ・魅力的でない点は「家族で楽しめる施設が少ない」「市内の交通の便が悪い」が半数近く。「若者向けの施設が少ない」は20代以下で3/4、30~50代で4割以上。
- ・好きな地域資源は「新居浜太鼓祭り」が2/3で他を引き離す (総合評価の高い層では8割前後)。「新居浜太鼓祭り」が20代で高いのに対して、「えび天・じゃこ天・えびちくわ」「広瀬歴史記念館」「マイントピア」「別子銅山記念館」は年齢層ほど高め。

市民の新居浜市への評価はやや低い傾向を示す

地元出身者、Uターン層と市外からの転入者で評価の格差が大き

市外から新居浜はどう見えているか

【地域ブランド調査2015】株式会社ブランド総合研究所

2015順位	魅力度	認知度	情報接触度	観光意欲度	居住意欲度	産品購入意欲度			
1	93	1	110	2	170	1	56	4	76
2	125	2	154	1	117	2	118	2	131
3	221	4	275	3	311	3	192	4	187
4	253	3	254	4	339	4	222	3	142
5	497	8	656	9	698	6	434	10	627
6	510	7	642	6	634	5	374	5	295
7	545	5	491	5	560	8	495	7	441
8	545	5	491	5	560	8	495	7	441
9	545	5	491	5	560	8	495	7	441
10	627	6	622	8	665	7	471	8	547
11	745	11	846	12	890	12	772	9	580
12	831	14	938	11	882	14	790	13	827
13	890	12	930	15	963	9	539	11	665
14	890	12	930	13	901	10	611	11	665
15	946	15	945	14	923	13	784	14	923

※全国1047都道府県市町村を対象に約29,000人に調査
ここに示したのはランキング順位、左が愛媛県内、右が全国の値

認知度、情報接触度は県内5位にあるが、その他の項目に関しては、相対的に県内順位が落ちる傾向にある
新居浜市は観光・産品資源の認知度が低いため、認知度や情報接触度に比べ、若干順位が低い
存在感はあるが、魅力的にはなり切れない

主婦/高校生/働く人ヒアリングから見えてくること

主婦

多くが新居浜出身のUターン層
その多くが大都市の空気を吸ってきたので、少し物足りなさを感じている

「未来の新居浜」

- ライブな文化芸術ニーズ 子どもに触れさせたい
- 公共交通機関の充実を求める声
- 公園/街の景観整備を求める声
- 新居浜らしさを明確化してほしい

市外出身勤労男性

- 地元の人との交流は少ない/県外同士
- 新居浜への愛着は低い
- 子どもと一緒に過ごす場所が少ないことが特に不満

高校生

- 19人中15人は卒業したら市外に出る予定
- 新居浜への愛着は極めて高く、「好きどころ」では太鼓まつり、別子銅山、自然、公園などが挙がる
- 故郷が魅力的であって欲しい
「帰ってくる時にいまちであって欲しい」という思いが感じられた

公共交通機関の弱さは多くの市民が指摘

西高教諭

- 西高のような進学校の場合、全員が進学のために新居浜市を出るが、その後市に戻ってくる者は少数派と推測される
- 新居浜の子ども達は太鼓祭りを中心に地元が大好きだが、進学する生徒にとってもそれが地元に戻ってくる動機になるとは考えにくい

人口

総人口

新居浜市の人口は、2015年国勢調査で119,903人
平成22年(2010)から△1.5%、減少傾向だがそのマイナスは小さい
その原因として1番にあげられるのは安定した就職環境にあると考えら
れる

中核にある住友系企業製造業と、その周辺企業さらにその周辺の
サービス業が安定していたことが20歳以上の流入を促進した
20代以上の転入が総人口のプラス要因となる一方、30代40代の家
族を含むとみられる転出超過がマイナス要因となっている
このような傾向は「地方産業都市モデル」といえるもの
ブランド戦略を構築する時に、この特性を前提とすることがポイント
1次産業都市モデルだけでなく、地方産業都市モデルも崩壊の危機
に直面している

20代人口転入の好調が新居浜人口のプラス要因

30代40代の家族を含むとみられる転出超過がマイナス要因となっ
ている

人口推移予想（国立社会保障・人口問題研究所）

2020年	114,000人
2030年	104,000人
2040年	94,000人
2050年	85,000人
2060年	75,000人

市民の構成

【市民アンケート結果から】

新居浜出身者、Uターン、市外からの転入者の比率は、おおよそ
1/3ずつ

- ・ 転入者が多いのは30代男性で50%
- ・ 同居している子どもがいるのは40%弱（進学したら必ず市外へ）
- ・ 転入者の転入目的は結婚が1/3、転勤が20%弱。50代以下の男性に絞ると、転勤30%弱、転職、新卒での就職が各20%程度
- ・ 今後の転出予定者は全体の15%（20～30代では40%）。その内、再転入意向ありが10%、なしが1/3（転入者ではなしが50%）男性の30代では転入者が50%を占めるが、40代（25.5%）50代（12.5%）と転入者比率が低下する

【市民アンケート+転出入状況から】

10代後半から20代にかけて、大量の転出と転入が起きる
20代で転入した男性は、新居浜への愛着が高まらないまま30代40代で転出している傾向が推測される
また、新居浜の流出入差のほぼ半数（180人）は0～9歳、10～19歳が占めており、そのうちの大半は親の転居に伴う子どもの転出と判断される

新居浜の人口は、転入者の動向が大きく影響を与えている

I 新居浜市の現状

1. 新居浜市基本情報

(1) 新居浜市の概要

新居浜市は、四国の瀬戸内海側のほぼ中央に位置する人口約12万人の都市です。
 元禄4年（1691年）の別子銅山開坑によって繁栄し、沿岸地帯は工場群が帯状に形成され四国屈指の臨海工業都市となっています。
 平成15年4月1日、別子銅山という文化歴史的背景を共有した別子山村と合併しました。
 現在は、「一あかがねのまち、笑顔輝く一産業・環境共生都市」を目指す都市像とし、魅力あるまちづくりを目指しています。

平成27年10月1日 国勢調査

人口 119,903人
 世帯数 50,653世帯

面積 234.3平方キロメートル（可住地面積63.11km²）

- 可住地面積が63.11km²、26.9%総面積比と狭いこともあり、可住地人口密度は1964.06人/km²と松山市（2145.93人/km²）に次いで県内第2位となっている。
- 本市の山林面積は、17,160ヘクタール＝171.6平方キロメートル：73.2%総面積比（平成27年4月1日現在の森林面積）
- 新居浜市の農地面積は144万9812.5平方メートル（14.4平方キロメートル、6.1%総面積比）、そのうち遊休農地面積は72万9892平方メートルで、農地面積に占める割合は約5.05パーセント
- 海岸線はほぼ工場で占められている
- 工場地域と居住圏は分離されている

3 土地

年次	総面積 ha	可住地面積 ha	林野面積 ha	DID面積 ha	既存地面積 ha	宅地面積 ha	可住地面積 割合%	DID面積 割合%	宅地比率 %
平成15年	234.30	63.11	171.19	-	7,912	2,321	26.9	-	29.3
16	234.30	63.11	171.19	-	10,381	2,316	26.9	-	22.3
17	234.30	63.11	171.19	29.1	10,427	2,328	26.9	12.4	22.3
18	234.30	63.11	171.19	-	10,578	2,359	26.9	-	22.3
19	234.30	63.11	171.19	-	10,599	2,371	26.9	-	22.4
20	234.30	63.11	171.19	-	10,606	2,386	26.9	-	22.5
21	234.30	63.11	171.19	-	10,593	2,395	26.9	-	22.6
22	234.30	63.11	171.19	29.4	10,417	2,404	26.9	12.5	23.1
23	234.32	63.03	171.29	-	10,416	2,416	26.9	-	23.2
24	234.32	63.03	171.29	-	10,415	2,427	26.9	-	23.3
25	234.32	63.03	171.29	-	10,414	2,438	26.9	-	23.4

注：DID面積…人口集中地区（総務省が一定の条件により指定した地域）

資料：県統計課
 （市町のすがた）

将来都市構造図



区分	凡例	項目
行政区	---	行政区
都市計画区域	■	都市計画区域
複合商業部	■	複合商業部
平野部	■	平野部
丘陵部	■	丘陵部
複合山地部	■	複合山地部
山間部	■	山間部
河川	—	河川
自動車専用道路	—	自動車専用道路
主要幹線道路	—	主要幹線道路
都市計画道路	—	都市計画道路
鉄道・駅	—	鉄道・駅
都市拠点	●	都市拠点
都市拠点地区	●	都市拠点地区
地域拠点	●	地域拠点
観光・レジャー拠点	●	観光・レジャー拠点
産業拠点	●	産業拠点
交通・交流拠点	●	交通・交流拠点
歴史・文化拠点	●	歴史・文化拠点
公有水面準立地	□	公有水面準立地
都市中心軸	→	都市中心軸
広域・地域交流連携軸	→	広域・地域交流連携軸
健康・環境創造軸	→	健康・環境創造軸
歴史文化軸	→	歴史文化軸



新居浜市都市計画マスタープラン

別子銅山から降りた山側（上部）と海側工場地帯周囲（川西、川東）その間を東西の丘陵が迫るといふ自然環境がまちの発展に影響を与えている

(2) 生活環境

①住

44 住宅数 (平成25年10月1日現在)

総数	住 宅 数							
	居 住 世 帯 あり		居 住 世 帯 な し			住宅以外で人が 居住する建物数		
	同居世帯 なし	同居世帯 あり	総 数	一 時 現 在 者 の み	空 家	建 築 中		
58,350	48,960	48,510	460	9,390	10	9,370	—	50

資料：住宅・土地統計調査

住環境にはめぐまれている
 宅地価格は安定、新居浜はバブル期の高騰が少なかった
 民間住宅情報サービスによると供給量は松山以外では圧倒的に豊富

7 産業(大分類)別就業者数の推移(各年10月1日現在)

産業	平成12年		平成17年		平成22年	
	総数	産業	総数	産業	総数	産業
第一次産業	845	第一次産業	970	第一次産業	617	第一次産業
林業	56	林業	48	(うち農林)	(51)	林業
漁業	216	漁業	158	漁業	115	漁業
第二次産業	5	第二次産業	2	第二次産業	10	第二次産業
建設業	7,423	建設業	6,430	建設業	5,658	建設業
製造業	13,583	製造業	12,216	製造業	11,475	製造業
電気・ガス・熱供給・水道業	489	電気・ガス・熱供給・水道業	398	電気・ガス・熱供給・水道業	413	電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業	3,847	情報通信業	377	情報通信業	386	情報通信業
運輸業	11,704	運輸業	3,087	運輸業	3,304	運輸業
卸売・小売業	1,449	卸売・小売業	9,722	卸売業、小売業	8,279	卸売業、小売業
金融・保険業	288	金融・保険業	1,211	金融業、保険業	1,161	金融業、保険業
不動産業	15,959	不動産業	348	不動産業、物品賃貸業	515	不動産業、物品賃貸業
サービス業	1,335	サービス業	2,240	飲食店、宿泊業	1,831	飲食店、宿泊業
公務	83	公務	6,879	医療、福祉	2,636	医療、福祉
分類不能の産業		教育、学習支援業	2,263	教育、学習支援業	1,998	教育、学習支援業
		複合サービス事業	524	複合サービス事業	2,142	複合サービス事業
		サービス業	7,669	医療、福祉	7,343	医療、福祉
		公務	1,293	複合サービス事業	305	複合サービス事業
		分類不能の産業	189	公務	2,837	公務
				公務	1,329	公務
				分類不能の産業	2,051	分類不能の産業

資料：国勢調査

12. 労働

38 一般職業紹介

年度	新規求人数	新規求職申込件数		就職総数	男女
		男	女		
平成17年度	12,772	7,157	3,092	2,805	1,263
18	13,010	6,927	2,904	2,924	1,313
19	12,819	6,730	2,840	2,764	1,170
20	11,195	7,500	3,127	2,847	1,154
21	8,505	8,462	3,891	2,972	1,267
22	9,388	7,909	3,437	2,912	1,195
23	10,389	7,260	3,207	2,767	1,226
24	10,256	7,212	3,128	2,763	1,202
25	11,129	6,820	2,876	2,865	1,179
26	10,438	6,298	2,679	2,607	1,161

注：平成16年11月より求職申込件数の計は、性別を特定しないものを含み、男女の合計は必ずしも計と一致しない。

注：学卒を除き、パートを含む。

資料：新居浜公共職業安定所

製造業建設業が中核を担う構造
医療福祉など生活サービス領域が拡大
女性の求人就職が男性を上回る

③産業

(2) 市内総生産額等の推移

① 市内総生産額の推移

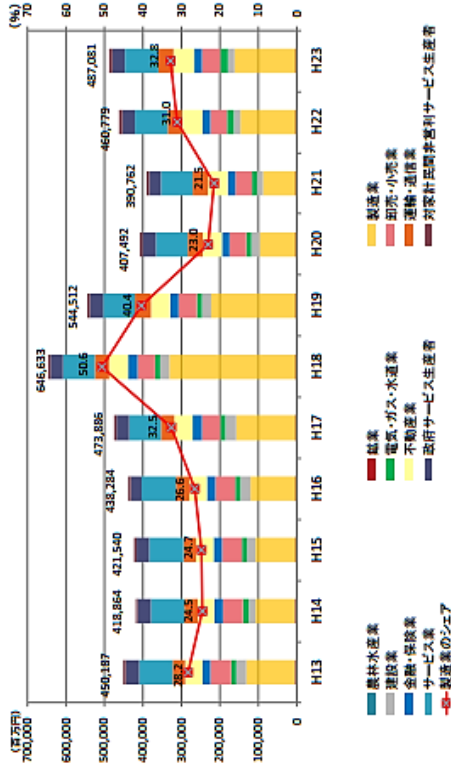
新居浜市の市内総生産額（生産活動によって生み出された付加価値額をいい、産出額－中間投入額、で計算される）の推移は、下図の通りである。

平成23年度（2011年度）の市内総生産額は4,871億円で、製造業の割合が最も多く32.8%を占め、次いでサービス業、不動産業が多い。

長期推移で見ると、製造業の動向の影響を強く受けており、平成18年のピークには、市内総生産額が6,466億円となるとともに、製造業の割合は50.6%を占めた。

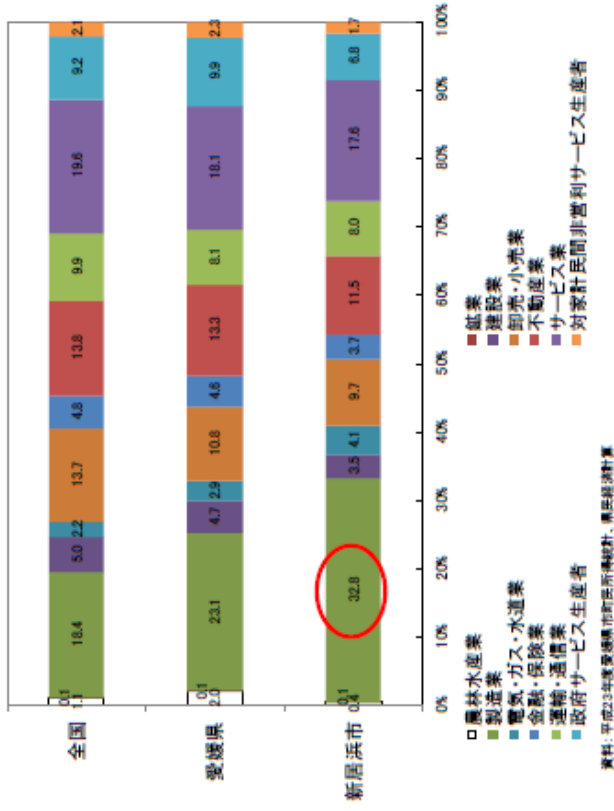
一方で、世界的な景気後退の影響を受けた平成21年度（2009年度）には、市内総生産額が3,908億円とピーク時から4割減少し、製造業の割合も21.5%まで低下した。

市内総生産の推移



(資料：愛媛県市町村民所得統計)

産業別の総生産額シェア



資料：平成23年度愛媛県市町民所得統計、県民経済計算

市内総生産で、製造業は総生産の1/3を占めるにすぎない
製造業を中心に、その周辺産業で新居浜の産業は構成される
これは就業者数と同様の傾向

④収入/貯蓄

42 県内各市の総生産・市町民所得（平成24年度）

区分	市町内総生産		市町民所得		1人当たり市町民所得	
	実数 (百万円)	経済成長率 (%)	実数 (百万円)	実数 (千円)	水準 県=100	
県計	4,716,063	△ 6.5	3,495,137	2,470	100.0	
市計	4,362,067	△ 6.4	3,205,428	2,410	97.6	
郡計	353,997	△ 8.5	289,710	2,068	84.9	
松山市	1,634,214	1.1	1,234,245	2,387	96.6	
今治市	658,184	△ 24.1	476,754	2,915	118.0	
宇和島市	238,323	△ 2.7	163,982	2,066	81.2	
八幡浜市	117,326	7.5	80,367	2,162	87.5	
新居浜市	434,613	△ 11.0	330,351	2,736	110.8	
西条市	405,129	△ 9.8	319,867	2,876	116.4	
大洲市	140,095	1.4	94,387	2,052	83.1	
伊予市	117,242	△ 4.3	85,695	2,284	92.5	
四国中央市	386,110	△ 3.2	263,969	2,063	120.0	
西予市	106,379	△ 1.8	78,733	1,923	77.9	
東温市	124,452	5.8	77,078	2,208	89.4	

資料：県統計課「市町民所得統計」

37 市内金融機関預貯金と貸出状況（各年12月31日現在）

（単位：万円）

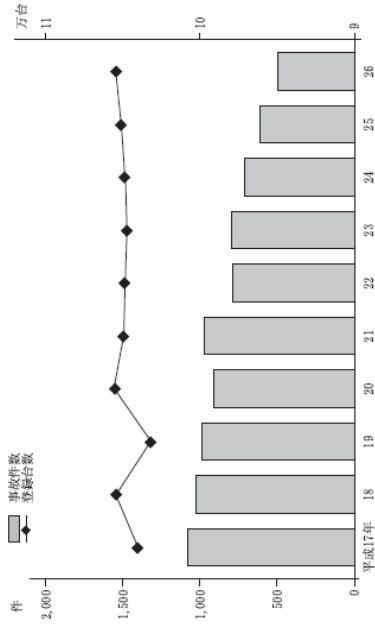
年度	普通預金		銀行貸出		その他金融機関	
	預金	貸出	預金	貸出	預貯金	貸出
平成17年度	46,032,592	32,218,737	12,208,545	5,311,159		
18	47,176,355	34,372,538	12,447,287	5,336,367		
19	48,875,224	38,265,687	13,055,898	5,546,896		
20	49,574,421	38,208,492	13,868,634	6,060,390		
21	50,844,439	38,985,834	14,287,774	6,213,803		
22	50,743,071	40,136,043	14,907,269	6,383,645		
23	51,829,077	40,503,158	15,117,735	6,360,585		
24	52,815,390	39,717,120	14,451,795	6,419,043		
25	53,818,342	39,868,349	14,908,974	6,338,311		
26	56,027,114	39,821,344	20,508,359	8,052,735		

資料：新居浜金融協会・東予信用金庫・四国労働金庫・新居浜市農協・愛媛信用金庫

所得水準は県内でも高水準
近年預貯金金額は増大傾向

⑤交通

自動車等保有台数と交通事故発生件数の推移



105 自動車登録台数 (各年3月末現在)

種別	平成22年	23年	24年	25年	26年
普通貨物 (大型自動車)	2,270	2,212	2,156	2,080	2,088
小型四輪貨物 (普通自動車)	4,181	4,035	3,976	3,900	3,864
乗用自動車 (普通自動車)	125	132	125	120	121
普通自動車 (大型自動車)	13,911	14,127	14,437	14,717	15,035
小型乗用車 (普通自動車)	23,228	22,650	22,354	21,852	21,160
特殊用途車	1,586	1,541	1,536	1,505	1,500
長けん引貨物	484	518	515	492	487
小計	45,765	45,215	45,099	44,866	44,265
第1種原付自転車 (50 cc以下)	13,040	12,689	12,391	12,146	11,942
第2種原付自転車 (125 cc以下)	3,486	3,447	3,428	3,348	3,296
軽二輪 (250 cc以下)	1,641	1,630	1,639	1,650	1,651
小型二輪 (250 cc超)	1,390	1,403	1,384	1,396	1,424
三輪自動車	2	2	2	2	1
軽四輪貨物自動車	13,397	12,921	12,020	11,922	11,749
軽四輪乗用車	27,073	28,161	28,746	29,818	30,949
小型特殊自動車	174	208	203	208	189
農耕用					
小計	58,123	59,561	59,813	60,490	61,211
合計	104,888	104,776	104,912	105,356	105,476

注：第1種・第2種原付自転車、小型特殊自動車、農耕用は各年12月末現在

資料：交通白書

4輪車の登録は7万台弱、1.7人に1台
クルマ社会



主な時刻表

※この時刻表は主なバス停の時刻表ですので、
記載されていないバス停があります。
※平日は日曜日、休日は運行しません。

新居浜-イオンモール新居浜
イオンモール新居浜への直通バス
11月10日(土)から11月17日(木)まで
イオンモール新居浜の専用バス
11月10日(土)から11月17日(木)まで
イオンモール新居浜の専用バス
11月10日(土)から11月17日(木)まで

①新居浜-川之江線 (新居浜-土土三島-港島-川之江線)

往 坂 原	6:24	7:00	7:30	8:10	9:05	9:35	10:05	10:35	11:35	12:35	13:35	14:05	14:45	15:45	16:35	17:25	18:25
イオンモール新居浜	6:27	7:03	7:34	8:14	9:09	9:39	10:09	10:39	11:39	12:39	13:39	14:09	14:49	15:49	16:39	17:29	18:29
元 塚	6:35	7:11	7:42	8:22	9:17	9:47	10:17	10:47	11:47	12:47	13:47	14:17	14:57	15:57	16:47	17:37	18:37
元 塚 西	6:43	7:19	7:50	8:30	9:25	9:55	10:25	10:55	11:55	12:55	13:55	14:25	15:05	16:05	16:55	17:45	18:45
東 塚	6:48	7:24	7:55	8:35	9:30	10:00	10:30	11:00	12:00	13:00	14:00	14:30	15:10	16:10	17:00	17:50	18:50
東 塚 西	6:49	7:25	7:56	8:36	9:31	10:01	10:31	11:01	12:01	13:01	14:01	14:31	15:11	16:11	17:01	17:51	18:51
依 田	6:54	7:30	8:01	8:41	9:36	10:06	10:36	11:06	12:06	13:06	14:06	14:36	15:16	16:16	17:06	17:56	18:56
下 池	6:55	7:31	8:02	8:42	9:37	10:07	10:37	11:07	12:07	13:07	14:07	14:37	15:17	16:17	17:07	17:57	18:57
川之江営業所	7:49	8:57	9:02	10:08	11:03	11:07	12:03	12:07	13:08	14:33	15:08	16:03	16:18	17:37	18:02	18:52	19:51
川之江営業所	6:10	7:00	7:30	8:10	9:05	9:35	10:05	10:35	11:35	12:35	13:35	14:05	14:45	15:45	16:35	17:25	18:25
坂 原	6:57	7:49	8:20	9:01	9:25	10:11	10:35	11:31	11:55	13:01	14:01	14:36	15:31	16:16	17:25	18:00	18:40
坂 原 西	7:03	7:55	8:26	9:07	9:31	10:17	10:41	11:37	12:01	13:07	14:07	14:42	15:37	16:22	17:31	18:06	18:46
坂 原 東	7:08	8:00	8:31	9:12	9:36	10:22	10:46	11:42	12:06	13:12	14:12	14:47	15:42	16:27	17:36	18:11	18:51
坂 原 西	7:09	8:01	8:32	9:13	9:37	10:23	10:47	11:43	12:07	13:13	14:13	14:48	15:43	16:28	17:37	18:12	18:52
新居浜駅	7:14	8:06	8:37	9:18	9:42	10:28	10:52	11:48	12:12	13:18	14:18	14:53	15:48	16:33	17:42	18:17	18:57
市役所前	7:18	8:10	8:41	9:22	9:46	10:32	10:56	11:52	12:16	13:22	14:22	14:57	15:52	16:37	17:46	18:21	19:01
元 塚	7:22	8:14	8:45	9:26	9:50	10:36	11:00	11:56	12:20	13:26	14:26	15:01	15:56	16:41	17:50	18:25	19:05
イオンモール新居浜	7:30	8:22	8:53	9:34	9:58	10:44	11:08	12:04	12:28	13:34	14:34	15:09	16:04	16:49	17:58	18:33	19:13
往 坂 原	7:33	8:26	8:57	9:38	10:02	10:48	11:12	12:08	12:32	13:38	14:38	15:13	16:08	16:53	18:02	18:37	19:17

②新居浜-今治線 (今治-小浜-西条-新居浜線)

往 坂 原	6:24	7:00	7:30	8:10	9:05	9:35	10:05	10:35	11:35	12:35	13:35	14:05	14:45	15:45	16:35	17:25	18:25
イオンモール新居浜	6:27	7:03	7:34	8:14	9:09	9:39	10:09	10:39	11:39	12:39	13:39	14:09	14:49	15:49	16:39	17:29	18:29
元 塚	6:35	7:11	7:42	8:22	9:17	9:47	10:17	10:47	11:47	12:47	13:47	14:17	14:57	15:57	16:47	17:37	18:37
元 塚 西	6:43	7:19	7:50	8:30	9:25	9:55	10:25	10:55	11:55	12:55	13:55	14:25	15:05	16:05	16:55	17:45	18:45
東 塚	6:48	7:24	7:55	8:35	9:30	10:00	10:30	11:00	12:00	13:00	14:00	14:30	15:10	16:10	17:00	17:50	18:50
東 塚 西	6:49	7:25	7:56	8:36	9:31	10:01	10:31	11:01	12:01	13:01	14:01	14:31	15:11	16:11	17:01	17:51	18:51
依 田	6:54	7:30	8:01	8:41	9:36	10:06	10:36	11:06	12:06	13:06	14:06	14:36	15:16	16:16	17:06	17:56	18:56
下 池	6:55	7:31	8:02	8:42	9:37	10:07	10:37	11:07	12:07	13:07	14:07	14:37	15:17	16:17	17:07	17:57	18:57
川之江営業所	7:49	8:57	9:02	10:08	11:03	11:07	12:03	12:07	13:08	14:33	15:08	16:03	16:18	17:37	18:02	18:52	19:51
川之江営業所	6:10	7:00	7:30	8:10	9:05	9:35	10:05	10:35	11:35	12:35	13:35	14:05	14:45	15:45	16:35	17:25	18:25
坂 原	6:57	7:49	8:20	9:01	9:25	10:11	10:35	11:31	11:55	13:01	14:01	14:36	15:31	16:16	17:25	18:00	18:40
坂 原 西	7:03	7:55	8:26	9:07	9:31	10:17	10:41	11:37	12:01	13:07	14:07	14:42	15:37	16:22	17:31	18:06	18:46
坂 原 東	7:08	8:00	8:31	9:12	9:36	10:22	10:46	11:42	12:06	13:12	14:12	14:47	15:42	16:27	17:36	18:11	18:51
坂 原 西	7:09	8:01	8:32	9:13	9:37	10:23	10:47	11:43	12:07	13:13	14:13	14:48	15:43	16:28	17:37	18:12	18:52
新居浜駅	7:14	8:06	8:37	9:18	9:42	10:28	10:52	11:48	12:12	13:18	14:18	14:53	15:48	16:33	17:42	18:17	18:57
市役所前	7:18	8:10	8:41	9:22	9:46	10:32	10:56	11:52	12:16	13:22	14:22	14:57	15:52	16:37	17:46	18:21	19:01
元 塚	7:22	8:14	8:45	9:26	9:50	10:36	11:00	11:56	12:20	13:26	14:26	15:01	15:56	16:41	17:50	18:25	19:05
イオンモール新居浜	7:30	8:22	8:53	9:34	9:58	10:44	11:08	12:04	12:28	13:34	14:34	15:09	16:04	16:49	17:58	18:33	19:13
往 坂 原	7:33	8:26	8:57	9:38	10:02	10:48	11:12	12:08	12:32	13:38	14:38	15:13	16:08	16:53	18:02	18:37	19:17

公共交通機関は整備が十分ではなく、クルマがないと動きにくい
高年齢者や観光客には不便
高年齢化の進行の中で、公共交通の整備・充実が求められている

⑥教育

119 高等学校の進路別卒業業者数 (平成27年5月1日 現在)

学校名	総数		大進学者		短期大学進学者		その他進学者		就職者		左記以外の者 不詳・死亡の者	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
東高校	119	180	54	61	1	33	35	62	23	15	6	9
西高校	120	157	95	134	1	3	18	18	4	-	3	2
南高校	43	72	8	7	2	9	10	27	23	28	2	1
工業高校	170	-	7	-	4	-	27	-	132	-	-	-
商業高校	46	88	2	4	-	8	6	28	31	48	7	-
計	498	497	186	206	7	53	96	135	213	91	16	12

資料：総合政策課

120 高等学校卒業業者の産業(大分類)別就職者数 (平成27年5月1日 現在)

産業別	総数		男		女	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外
農業、林業	-	-	-	-	-	-
漁業	-	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-	-
建設業	8	4	7	4	1	-
製造業	155	16	119	16	36	-
電気・ガス・熱供給・水道業	5	-	5	-	-	-
情報通信業	-	-	-	-	-	-
運輸業、郵便業	25	1	20	1	5	-
卸売業、小売業	19	5	7	3	12	2
金融業、保険業	1	-	-	-	1	-
不動産業、物品賃貸業	1	-	-	-	1	-
学術研究、専門・技術サービス業	10	1	9	1	1	-
宿泊業、飲食サービス業	4	-	2	-	2	-
生活関連サービス業、娯楽業	5	1	2	-	3	1
教育、学習支援業	-	-	-	-	-	-
医療業、福祉	27	-	8	-	19	-
複合サービス事業	2	-	-	-	2	-
サービス業(他に分類されないもの)	5	-	1	-	4	-
公務(他に分類されるものを除く)	2	5	1	5	1	-
上記以外のもの	2	-	2	-	-	-
計	271	33	183	30	88	3

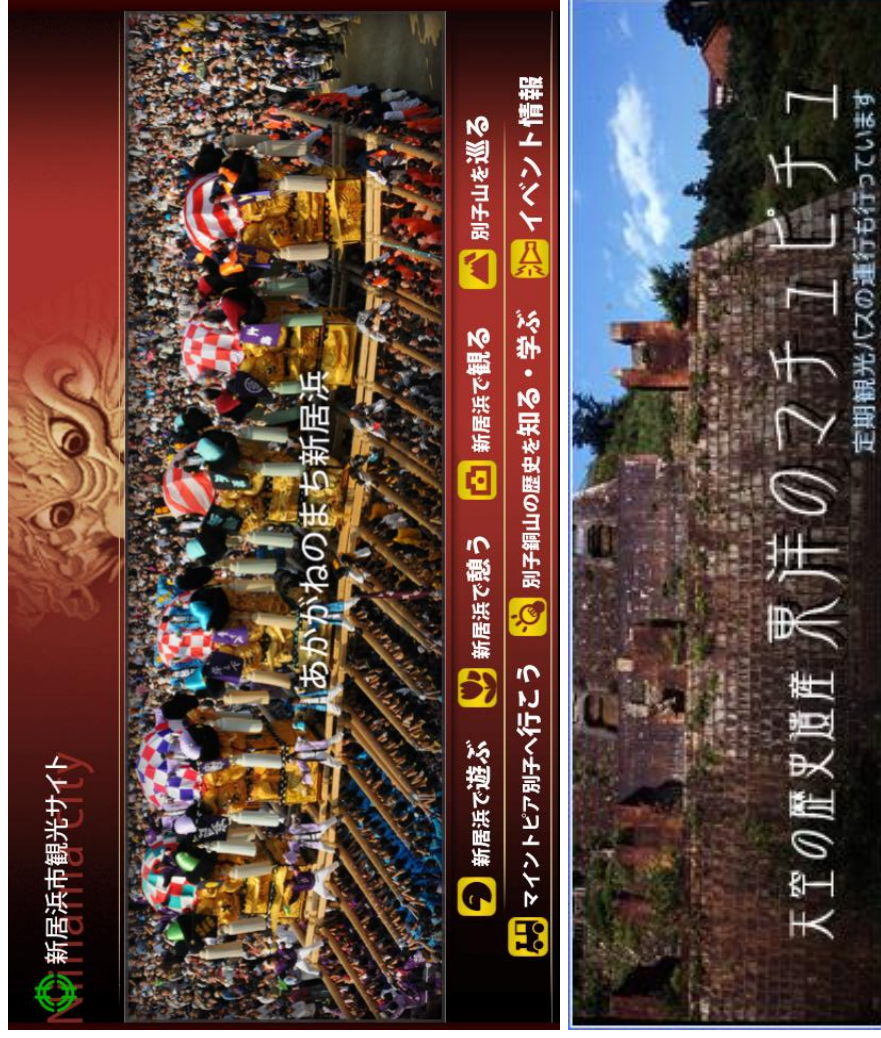
資料：総合政策課

高校卒業1,000人のうち700人弱が進学
 女子は8割が進学
 就職は300人強
 就職者の9割は県内、6割は製造業

2. 情報環境

(1) 新居浜市の情報資源（市の施策、イベント、施設等）

① 観光



The composite image is divided into three main sections. The top left section features a large, ornate festival float (float) with a golden dragon head and a crowd of people. The top right section shows a historical site with stone ruins and a blue sky. The bottom section is a dark red banner with white text and icons.

新居浜市観光サイト
あかがねのまち新居浜

新居浜で遊ぶ
新居浜で聴く
新居浜で観る
別子山を巡る

マイントピア別子へ行く
別子銅山の歴史を知る・学ぶ
イベント情報

新居浜秋祭り
10/16(金)-17(土)-18(日)
大生降地区 10/15(金)-16(土)-17(日)

NIHAMA TAIKO FESTIVAL

天空の歴史遺産 東洋のマチュピチュ
定期観光バスの運行も行っています

観光実績

2. 観光地区別観光客数

観光地区別	年別	県外		県外観光客発地別					県内		合計
		観光客計	近畿	中国	九州	その他			観光客計	(A)/(B)×100	
						四国	3県	(B)その他			
東予東部圏域	27年(A)	964	199	275	60	313	117	107	2,248	3,212	
	26年(B)	961	200	275	61	307	118	109	2,234	3,195	
(A)/(B)×100		100.3	99.5	100.0	98.4	102.0	99.2	98.2	100.6	100.5	
今治圏域	27年(A)	3,190	163	1,169	388	965	505	343	1,862	5,052	
	26年(B)	3,028	154	1,112	370	922	470	376	2,192	5,220	
(A)/(B)×100		105.4	105.8	105.1	104.9	104.7	107.4	91.2	84.9	96.8	
松山圏域	27年(A)	5,763	1,756	1,180	302	588	1,937	1,174	5,269	11,032	
	26年(B)	5,655	1,740	1,141	303	582	1,889	1,153	5,156	10,811	
(A)/(B)×100		101.9	100.9	103.4	99.7	101.0	102.5	101.8	102.2	102.0	
八幡浜・大洲圏域	27年(A)	599	113	98	50	230	108	56	4,143	4,742	
	26年(B)	526	95	72	49	196	114	51	3,918	4,444	
(A)/(B)×100		113.9	118.9	136.1	102.0	117.3	94.7	109.8	105.7	106.7	
宇和島圏域	27年(A)	807	165	57	174	245	166	86	2,240	3,047	
	26年(B)	721	145	51	154	229	142	75	2,077	2,798	
(A)/(B)×100		111.9	113.8	111.8	113.0	107.0	116.9	114.7	107.8	108.9	
合計	27年(A)	11,323	2,396	2,779	974	2,341	2,833	1,766	15,762	27,085	
	26年(B)	10,891	2,334	2,651	937	2,236	2,733	1,764	15,577	26,468	
(A)/(B)×100		104.0	102.7	104.8	103.9	104.7	103.7	100.1	101.2	102.3	

5. 主要観光施設利用者数

主要観光施設名	所在地	平成27年(A)	平成26年(A)	(A)/(B)×100	備考
		(単位:人・%)			
東予東部圏域					
紙のまち資料館	四国中央市	12,221	12,176	100.4	
翠波の高原	四国中央市	180,396	168,682	106.9	
やまじ風公園	四国中央市	21,050	23,350	90.1	
川之江公園	四国中央市	41,002	43,244	94.8	
別子銅山記念館	新居浜市	6,460	5,208	124.0	
マイントピア別子	新居浜市	115,500	141,600	81.6	
広瀬歴史記念館	新居浜市	407,417	490,522	83.1	端出場ゾーン・東平ゾーン
愛媛県総合科学博物館	新居浜市	8,334	7,651	108.9	
マリンスパーク新居浜	新居浜市	247,344	240,099	103.0	
アサヒパール四国工場	新居浜市	15,417	16,378	94.1	
石鏡登山ロープウェイ	西条市	124,981	115,210	108.5	
石鏡山ハイウェイオアシス	西条市	88,357	72,434	122.0	
石鏡成就スキー場	西条市	66,810	59,328	112.6	
本谷温泉	西条市	254,562	259,794	98.0	
休暇村瀬戸内東予	西条市	10,162	12,747	79.7	
		54,116	53,006	102.1	
		114,715	109,629	104.6	

愛媛県平成27年観光客数とその消費額

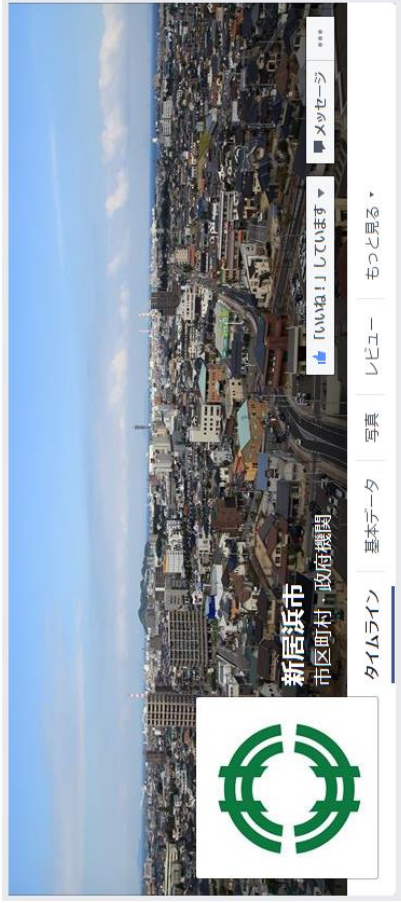
東予東部圏域の観光客は合計数で松山圏域の1/3、今治圏域の3/5にとどまり、また停滞傾向を示す。また、両地域が県外観光客が半分を占めるのに対し、県内観光客が中心を占める。

(2) 新居浜市の情報発信状況

新居浜市ホームページ

新居浜市市民便利帳

新居浜公式アプリ



新居浜市フェイスブック



新居浜市市政だより「にいはま」

市の発信物はデザイン的にも配慮し、アプリ/Facebook等SNSを活用した情報発信も行っているが、やや静的でおとなしい印象のものが多い

3. 市民意識

(1) 市民から見た新居浜

※別紙市民アンケート調査報告書参照（P 38～P 71）

新居浜市シティブランド戦略
市民アンケート調査報告書

(2) 市外から見た新居浜

	魅力度		認知度		情報接触度		観光意欲度		居住意欲度		産品購入意欲度		食品想起率		食品以外想起率						
	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位	全国 順位	県内 順位					
松山市	13.9	123	1	35.3	141	2	24.4	144	1	5.6	100	1	25.9	131	3	7.7	118	3	1.7	98	3
今治市	13.0	136	2	34.8	150	2	24.0	154	2	4.5	176	2	35.6	24	1	4.1	237	5	21.7	1	1
宇和島市	7.7	281	3	25.0	319	4	13.9	358	3	2.9	437	3	19.5	247	3	8.5	106	2	1.6	105	4
伊予市	6.6	330	4	25.3	313	3	12.3	412	4	4.1	211	4	27.3	107	2	9.9	90	1	0.3	498	7
西条市	5.1	418	5	17.0	545	6	12.7	596	7	4.0	223	5	17.4	794	12	2.4	376	6	0.2	611	9
八幡浜市	4.8	437	6	16.1	569	7	10.7	477	7	4.1	211	3	24.6	176	5	5.4	176	4	0.1	713	11
内子町	4.0	501	7	7.7	884	11	11.4	741	11	2.5	603	8	18.4	664	11	1.2	640	12	0.7	248	5
新居浜市	3.5	558	8	18.8	487	5	9.7	530	8	2.1	791	12	19.9	460	9	2.2	509	10	0.2	611	9
西予市	2.8	676	9	10.5	776	9	5.1	826	10	3.1	371	6	21.7	326	6	2.4	376	6	0.1	713	11
砥部町	2.8	676	9	8.5	856	10	5.7	766	9	2.3	698	10	20.6	398	7	0.3	922	15	3.3	46	2
大洲市	2.5	728	11	7.5	892	13	4.0	896	12	1.7	917	14	17.3	805	14	1.2	640	12	0.1	713	11
東温市	2.0	828	12	7.6	888	12	3.5	934	14	2.5	603	8	20.3	431	8	1.4	575	11	0.0	822	14
伊方町	1.9	855	13	13.7	640	8	12.3	412	4	1.8	898	13	17.4	794	12	1.9	461	8	0.3	498	7
四国中央市	1.3	962	14	7.3	902	14	3.9	902	13	1.7	917	14	17.1	828	15	1.9	461	8	0.6	294	6
愛南町	1.1	983	15	5.2	976	15	11.6	714	10	2.2	743	11	19.4	523	10	0.5	860	14	0.0	822	14

全国順位は日本の1,000市町村の中での順位
 県内順位は愛媛県の15市町の中での順位
 ※魅力度で並び替え

地域ブランド調査2016(平成28年6-7月)|株式会社ブランド総合研究所

認知度、情報接触度は県内5位前後にあるが、
 その他の項目に関しては、相対的に県内順位が落ちる傾向にある
 新居浜市は観光・産品資源の認知が低いため、認知度や情報接触
 度に比べ、若干その他の順位が低い
 存在感はあるが、魅力的にはなきていない状態といえる

4. 今後5年間の主要な環境変化/上位計画

(1) ブランド戦略を考える上で前提となる上位計画について

・第五次新居浜市長期総合計画（H23年度～H32年度）

市の最上位計画として、10年間のまちづくりの基本的な考え方を示すもの。平成28年度に中間見直しを実施。
将来都市像（目指す姿）：あかがねのまち、笑顔輝く産業・環境共生都市
まちづくりの理念：①市民が安全・安心を実感できるまちづくり

- ②市民、団体、事業者と行政が一体となったまちづくり
- ③市民が郷土に誇りと愛着を持てるまちづくり
- ④子どもたちの未来に責任が持てるまちづくり

まちづくりの目標：1 快適交流一人が集い、快適で利便性の高い都市の実現
2 環境調和―地域にやさしい、地球にやさしい暮らしの実現
3 経済活力―持続的発展が可能な、活力ある産業活動の実現
4 健康福祉―誰もが健康で、生きがいと安心感のある暮らしの実現
5 教育文化―市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現
6 自立協働―多様な地域主体が自立・連携する協働型社会の実現

・新居浜市人口ビジョン、新居浜市総合戦略（H27年度～H31年度）

人口ビジョンにおいて、合計特殊出生率2.3（H72年）、社会増減の均衡（H42年）により、平成72年の目標人口を9万人に設定。

総合戦略は、「住みたい、住み続けたい あかがねのまち」を目指し、人口減少の抑制と地方創生に取り組むため、4つの基本目標と具体的な施策を定めている。

基本目標：1 新たな雇用を創り出し、地元産業を振興します

- 2 居住地・観光地としての魅力を高め、定住人口・交流人口を拡大します
- 3 浜っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに、健康長寿社会を実現します
- 4 市域を超えた連携を進め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

重点施策：ものづくり産業の振興と住友各社との連携強化

全国初の企業城下町版C R Cの導入

別子銅山近代化産業遺産を活用した観光の振興

子育て支援の充実と健康寿命の延伸

(2) 今後5年間程度で具体化する重点的な施策/事業について

- ・**新居浜市企業城下町版生涯活躍のまち（RCC新居浜）（H31年度導入予定）**
本市にゆかりのある住友グループ企業OB等のアクティブシニアを主な対象とするC R C Cを導入する。
- ・**立地適正化計画（H30年度策定）**
住宅及び福祉・医療・商業等や居住に関する施設の立地の適正化に関する個別の施策を定め、市の目指すコンパクトなまちづくりを推進する。
- ・**公共施設再配置計画（H29年度策定）**
市の公共施設（約180施設）の老朽化等による更新を勘案し、将来の市の規模に見合った適正で必要な施設を見極めるとともに、効率的な利用ができるよう、今後の公共施設のあり方を取りまとめる。
- ・**新居浜市総合防災拠点施設整備事業（H31年度竣工）**
消防本部や災害対策本部、市防災安全課、非常用発電設備などを集約した免震構造の新施設を建設する。
- ・**新居浜市市制施行80周年記念事業（H29年度実施）**
「つむぐ つなぐ 未来へ 人へ」をテーマに、職員・市民公募の中から選定した記念事業を実施する。
- ・**愛顔つなぐえひめ国体（H29年度実施）**
新居浜市において、ウエイトリフティング、セーリング、サッカー、軟式野球を実施する。
- ・**新居浜市観光振興計画（H29年度策定）**
近代化産業遺産等の地域資源を活かして、観光の振興を図る観光振興計画を策定する。

(3) 行政の施策以外で今後5年間程度で実現する事象について

- ・**J R 新居浜駅前東横イン建設（H29年）**
14階建246室のホテル。
- ・**住友化学愛媛工場飼料添加物メチオニン製造設備増設（H30年）**
国内最大級の500億円を投資。
- ・**住友グループ日喜別邸移築（H30年）**
明治39年建築の建物を記念館として活用。

(4) 産業振興に関連する施策等について

- ・ものづくりブランド創出・支援事業
すぐれた製品や技術をブランド認定し、ものづくり産業の販路開拓・受注拡大を図る。
- ・製造業イメージアップ事業
労働力確保のため、新居浜版「ゲンバ男子」等で製造現場のイメージアップを図る。
- ・中小・中堅企業経営力改善事業
ものづくり企業の経営基盤の強化を目指したカイズン活動を支援する。
- ・技術シーズ展示会開催事業
中小企業が持つ技術を大都市圏の大手企業に紹介するためのシーズ展示会事業を開催。
- ・合同企業説明会開催事業
市内企業と卒業予定の大学生等とのマッチングを行う。
- ・女性活躍環境整備推進事業補助金
女性用トイレや更衣室を設置・整備した中小企業に対し、年間最大100万円を補助。
- ・中小企業インターンシップ支援事業補助金
インターンシップ事業で学生が負担する交通費・宿泊費の一部を助成する中小企業に対する補助。
- ・中小ものづくり企業品質管理助成業補助金
中小企業の製品の高い品質を維持するための取組について、経費の一部を補助。
- ・中小企業住宅環境支援補助金
中小企業が市外からの転入者に対し支給する住宅手当について、その一部を補助。
- ・創業支援セミナーの開催
創業支援のセミナーを開催し、創業件数を増加させることで、地域産業の活性化を図る。
- ・新居浜市創業融資金利子補助金
創業に関して市内金融機関から融資を受けた中小企業の借入金の利子を補助。
- ・新居浜市創業支援補助金
創業当初の諸費用を補助。（限度額一般30万円、女性50万、転入100万円）
- ・水素社会推進事業
水素社会推進協議会を開催し、地域ものづくり企業の競争力強化、水素・燃料電池をはじめとするエネルギー関連産業の創出・振興を推進する。

II 人口動向

1. 総人口

新居浜市の人口は2015年国勢調査で119,903人（確定値）平成22(2010)から-1.5%、減少傾向だがそのマイナスは小さいまずは、この要因の背景を探り、その背景に今後も強化すべき点や改善すべき課題が見えてくると想定
3つの視点で人口動向を分析

平成27年国勢調査結果

平成27年総人口	平成22年総人口	増減数	増減率 (%)
119,905人	121,735人	△1,830人	△1.5

6 年齢(5歳階級)・男女別人口の推移(各年10月1日現在)

年齢 (5歳階級)	平成12年		17年		22年	
	総数	男	女	総数	男	女
総数	125,537	60,034	65,503	123,952	59,190	64,762
幼年人口	18,197	9,233	8,964	17,132	8,744	8,388
0~4歳	5,903	2,958	2,945	5,524	2,854	2,670
5~9	5,846	3,025	2,821	5,887	2,932	2,955
10~14	6,448	3,250	3,198	5,721	2,958	2,763
生涯年齢人口	80,105	39,651	40,454	76,329	38,033	38,296
15~19歳	6,399	3,351	3,048	5,611	2,971	2,640
20~24	5,749	2,920	2,829	4,849	2,385	2,464
25~29	8,569	4,342	4,227	6,944	3,592	3,352
30~34	7,354	3,739	3,615	8,617	4,334	4,283
35~39	7,394	3,747	3,647	7,298	3,707	3,591
40~44	7,367	3,600	3,767	7,274	3,704	3,570
45~49	8,753	4,247	4,506	7,157	3,500	3,657
50~54	11,330	5,562	5,768	8,547	4,107	4,440
55~59	9,027	4,382	4,645	11,120	5,417	5,703
60~64	8,163	3,761	4,402	8,912	4,316	4,596
老年人口	27,205	11,135	16,070	30,160	12,218	17,942
65~69歳	8,242	3,669	4,543	7,825	3,528	4,297
70~74	7,229	3,179	4,050	7,675	3,946	4,329
75~79	5,456	2,117	3,339	6,433	2,692	3,741
80~84	3,461	1,261	2,200	4,441	1,538	2,903
85~89	1,938	657	1,281	2,420	759	1,661
90~94	722	200	522	1,061	303	758
95~99	147	21	126	270	50	220
100歳以上	10	1	9	35	2	33
年齢不詳	30	15	15	331	195	136
				812	531	281

資料：国勢調査

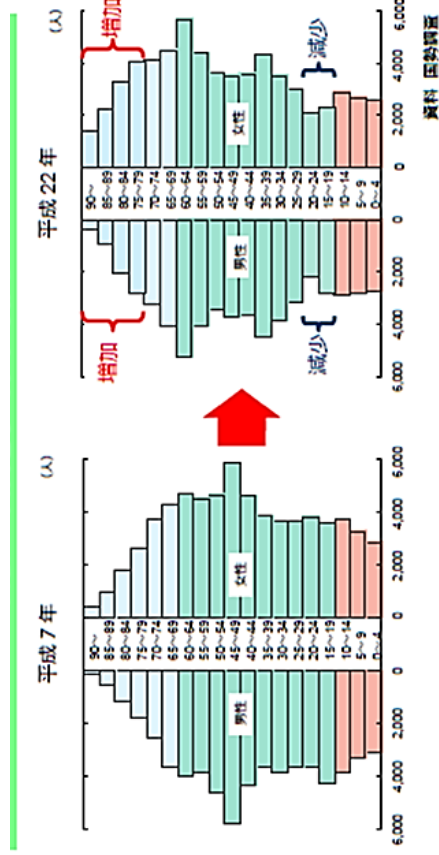
(1) 視点1 人口ピラミッド

凹んだ15～24歳がそのまま上に移行するのであれば問題だが
この凹みは人口大転出期のずれによるもの
これ自体を問題にするのは当たらないのかもしれない

右の愛媛県全体の人口ピラミッドと比較すると15～24歳の凹みは
県全体よりも大きいもの、新居浜市は25～59歳の現役世代の
カタマリが大きいという傾向を示している

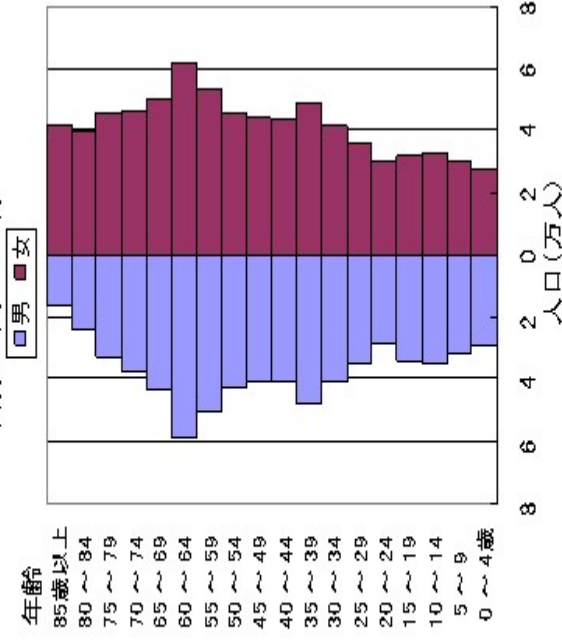
新居浜市人口ピラミッドの推移

平成7年と平成22年の人口ピラミッドの推移をみると、男女ともに「15～24歳」の層が著しく減少している一方、75歳以上の後期高齢者は増加している



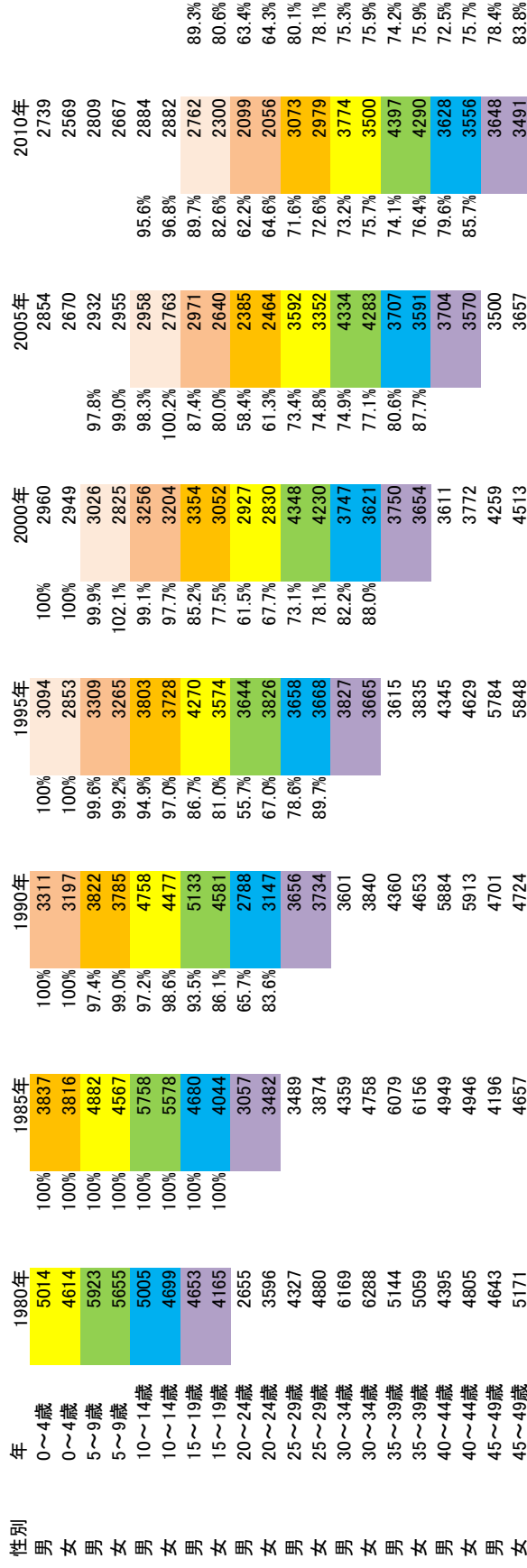
愛媛県人口ピラミッド

平成22年(2010年)



(2) 視点2 年齢階層推移

新居浜市年齢階層別人口の推移



新居浜の年齢階層別人口の変化をみてみる

0～4歳人口は10～14歳まで大きな変動はない、15～19歳以降は減少が始まり男性は90%弱、女性は80%程度に落ち込む、20～24歳には男女とも60%台に低下し、1995年以降はほぼ同様の変化を示す
 25歳～29歳に再び人口は増大し70%台に回復、以降は大幅な変動は見られない
 このような人口動態が新居浜の人口ピラミッドの若年層の極端な凹みに現れている
 2010年25～29歳を迎えた層は、0～4歳時人口との比較では男性80.1%女性78.1%と過去をやや上回る傾向を示すが、人口数では3,000人強と過去を大きく下回る

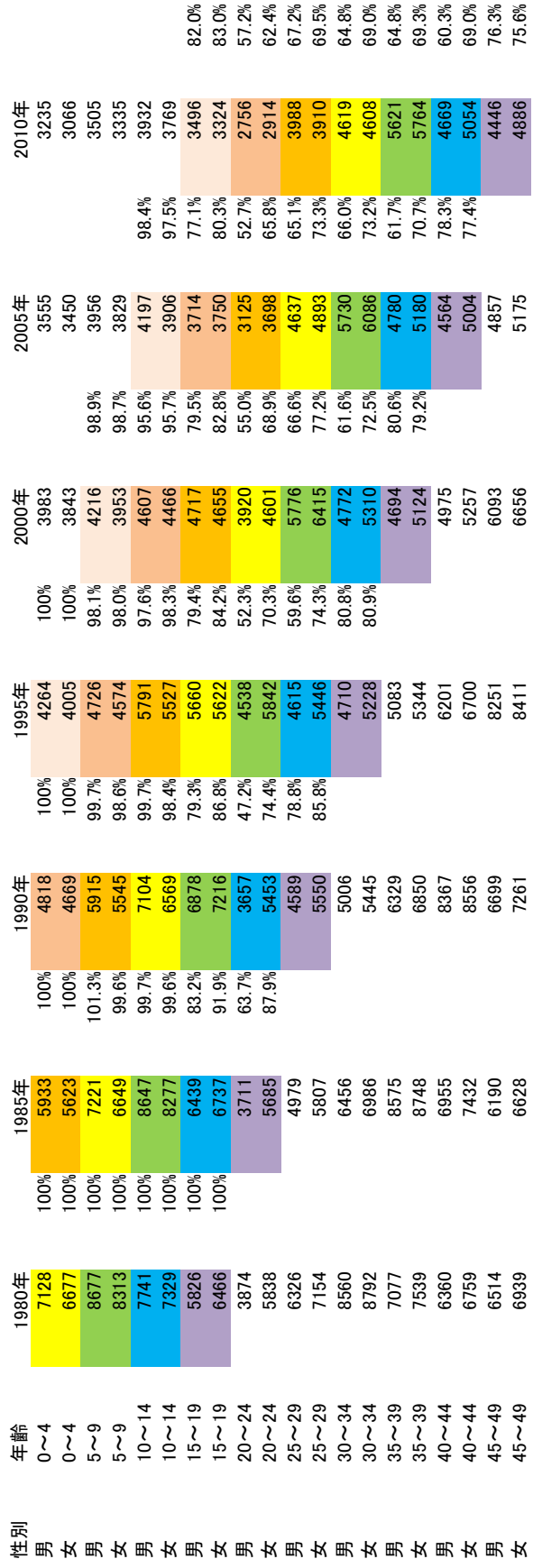
今治/坂出の比較

四国の産業都市である今治/坂出と比較してみた

2都市も15～19歳で減少が始まり20～24歳が底となり、25歳から上昇が始まるという傾向はほぼ同様であり、これは地方の独立性が高い産業都市に見られる傾向と言える

この傾向は3都市で比較して大きくは変わらなかったが、2010年の25～29歳の増大が新居浜に比べ2都市は弱まっている
 25歳以上の吸引力が人口に与えるインパクトは大きいようである
 産業都市の人口問題は、このポイントにかかっていると考えられる

今治市年齢階層別人口の推移

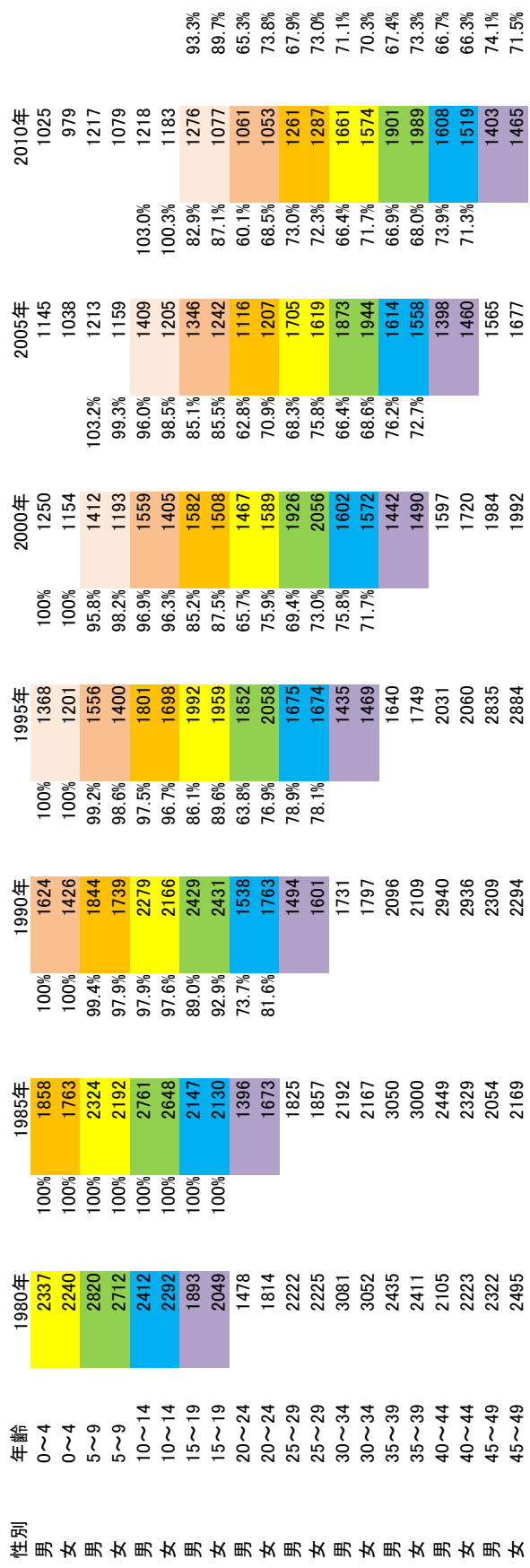


※%表示は対象世代の0~4歳人口を100とした増減を示す

平成27年国勢調査結果

平成27年総人口	平成22年総人口	増減数	増減率(%)
158,185人	166,532人	△8,347人	△5.0

坂出市年齢階層別人口の推移



平成27年国勢調査結果

平成27年総人口	平成22年総人口	増減数	増減率(%)
53,197人	55,621人	△2,424人	△4.4

25～29歳人口の推移

(人)

性別	年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
新居浜	25～29歳	4,327	3,489	3,656	3,658	4,348	3,592	3,073
	25～29歳	4,880	3,874	3,734	3,668	4,230	3,352	2,979
今治	25～29歳	6,326	4,979	4,589	4,615	5,776	4,637	3,988
	25～29歳	7,154	5,807	5,550	5,446	6,415	4,893	3,910
坂出	25～29歳	2,222	1,825	1,494	1,675	1,926	1,705	1,261
	25～29歳	2,225	1,857	1,601	1,674	2,056	1,619	1,287

※%表示は1980年値を100とした増減を示す

総人口に影響の大きい25～29歳人口の変化に焦点を合わせてみる

人口が大きかった1980年を100として新居浜は低下傾向を示したが、2000年には100%水準を越え、以降は再び低下に転じ

2010年はこれまでになく低い水準となっている

今治、坂出は1985年は新居浜を含めほぼ同水準だったが、以降は新居浜を下回る低迷を続けて、2000年は2都市も回復したが新居浜の水準には達しておらず、2005・2010年にはさらに低迷し、1980年の6割程度にまで減少している

25～29歳人口が復活した2000年は有効求人倍率は1.0を大きく下回ったが、これは求職者数が供給を大きく上回った結果である

有効求人倍率の推移

新居浜市25～29歳人口

年	愛媛県	松山	新居浜	男性(人)	対5年前比	女性(人)	対5年前比
1998	0.73		0.82				
1999	0.64		0.64				
2000	0.66		0.77				
2001	0.63		0.78	4,348	100.50%	4,230	86.70%
2002	0.65		0.71				
2003	0.75	0.59	0.78				
2004	0.83	0.63	1.09				
2005	0.89	0.71	1.33				
2006	0.87	0.77	1.43	3,592	83.00%	3,352	68.70%
2007	0.85	0.74	1.41				
2008	0.55	0.68	1.32				
2009	0.61	0.51	0.66				
2010	0.75	0.62	0.66				
2011	0.80	0.69	0.95	3,073	71.00%	2,979	61.00%
2012	0.96	0.78	0.97				
2013	1.10	0.97	1.10				

※松山の値は原数値、年度別のもの

(3) 視点3 転出入

(人)

	総数										男										女															
	0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		不詳/その他		総数		0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		不詳/その他			
	総数	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	
転入	2,882	303	1,063	664	312	189	186	0	1,556	145	86	577	343	207	123	75	0	1,326	158	79	486	321	105	66	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転出	3,270	389	1,106	712	374	200	228	1	1,747	193	119	599	376	230	133	96	1	1,523	196	141	507	336	144	67	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
差	388	86	95	57	48	62	11	42	191	48	33	22	33	23	10	21	197	38	62	21	15	39	3	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

住民基本台帳人口移動報告 参考表(年齢(10歳階級)、男女、転入・転出市区町村別結果)総務省

- ・10代は土幅は小さいが転出過剰、20代は土はほぼ同数だが30代40代で転出超過となる
新居浜の強さは毎年転入する20代30代の労働力
- ・15歳以降から始まる大転出、20歳以降の大転入、この時差がピラミッドの凹みに現れる
新居浜の高校卒業生が約1000人、その多くは市外に転出していると考えられる
- ・30代40代の転出過剰と0～9歳及び10～19歳の転出過剰は連携していると考えられ、
家族での転出が、新居浜人口の減少に影響を与えているものと思われる

2. 3つの視点から見えること

2015年国勢調査では119,903人と減少数は予測値を下回った
周辺の他自治体に比べても減少幅は小幅であった

その原因として1番にあげられるのは安定した就職環境にあると考えられる
中核にある住友系企業製造業と、その周辺企業さらにその周辺のサービス業が安定していたことが20歳以上の
転入を促進した

極端に言えば

人口ピラミッドの若年層の凹みも

0～4歳人口、出生数の減少も

総人口に与える影響は大きくないようにも思われる

こうして見ると

人口の転出・転入構造は、都市が置かれた環境によって大きく違うことがわかる
次頁以降でそれをまとめる

人口変化のメカニズム



10代後半から20代にかけて 若者は市外に転出

上に示したのは人口の増大メカニズムを概念化したもの

出生した子どもたちは大きな変化なく14歳を迎え、変化が出るのは15歳以降29歳までであり、大きな移動期に入る進学/就職/結婚などの人生の転機を迎える中で居住地を変えていく

大都市の場合、進学/就職/結婚などの転機も同一大都市圏内移動となるケースが多い
その場合出生数、0～4歳人口の増大が直接人口の増大に結びつきやすい

一方で、衰退する都市では生まれた子どもたちは15歳以降転出し、転入も見込めないということで人口の減少が進む

本市は新居浜で生まれた子どもたちの多くが他市に移動していくが、それとほぼ同数の25歳以上の転入者がまちの人口を支えている

このような構造は「地方産業都市モデル」ともいえるものと思われる

ただし、多くの産業都市では25歳以上の転入＝吸引力が低下して人口減少に拍車がかかっている

「地方産業都市」として人口を維持できる都市は、必ずしも多くないという状況にある

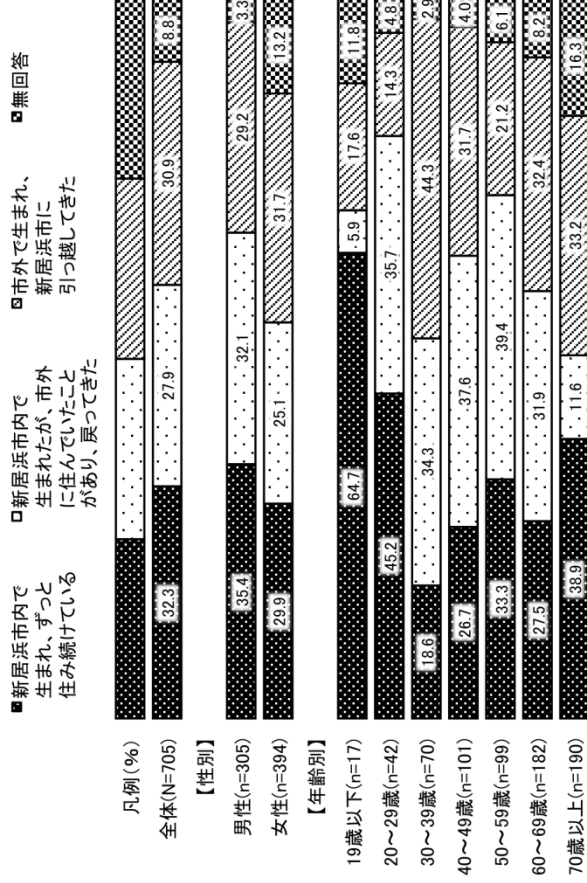
都市タイプ別人口動態とその対応

	特性
大都市モデル	<p>都市の魅力を備える（商業/文化/出会い） 東京でいえば大東京市民、帰属は東京にあり、故郷感が薄い定住志向も薄い、大東京で生まれ、育ち、学び、職を探し、結婚し、子どもを授かる 転勤などの不可抗力がなければ移動はしない 東京、大阪、名古屋、福岡、札幌などが仙台、広島などが大都市型モデル 高松、松山もそれに近い形で人口を増大している 15～24歳の転出が少なく、まちが魅力的であれば近隣から20歳以上の転入を呼びこむ 出生数の増大が人口増の土台になり、それに転入者が上乘せられる</p>
地方産業都市モデル	<p>就職口の数と魅力がまちを成長させる、産業の衰退が人口減に直結する 住民の子どもたちは多くが転出するので出生数は単純に人口増に結びつきにくい、これは大都市モデルとの違い かつては全国に点在していたが、多くはアジアへの生産拠点移転によって打撃を受けている 結果的に25歳以上での人口転入、吸引力が低下し、産業の弱体化＝都市の衰退に直結している 就職口があることは基盤だが、同時にそこで働くこと、生活すること、子どもを産み育てることが魅力的であることが重要 さらに男性だけでなく、女性にとっても魅力的であることも重要 出生数、0～4歳人口は将来的な総人口への影響は少ないとしても、そこに暮らす人々の幸せな生活の結果として重要なポイントであることは変わらない</p>
一次産業都市モデル	<p>後継者問題から衰退/TPPによる影響も強まる すでに多くは出生数自体が減少しているが、多くの出生者は転出する、これは地方産業都市モデルと同様、個人経営主体の産業で後継者吸引育成が困難 産品のブランド化や観光資源の活用に活路を求めめるケースが多く見られる 「地方産業都市モデル」のまちも、産業が衰退すれば一次産業都市モデルと同様の特性になつていく</p>

本市が「地方産業都市モデル」に基づくブランド戦略を構築する際には、この特性を前提とすることがポイントとなる
 1次産業都市モデルだけでなく、地方産業都市モデルも崩壊の危機に直面している
 地方産業都市モデルだからこそ、可能な独自の魅力づくりが求められる

3. 人口動態と市民アンケートの統合分析

(参考) 市民アンケートの転入者構成を人口動態と合わせて見てみる



(1) 居住歴パターンはほぼ1/3ずつ

「出身者」(新居浜市内で生まれ、ずっと住み続けている)、「Uターン」(新居浜市内で生まれたが、市外に住んでいたことがあり、戻ってきた)、「転入者」(市外で生まれ、新居浜市に引っ越してきた)の比率はおおよそ1/3ずつである

男性の30代では転入者が50%を占めるが40代(25.5%)50代(12.5%)と転入者比率が低下する。この傾向は男性だけに顕著に見られる

※30代男性は新居浜の人口構成では大きな構成比を持つが、今回のアンケートでは回答数が少なく、あくまでも傾向値として見るべきである

問24. 生まれ育った場所

区分	サンプル数 (上段%、下段サンプル数)	新居浜市内で生まれ、ずっと住み続けている	市外に住んでいたことがあり戻ってきた	市外で生まれ、新居浜市に引っ越してきた	無回答
男性29歳以下	100.0	57.1	21.4	14.3	7.1
男性30歳代	28	16	6	4	2
男性30歳代	100.0	23.3	26.7	50.0	0.0
男性30歳代	30	7	8	15	0
男性40歳代	100.0	30.9	41.8	25.5	1.8
男性40歳代	55	17	23	14	1
男性50歳代	100.0	39.6	45.8	12.5	2.1
男性50歳代	48	19	22	6	1
男性60歳代	100.0	30.6	37.5	27.8	4.2
男性60歳代	72	22	27	20	3
男性70歳以上	100.0	37.5	16.7	41.7	4.2
男性70歳以上	72	27	12	30	3
女性29歳以下	100.0	43.3	33.3	16.7	6.7
女性29歳以下	30	13	10	5	2
女性30歳代	100.0	15.0	40.0	40.0	5.0
女性30歳代	40	6	16	16	2
女性40歳代	100.0	21.7	32.6	39.1	6.5
女性40歳代	46	10	15	18	3
女性50歳代	100.0	27.5	33.3	29.4	9.8
女性50歳代	51	14	17	15	5
女性60歳代	100.0	25.5	28.2	35.5	10.9
女性60歳代	110	28	31	39	12
女性70歳以上	100.0	40.2	8.5	27.4	23.9
女性70歳以上	117	47	10	32	28

市民アンケート調査

(2) 転出入と合わせて見てみる

転出入状況の20代・30代の転入者が市民アンケートの30代に影響を与えていると考えたと、男性の20代・30代の転入者はその多くを他市出身者が占め、女性転入者はUターンと他市出身者が拮抗していることが推察される

男性20代転入者577人は、新居浜への愛着が高まらないまま30代・40代で転出する転出しては同数は転入しているが、確実に新居浜の人口減少に結びついている
また、この転出の多くは家族での転出が占めるものと思われる
新居浜の転出入差のほぼ5割は0～9歳と10～19歳が占めており、ここには高校卒業後転出者も含まれるが、その段階では住民票の移動をしないケースも多く含まれているものとみられ、転出入差（388人）の半数程度は親の転居に伴う子どももの転出であることが推測される

この中には転勤のケースも多く含まれていると考えられるが、転勤の場合、転出に見合う転入も確保されるはずで転出過剰とはならない

以上のことから、新居浜の人口減少に市外からの転入者の動向が大きく影響を与えていることがわかる

転出に注目して他の産業都市の転出入を見ると日立/延岡など人口減少の進む地区では30代40代の転出過剰、0～9歳の転出過剰などの傾向が見られる

新居浜市の転出入状況2015

(人)

	総数																										
	男						女																				
	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他										
転入	2,882	303	165	1,063	664	312	189	186	0	1,556	145	86	577	343	207	123	75	0	1,326	158	79	486	321	105	66	111	0
転出	3,270	389	260	1,106	712	374	200	228	1	1,747	193	119	599	376	230	133	96	1	1,523	196	141	507	336	144	67	132	0
差	388	86	95	57	48	62	11	42		191	48	33	22	33	23	10	21		197	38	62	21	15	39	3	21	

産業都市の転出入状況

山口県防府市 (人)

	総数										男					女											
	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他
		転入	4,513	381	843	1,804	670	380			219	214	2,674	189	553	1,096	360			229	147	98	2,839	192	290	708	
転出	4,706	383	845	1,994	673	392	211	207	12,859	201	550	1,225	393	259	142	89	0	1,847	182	295	769	280	133	69	118	1	

静岡県磐田市 (人)

	総数										男					女											
	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他
		転入	4,411	524	205	1,777	1,046	419			166	274	2,525	270	115	1,069	577			265	105	124	0 <td>1,886</td> <td>254</td> <td>90</td> <td>708</td> <td>469</td> <td>154</td> <td>61</td> <td>150</td> <td>0</td>	1,886	254	90	
転出	4,473	391	283	1,789	1,064	435	189	321	12,561	206	174	1,021	618	282	113	147	0	1,912	185	109	768	446	153	76	174	1	

宮崎県延岡市 (人)

	総数										男					女											
	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他
		転入	3,120	391	326	1,011	619	313			253	206	1,738	204	178	553	337			191	179	96	0	1,382	187	148	
転出	3,938	442	626	1,243	721	366	243	297	2,131	239	374	631	386	210	164	127	0	1,807	203	252	612	335	156	79	170	0	

茨城県日立市

(人)

	総数										男										女												
	0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		不詳/その他		0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		不詳/その他		
	総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数				
転入	3,708	328	291	1,575	776	345	192	201	339	249	192	201	339	249	192	201	166	200	977	424	234	123	95	0	1,489	162	91	598	352	111	69	106	0
転出	5,212	455	399	2,200	1,117	453	249	339	249	249	242	237	1,296	618	290	149	147	0	2,233	213	162	904	499	163	100	192	0	0	0	0	0	0	

北海道苫小牧市

(人)

	総数										男										女											
	0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		不詳/その他		0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		不詳/その他	
	総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数		総数			
転入	6,106	649	414	1,978	1,305	789	442	522	448	446	336	236	1,144	743	503	296	236	6	2,606	313	178	834	562	286	146	286	1	1	1	1	1	
転出	6,079	658	555	1,967	1,222	778	446	448	448	322	334	1,069	686	508	317	203	203	2	2,638	336	221	898	536	270	129	245	3	3	3	3	3	

(参考資料)産業都市

新居浜がそうだったように高度成長期の60年代から80年代に急成長を遂げた産業都市が日本には多くある。それらの都市の内、あるまちは衰退し、あるまちは活力を維持している。これからの新居浜を考える上で、それらの都市がこれからの少子高齢化社会をどのように生き延びようとしているかを検証することに意義があると考えられる。

次の5都市の状況について整理する

- (1) 山口県防府市
- (2) 静岡県磐田市
- (3) 宮崎県延岡市
- (4) 茨城県日立市
- (5) 北海道苫小牧市

(1) 防府市

① 概要



防府市は、山口県のほぼ中央部に位置し瀬戸内海に面しており、古くから周防の国の国府として栄え、また、交通の要衝として発展した歴史のあ
るまちです。

昭和11年8月、山口県で6番目の市として発足し、その後、近隣5村と
合併し、現在では人口約12万人で、面積は188.59平方キロメートルで
す。

市内北部は、日本三天神の一つ防府天満宮の門前町として商業が発
展。南部は、毛利藩時代からの三白政策の一つ、製塩業が盛んでしたが、
昭和35年の製塩業の廃止を契機に塩田跡地に企業誘致を進め、今で
は、大規模自動車組立工場を頂点とする輸送用機械器具製造業が集
積するなど、県内有数の製造品出荷額を誇る産業都市として発展を遂げ
ています。

21世紀を迎え、次代を担う方々に責任を持てる、元氣溢れるまちづくり
を実現するために、中心市街地の活性化や生活環境の整備、産業・観
光の振興などに全力で取り組んでいます。

防府市ホームページ



防府市(昭和30年代)
(カッコ内は合併した年)



防府市ホームページ

81 工業の推移 (従業者4人以上の事業所)

年次	事業所数	従業者数	現金給与総額	原料使用額等	製造品出荷額等	租付加価値額	
						指数	値額
昭和35年	175	6 411	158 371	1 222 901	1 937 588	15	636 317
40	255	8 473	324 324	2 264 998	3 368 158	25	1 069 065
45	266	10 019	712 910	3 398 064	6 358 208	48	2 913 880
50	259	10 220	1 770 668	7 195 088	13 227 963	100	5 969 029
55	247	9 013	2 283 355	12 078 076	19 187 849	145	7 000 914
60	249	12 506	4 288 490	52 644 283	74 557 883	563	21 562 278
61	234	12 531	4 330 001	47 651 660	70 157 788	530	22 235 643
62	218	12 415	4 697 393	48 866 044	76 100 708	575	26 753 377
63	216	12 710	4 982 646	66 751 254	104 372 753	789	37 256 121
平成元	214	12 263	5 076 254	59 970 113	95 801 922	724	35 202 022
2	239	13 019	5 174 774	52 638 801	76 247 954	576	22 959 450
3	245	14 912	6 113 930	57 467 809	78 566 774	594	20 370 186
4	240	14 955	6 601 214	65 824 712	91 201 353	689	24 207 299
5	242	14 614	6 352 385	54 123 624	78 407 999	593	23 969 597
6	226	14 056	6 220 297	52 862 965	74 836 697	566	21 506 596
7	223	13 080	5 884 903	41 272 168	64 172 875	485	22 524 853
8	210	12 526	5 583 760	37 438 754	57 172 484	432	19 483 465
9	203	12 276	5 685 487	38 655 094	59 838 562	441	20 780 134
10	209	12 512	5 767 359	44 186 905	66 075 392	500	21 402 702
11	191	12 255	5 749 799	44 077 977	64 843 655	490	20 226 877
12	197	11 718	5 536 470	38 373 639	56 532 857	427	17 768 052
13	182	11 870	5 413 892	43 887 463	64 702 513	489	21 560 783
14	166	11 316	5 776 115	61 883 751	89 893 521	680	29 251 040
15	165	10 987	5 993 032	66 553 570	94 696 532	716	29 848 845
16	162	11 340	5 887 477	71 199 237	100 214 381	758	30 903 373
17	162	11 203	5 893 806	74 721 502	102 781 106	777	30 233 255
18	153	11 423	6 064 858	84 532 277	107 267 395	811	25 343 227
19	163	12 475	6 050 545	88 105 033	113 611 458	859	28 152 425
20	168	13 721	6 025 421	89 561 798	126 626 868	957	39 761 475
21	152	12 342	5 584 030	60 151 377	85 422 767	646	26 732 452
22	145	12 489	5 665 676	69 055 536	100 347 471	759	33 083 352
24	137	12 460	5 568 660	56 694 341	79 354 287	600	24 063 481
25	137	13 027	6 049 219	72 949 078	99 760 453	754	28 782 468
26	134	13 195	6 422 629	74 823 002	109 969 077	831	37 497 469

資料：工業統計調査・山口県の工業

注) 指数は昭和50年を「100」とした。

注) 平成23年の工業統計調査は平成24年経済センサス-活動調査として実施。

50 産業(大分類)別事業所数及び従業者数 (平成26年7月1日現在)

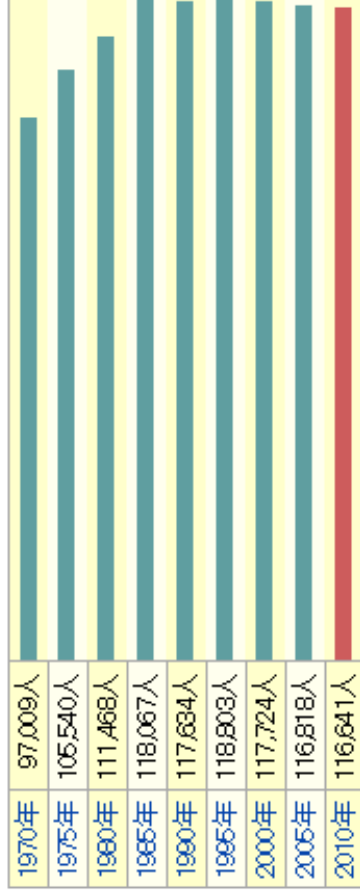
産業分類	事業所数	従業者数(注)	総数	
			男	女
第一次産業	4 703	54 973	31 388	23 621
A 農業	10	125	75	50
B 漁業	1	13	12	1
第二次産業	-	-	-	-
C 鉱業・採石業・砂利採取業	457	3 321	2 646	675
D 建設業	272	13 337	10 844	2 493
E 製造業	7	161	146	15
第三次産業	26	129	64	65
F 電気・ガス・熱供給・水道業	129	3 043	2 473	570
G 情報通信業	1 269	9 404	4 297	5 107
H 運輸業	87	915	371	544
I 卸売業	274	749	421	328
J 金融業	167	1 008	634	374
K 不動産業	549	3 573	1 068	2 492
L 学術研究、専門・技術サービス業	456	1 990	736	1 254
M 宿泊業、飲食サービス業	209	2 460	1 058	1 402
N 生活関連サービス業、娯楽業	394	7 955	1 772	6 183
O 教育、学習支援業	34	537	332	205
P 医療、福祉	327	2 628	1 657	970
Q 複合サービス業(他に分類されないもの)	35	3 625	2 732	893
R サービス業(他に分類されるものを除く)				
S 公務(他に分類されるものを除く)				

資料：経済センサス-基礎調査(わが国の全ての事業所及び企業を対象に経済活動の実態を明らかにする調査である。)

注) 男女別の不詳を含む。

③人口動態

防府市の人口推移

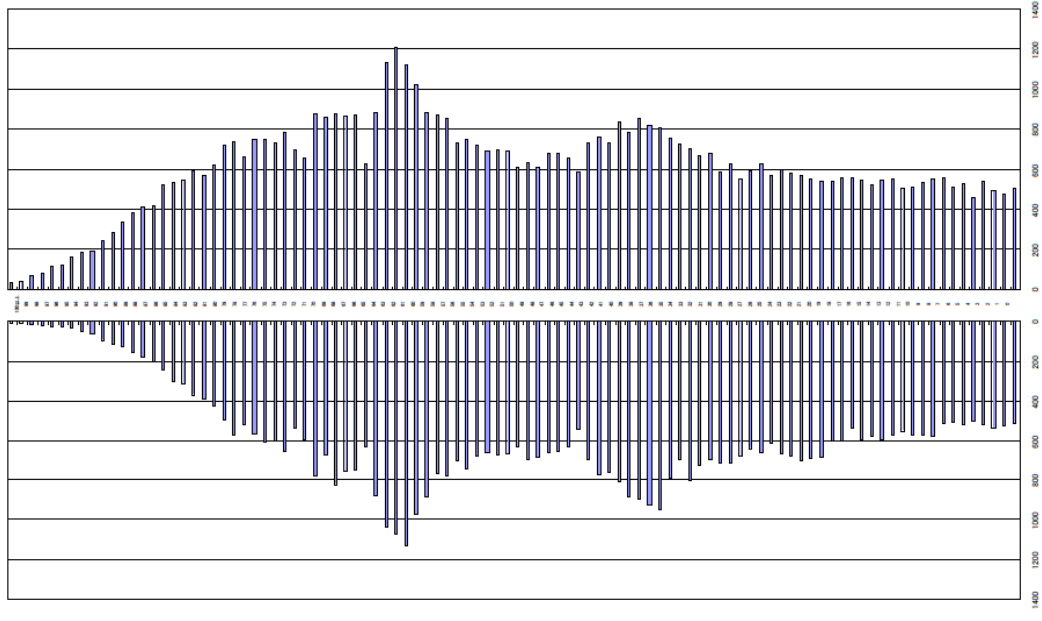


総務省統計局 国勢調査より

平成27年国勢調査結果

平成27年総人口	平成22年総人口	増減数	増減率(%)
115,981人	116,641人	△630人	△0.5

防府市の人口ピラミッド(平成29年2月末)



④転出入

山口県防府市

(人)

	総数										男										女									
	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他				
転入	4,513	381	843	1,804	670	380	219	214	2,674	189	553	1,096	360	229	147	98	2,183	192	290	708	310	151	72	116	0					
転出	4,706	383	845	1,994	673	392	211	207	12,859	201	550	1,225	393	259	142	89	0	1,847	182	295	769	280	133	69	118	1				

住民基本台帳人口移動報告 参考表(年齢(10歳階級), 男女, 転入・転出市区町村別結果)総務省

総人口に対する転入数比	3.9%
総人口に対する転出数比	4.1%
20歳人口転入数比	15.4%
20歳人口転出数比	17.1%
転入総数に対する0～9歳の比率	8.4%

※20歳人口転入数比は、20代人口に対する転入人口の比率

⑤その他情報



防府天満宮御神幸祭(裸坊祭)

ほうふてんまんぐうごじんこうさい はだかかぼうまつり

2015年11月28日(土)～11月29日(日)

5000人の裸坊が市内を練り歩く。寛弘元年(1004)に一条天皇の勅使が参向された事により、毎年行うこととなったお祭り。5000人の裸坊がお網代神輿を引き道真公御着船の地である勝間の浦と神社を往復するために市内を練り歩く。現在は11月の第4土曜日に執り行われる。



防府市ホームページ

平成26年観光客数増減調べ(平成26年1月～12月)

(単位:人)

観光対象	平成26年			観光客数			平成25年			観光客数増減理由
	県外客	県内客	計	県外客	県内客	計	県外客	県内客	計	
防府天満宮	417,000	321,739	738,739	416,000	322,292	738,292				
毛利氏庭園・毛利博物館	41,416	24,587	66,013	41,295	21,086	62,381				
田防国分寺	21,792	15,268	37,060	24,110	16,890	41,000				
大平山ロープウェイ	4,336	11,170	15,506	5,783	16,825	22,608				3月からのロープウェイの運休による減
東大寺別院阿弥陀寺	12,850	39,950	51,800	12,900	39,150	52,050				
海水浴場	2,089	18,811	20,900	3,100	28,600	31,700				雨天などによる影響により減
みかん狩り	200	5,669	5,869	200	5,441	5,641				
三田原植田記念産業公園	716	2,879	3,595	756	3,144	3,900				
まらの駅 うめてらす	157,825	334,964	492,589	163,281	346,977	510,258				
月の柱の庭	203	376	579	93	321	414				
瀬西市市場防府	41,901	377,121	419,022	35,643	322,645	358,488				イベント開催や情報発信などの好影響による増
防府市文化財郷土資料館	69	986	1,055	89	468	557				企画展が好評だったため増
美鷹荘	2,013	3,504	5,517	1,191	1,923	3,114				イベント開催による増
タカガワ新山口カンツリー倶楽部	2,135	15,880	18,015	7,882	11,822	19,704				
楽情防府フリーマーケット	280	139,720	140,000	1,560	128,440	130,000				
じばさんフェア	0	40,000	40,000	0	55,000	55,000				
春まつり	100	12,000	12,100	100	12,000	12,100				
防府航空祭	0	18,000	18,000	0	12,000	12,000				昨年よりも天候に恵まれたため増
マツダ防府工場見学	1,276	8,781	10,057	924	6,661	7,585				
防府まつり総合おどり大会	0	78,000	78,000	0	80,000	80,000				雨天の影響により減
ほたるのゆうべ	0	4,000	4,000	0	4,000	4,000				
防府読売マラソン	2,338	414	2,752	3,418	616	4,034				参加資格が厳しくなったことによる影響により減
防府市青少年科学館	0	79,299	79,299	0	73,357	73,357				
日帰り	650,411	1,541,906	2,192,317	660,325	1,499,388	2,159,713				
宿泊	57,828	10,222	68,150	58,200	10,270	68,470				
合計(延べ人数)	708,339	1,552,128	2,260,467	718,525	1,509,658	2,228,183				
日帰り	563,433	1,239,518	1,802,951	573,167	1,197,749	1,770,916				
宿泊	53,902	9,460	63,362	54,173	9,504	63,677				
観光客の総人数	617,335	1,248,988	1,866,333	627,340	1,207,253	1,834,593				

(2) 磐田市

① 概要



磐田市は日本のほぼ中央、静岡県西部の天竜川東岸に広がる地域であり、遠州灘に面しています。

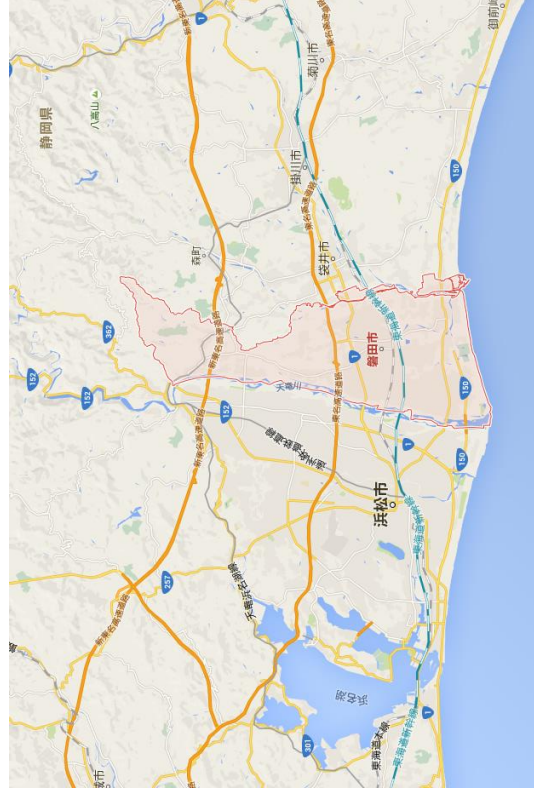
面積は163.45平方キロメートル、東西 約11.5km 南北27.1km。

人口は170,333人（平成28年5月末日現在）

奈良時代には、遠江国分寺と遠江国府が置かれ、古墳時代の900基以上の古墳が現存するなど、歴史が語りつがれている“まち”です。江戸時代には、東海道53次見付宿として繁栄するなど、東西交通の要所として発展してきました。

近年では、地場産業である繊維産業に加え、金属、自動車、楽器などの工業都市として、また、農業産出額も県内屈指で農・水産物として温室メロンや茶、白ねぎ、海老芋、中国野菜、シラスなどが有名です。都市部と農村部が均衡ある発展を遂げている地域です。

磐田市ホームページ



3 事業所

1. 産業分類別事業所数(民営)

産業分類	平成23年		平成26年		単位:所
	総数	費田	雇田	費田	
総数(A~R 全産業(公務を除く))	6,951	3,369	729	880	405
A~B 農林漁業	38	10	6	6	5
C 鉱業、採石業、砂利採取業	12	11	3	-	7
D 建設業	767	720	308	84	1
E 製造業	1,189	1,154	354	298	77
F 電気、ガス、熱供給・水道業	5	5	2	3	77
G 情報通信業	25	23	18	-	-
H 運輸業、郵便業	160	159	82	11	5
I 卸売業、小売業	1,626	1,584	828	144	12
J 金融業、保険業	104	95	67	7	371
K 不動産業、物品賃貸業	419	397	191	30	16
L 学術研究、専門・技術サービス業	242	236	148	17	99
M 宿泊業、飲食サービス業	675	680	410	51	41
N 生活関連サービス業、娯楽業	596	583	344	53	142
O 教育、学習支援業	256	238	133	21	52
P 医療、福祉	398	441	223	46	103
Q 複合サービス事業	33	42	20	4	43
R サービス業(他に分類されないもの)	406	401	228	30	99
第1次産業(A~B)	38	27	10	6	8
第2次産業(C~E)	1,968	1,885	665	399	25
第3次産業(F~R)	4,945	4,884	2,694	475	150

資料:総務課(H24経済センサス活動調査 H26経済センサス基礎調査)

5 工業

1. 工業の推移(従業員4人以上の事業所)

年次	事業所数	従業員数(人)	現金給与総額(万円)	原材料使用額(万円)	製造品出荷額等(万円)
平成22年	646	36,820	18,172,296	92,964,219	174,848,382
23	676	34,794	16,612,934	84,154,725	163,581,835
24	618	34,399	16,977,872	86,577,422	172,156,830
25	596	34,839	17,260,987	85,406,996	172,110,237
26	589	35,653	18,046,552	90,804,620	178,697,148

資料:総務課(工業統計調査・H24経済センサス活動調査)

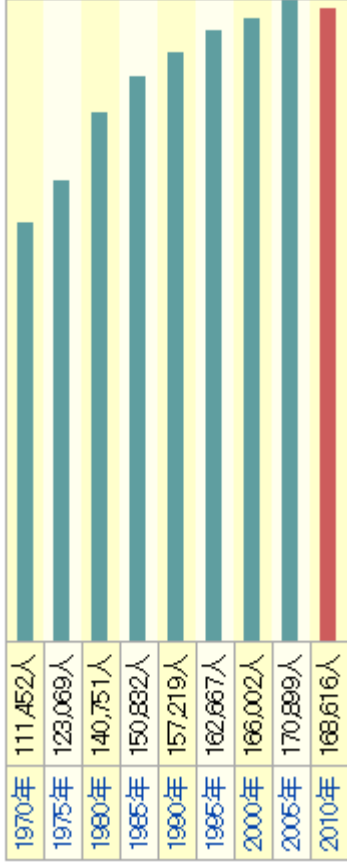
2. 産業分類別、事業所数・従業員数・製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所) 平成26年

産業分類	事業所数	従業員数	製造品出荷額等(万円)	人		製造品出荷額等(万円)
				事業所数	従業員数	
合計	589	35,653	178,697,148			
09 食品品製造業	42	1,448	4,352,265			4,352,265
10 飲料・たばこ・飼料製造業	17	562	40,026,535			40,026,535
11 繊維工業	23	535	1,124,554			1,124,554
12 木材・木製品製造業(家具を除く)	9	334	777,310			777,310
13 家具・装飾品製造業	11	191	374,199			374,199
14 ハルブ・紙・紙加工品製造業	10	298	1,290,277			1,290,277
15 印刷・同梱業	19	579	1,307,640			1,307,640
16 化学工業	13	1,212	6,403,748			6,403,748
17 石油製品・石炭製品製造業	2	13	X			X
18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	54	2,612	6,004,999			6,004,999
19 ゴム製品製造業	12	300	652,693			652,693
20 なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-			-
21 窯業・土石製品製造業	11	200	278,785			278,785
22 鉄鋼業	10	246	1,951,320			1,951,320
23 非鉄金属製造業	12	752	4,497,680			4,497,680
24 金属製品製造業	71	1,422	2,542,329			2,542,329
25 はん用機械器具製造業	19	756	1,301,856			1,301,856
26 生産用機械器具製造業	64	1,137	2,375,236			2,375,236
27 業務用機械器具製造業	5	150	584,279			584,279
28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	16	2,486	6,525,802			6,525,802
29 電気機械器具製造業	25	603	2,085,101			2,085,101
30 情報通信機械器具製造業	2	30	X			X
31 輸送用機械器具製造業	122	17,506	84,281,747			84,281,747
32 その他の製造業	20	2,281	9,847,789			9,847,789

資料:総務課(工業統計調査)

③人口動態

磐田市の人口推移



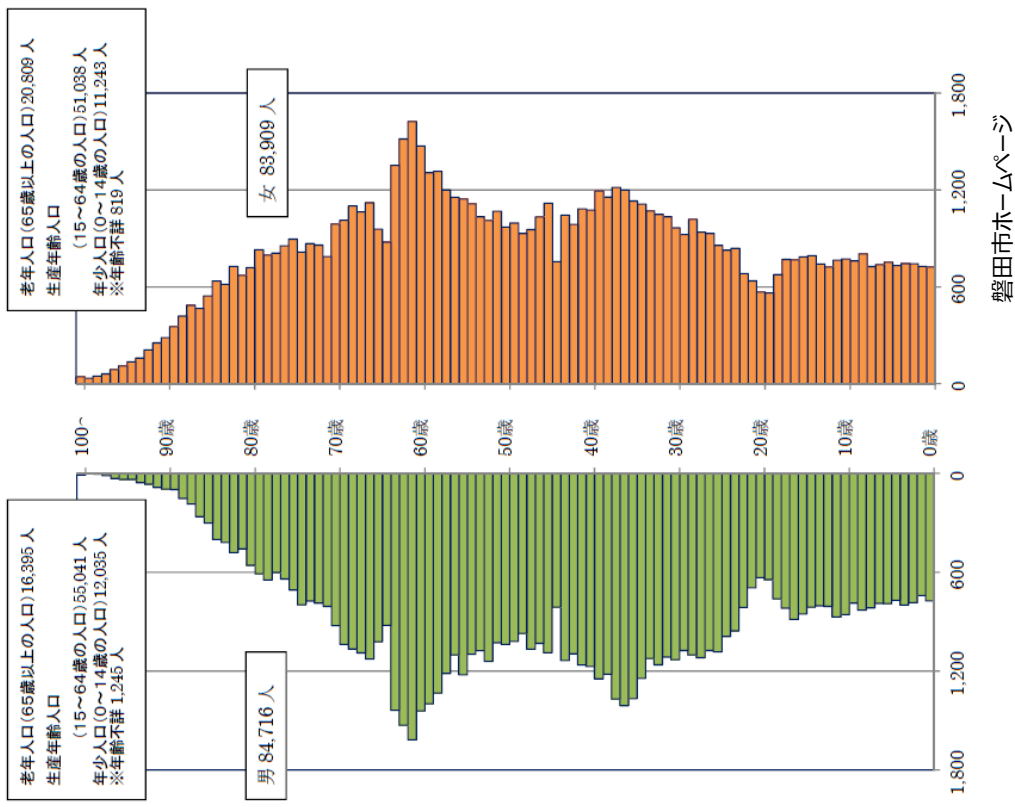
総務省統計局 国勢調査

平成27年国勢調査結果

平成27年総人口	平成22年総人口	増減数	増減率(%)
167,260人	168,625人	△1,365人	△0.8

市内に静岡産業大学があるほか、浜松市内にも大学があり、さらには静岡大学も通学圏

磐田市の人口ピラミッド(平成22年度)



④転出入

静岡県磐田市

(人)

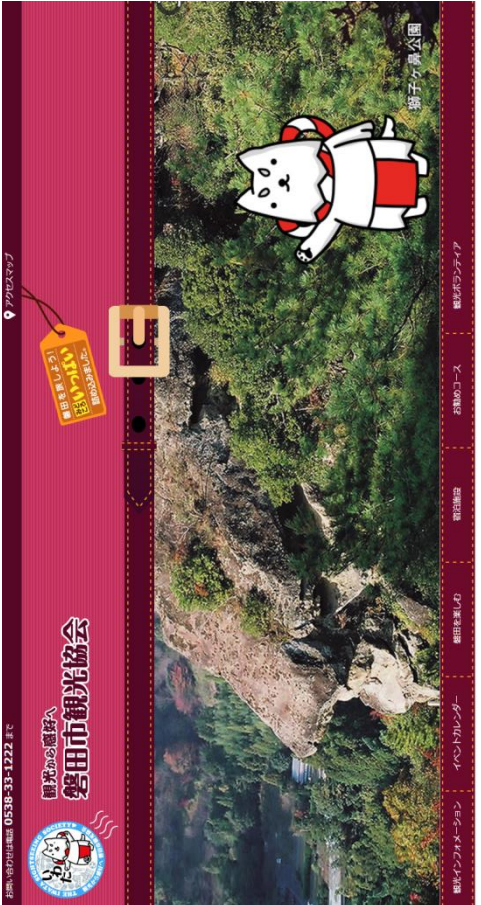
	総数											男						女							
	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
転入	4,411	524	205	1,777	1,046	419	166	274	02,525	270	115	1,069	577	265	105	124	01,886	254	90	708	469	154	61	150	0
転出	4,473	391	283	1,789	1,064	435	189	321	12,561	206	174	1,021	618	282	113	147	01,912	185	109	768	446	153	76	174	1

住民基本台帳人口移動報告 参考表(年齢(10歳階級), 男女, 転入・転出市区町村別結果)総務省

総人口に対する転入数比	2.6%
総人口に対する転出数比	2.7%
20歳人口転入数比	10.0%
20歳人口転出数比	10.1%
転入総数に対する0～9歳の比率	11.9%

※20歳人口転入数比は、20代人口に対する転入人口の比率

⑤その他情報



都市特性

～ 恵まれた立地条件 ～

- **国土基軸（太平洋ベルト）上にある。**
 - ・ 良好な交通条件
 - ・ 中部圏・自都圏・関西圏からアクセスが容易
- **世界レベル、全国レベルの産業がある。**
 - ・ 世界的な企業が複数立地（全国 14 位の工業出荷額）
 - ・ 温室メロンの栽培地
 - ・ 農業と先端技術が融合
 - ・ シロネ芋、エビイモ、お茶、シラス、天然トラフグ等の産地
- **ジュビロ磐田のホームタウン**
 - ・ サッカーが盛んな都市
 - ・ 実業団野球、高校剣道・陸上等も健闘
- **発展中の都市である。**
 - ・ 人口が継続的に増加
 - ・ 国際化の進展（外国人居住者の増加）
 - ・ 市町村合併による可能性の拡大
 - ・ 市民参加の機会拡大
- **歴史ある都市である。**
 - ・ 太古からの繁栄の歴史と豊富な文化財
 - ・ 美女伝説などに秘められたロマンス
- **自然条件に恵まれた都市である。**
 - ・ 歴史を語り継ぐ市民の存在
 - ・ 自然条件に恵まれた都市である。
 - ・ 海～川～里～山をセットにした自然環境
 - ・ 温暖で涼さやすい気候
 - ・ 空～風～風力発電に活用

● 磐田市の観光交流の現状

- ・ 磐田市の観光交流客数は平成 16 年で約 230 万人、近年やや頭打ちの状況
- ・ 日帰りが大半で、目的は「スポーツ・イベント」です。

(単位：千人)

総数	日帰・宿泊別		活動目的別							
	日帰	宿泊	自然	文化歴史	産業観光	スポーツ施設	温泉	買物	行・祭事	イベント
2,319	2,141	178	38	339	45	856	137	333	42	529
100.0%	92.3%	7.7%	1.6%	14.6%	1.9%	36.9%	5.9%	14.4%	1.8%	22.8%

- ・ 観光消費額は約 100 億円、波及効果まで算込むと約 120 億円の規模です（直接観光消費額の約 1.2 倍）。

観光交流客数の増加

目標値：年間 350 万人（平成 28 年度） ← 平成 22 年度 330 万人

観光振興ビジョン - 磐田市 (H18)

13. 形態別観光交流客数

単位：人

年度	観光交流客数	前年度比 (%)	宿泊客数	前年度比 (%)	観光レクリエーション客数	前年度比 (%)
平成22年度	3,305,943	105.8	136,336	85.4	3,169,007	106.9
23	3,204,750	96.9	140,542	102.6	3,064,208	96.7
24	3,360,778	104.9	121,809	86.7	3,238,969	105.7
25	3,559,358	105.9	132,825	109.0	3,426,533	105.8
26	3,737,360	105.0	131,052	98.7	3,606,308	105.2

資料：商工観光課（静岡県観光交流の動向）

平成18年度に設定した平成28年度の目標値350万人は
平成25年段階で達成

(3) 延岡市

① 概要



Nobeoka-City

市民力・地域力・都市力が躍動するまちのべおか

つながるべおか

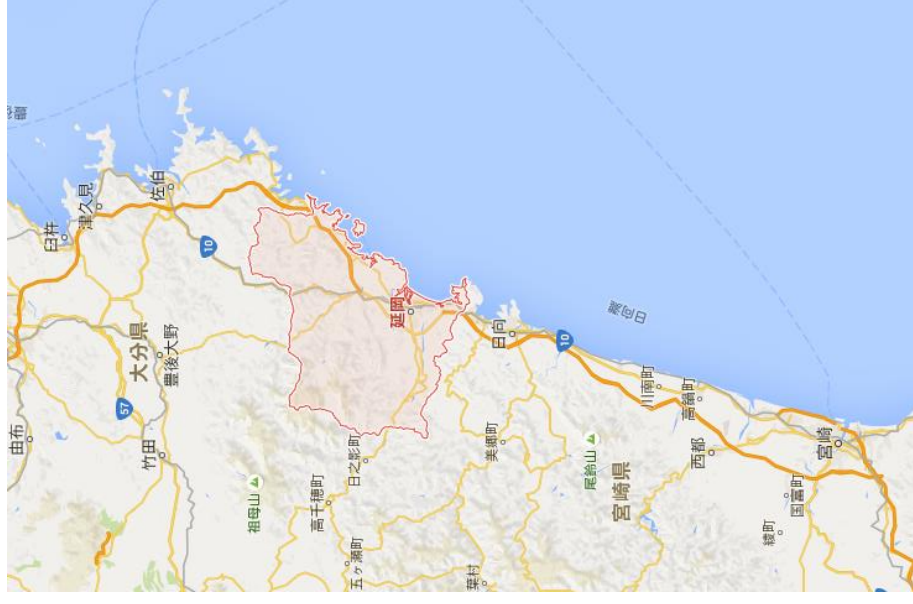
宮崎県延岡市 延岡地区でつながって、九州の発展に貢献します

延岡市は、東九州に位置し、九州山地を背に、清流五ヶ瀬川が貫流し、日向灘に面した、産業と歴史と文化とスポーツが息づく「市民力・地域力・都市力が躍動するまち」で、平成18年に《山の文化の北方町》、《海の文化の北浦町》、19年に《山と川の文化の北川町》との一市三町合併を経た、九州では二番目に広い面積を有し、人口約13万、商工農林漁業の各産業が均衡する、新しいまちに生まれ変わり、さらに見所いっぱいになりました。ロッククライミングファンには、お馴染みの上鹿川の鉾岳、綱の瀬川を見下ろす比叡山、そして、登山愛好家の憧れ、大崩山、風光明媚な日豊海岸。

歴史をさかのぼれば、江戸時代には、高橋、有馬、三浦、牧野、内藤の五氏の藩主が入れ代わり移封された延岡藩の城下町で、明治時代に入ると、夏目漱石の青春小説『坊ちゃん』で、「うらなり君」の左遷される赴任地として「猿と人とが半々に住んでる」「山の中も山の中も大変な山の中」として、ユーモラスに紹介されている、たとえば、「あぁ、あの延岡か!」と合点がいく方もいるのではないだろうか。その頃、若き日の歌人若山牧水も、11歳から19歳までを延岡で過ごし、歌人としての第一歩を踏み出しています。その後、大正年間に入り、旭化成を中心とする工業都市に生まれ変わり、現在まで東九州の中核都市として発展してきました。

また、延岡市は、スローガンの通り《市民力》《地域力》《都市力》が元気いっぱい、市民協働の力を結集して、ゴールデンゲームズ、のべおか天下一新能、城山がぐらまつり、西日本マラソン大会など、さまざまなイベントを開催しています。さらに、宮崎県北市町村と連携を図るため、本年「定住自立圏構想の中心市宣言」を行い、さらに現在、国土交通省で策定中の「国土形成計画」の「九州圏広域地方計画」の《基幹都市圏》中間整理では「延岡・日向都市圏」の《中心的都市》として位置付けられるなど、将来を見据えた新たな基盤整備に向けての弾みもついています。

延岡市ホームページ



4-2. 産業別事業所数・従業者数の推移

産業	平成18年		平成21年		平成24年		構成比(%)
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	
総数	6,803	56,066	6,933	59,020	6,607	52,534	100.0
農業	18	103	40	287	39	287	0.5
漁業	40	546	58	647	52	622	1.2
鉱業	5	51	3	22	2	14	0.0
建設業	752	5,865	809	6,040	778	5,461	10.4
製造業	398	9,112	412	9,201	424	8,972	17.1
電気・ガス・熱供給・水道業	10	346	10	378	5	210	0.4
情報通信業	41	712	47	693	44	511	1.0
運輸業	86	1,933	104	2,283	96	2,300	4.4
卸売・小売業	1,899	11,285	1,806	11,594	1,709	9,988	19.0
金融・保険業	116	1,114	114	1,358	104	961	1.8
不動産業	182	441	257	938	260	1,071	2.0
学術研究、専門・技術サービス業	-	-	208	1,410	201	935	1.8
宿泊業、飲食サービス業	1,009	4,279	1,008	4,860	968	4,811	9.2
生活関連サービス業、娯楽業	-	-	778	2,811	760	2,642	5.0
教育、学習支援業	289	2,870	299	2,761	222	1,209	2.3
医療、福祉	446	7,272	469	8,504	490	8,277	15.8
複合サービス事業	89	1,066	71	639	66	630	1.2
サービス業(他に分類されないもの)	1,363	7,451	383	2,981	386	3,619	6.9
公務	60	1,620	57	1,613	-	-	-

注1) 昭61～平成18は「事業所・企業統計調査」は各年10月1日、「経済センサス」は2月1日現在。
 注2) 平成24年「経済センサス-活動調査」はIS公務は調査対象外である。

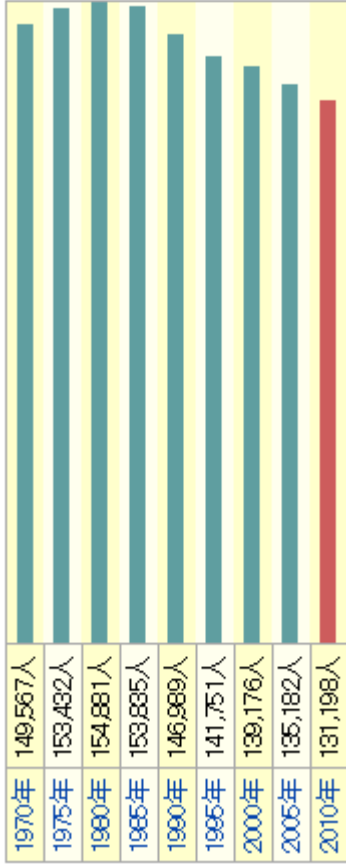
6-3. 業種別事業所数、従業者数、製造品出荷額等(従業者4人以上)

産業 類型	平成23年		事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	業 種 数	実 数 (人)	実 数 (所)	構成比(%)	実 数 (人)	構成比(%)	実 数 (万円)	構成比(%)
基礎業	225	7,257	100.0	-	7,257	1,000	28,230,645	100
基礎業	87	2,039	38.7	-	2,039	28.1	x	x
木	14	152	6.2	-	152	2.1	142,284	0.5
パルプ・紙	5	83	2.2	-	83	1.1	151,662	0.5
化学	9	639	4.0	-	639	8.8	9,276,285	32.9
石油・石炭	2	36	0.9	-	36	0.5	x	x
プラスチック	18	643	8.0	-	643	8.9	1,412,121	5.0
ゴム	-	-	-	-	-	-	-	-
窯業・土石	11	176	4.9	-	176	2.4	363,810	1.3
鉄鋼	5	42	2.2	-	42	0.6	84,504	0.3
非金属	1	7	0.4	-	7	0.1	x	x
金属	22	261	9.8	-	261	3.6	172,042	0.6
はん用機械	38	2,838	16.9	-	2,838	39.1	x	x
生産用機械	9	188	4.0	-	188	2.6	263,190	0.9
業務用機械	12	590	5.3	-	590	8.1	1,513,775	5.4
電子部品	6	791	2.7	-	791	10.9	2,001,290	7.1
電気機械	2	1,021	0.9	-	1,021	14.1	x	x
情報機械	5	207	2.2	-	207	2.9	272,340	1.0
輸送機械	4	41	1.8	-	41	0.6	15,906	0.1
食料品	100	2,380	44.4	-	2,380	32.8	5,228,218	18.5
飲料・たばこ	52	942	23.1	-	942	13.0	1,585,630	5.6
繊維	4	45	1.8	-	45	0.6	46,750	0.2
家具	19	998	8.4	-	998	13.8	3,293,855	11.7
印刷	7	55	3.1	-	55	0.8	114,555	0.4
皮革	10	224	4.4	-	224	3.1	109,869	0.4
その他	8	116	3.6	-	116	1.6	77,559	0.3

資料：企画課 平成24年「経済センサス-活動調査」製造業速報

③人口動態

延岡市の人口推移

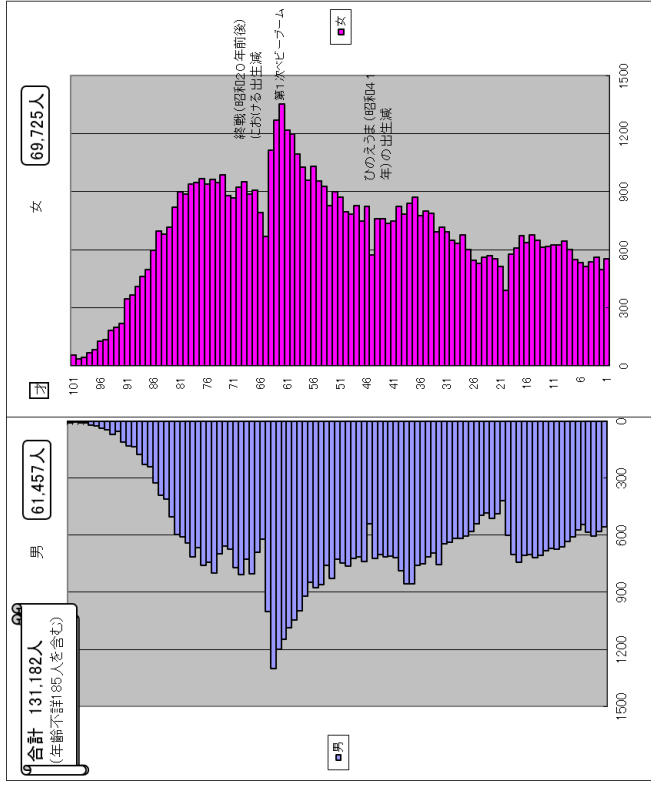


総務省統計局 国勢調査より

平成27年国勢調査結果

平成27年総人口	平成22年総人口	増減数	増減率(%)
125,212人	131,182人	△5,970人	△4.6

延岡市の人口ピラミッド(平成22年)



延岡市ホームページ

④転出入

宮崎県延岡市

(人)

	総数										男					女									
	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
転入	3,120	391	326	1,011	619	313	253	206	11,738	204	178	553	337	191	179	96	01,382	187	148	458	282	122	74	110	1
転出	3,938	442	626	1,243	721	366	243	297	02,131	239	374	631	386	210	164	127	01,807	203	252	612	335	156	79	170	0

住民基本台帳人口移動報告 参考表(年齢(10歳階級), 男女, 転入・転出市区町村別結果)総務省

総人口に対する転入数比	2.5%
総人口に対する転出数比	3.1%
20歳人口転入数比	8.9%
20歳人口転出数比	10.9%
転入総数に対する0～9歳の比率	12.5%

※20歳人口転入数比は、20代人口に対する転入人口の比率

⑤その他情報



延岡市のスローガンは《市民力》《地域力》《都市力》
市民協働の力を結集して、ゴールデンゲームズ in のべおか、のべお
か天下一薪能、城山かぐらまつり、延岡西日本マラソンなど、さまざ
まなイベントを開催しています。

宮崎県北市村と連携を図るため、「定住自立圏構想の中心市宣言」
を行い、「国土形成計画」の「九州圏広域地方計画」における《基幹都
市圏》に「延岡・日向都市圏」が位置付けられています。



第40回まつりのべおか「ばんば祭



第40回まつりのべおか「花火大会



検索:
検索

コンテンツ

- ▶ 花火大会
- ▶ 本誌編集会
- ▶ ばんば総踊り
- ▶ 出陣いっぴり
- ▶ その他
- ▶ お問い合わせ
- ▶ ばんば祭について



延岡市ホームページ

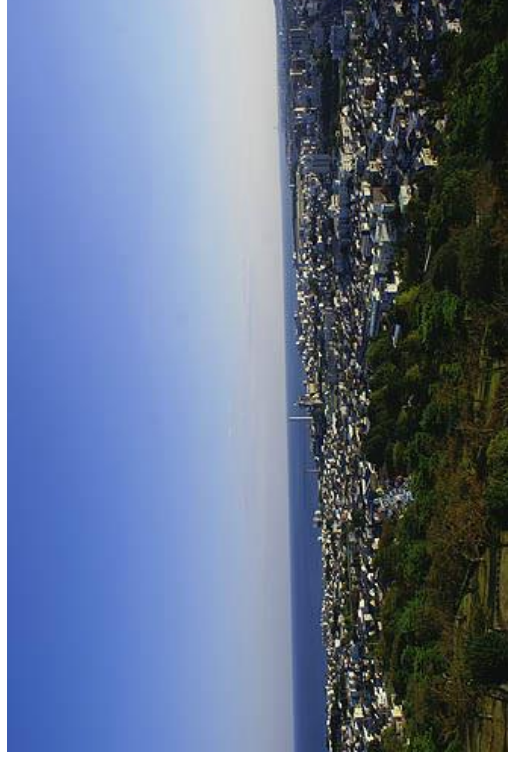
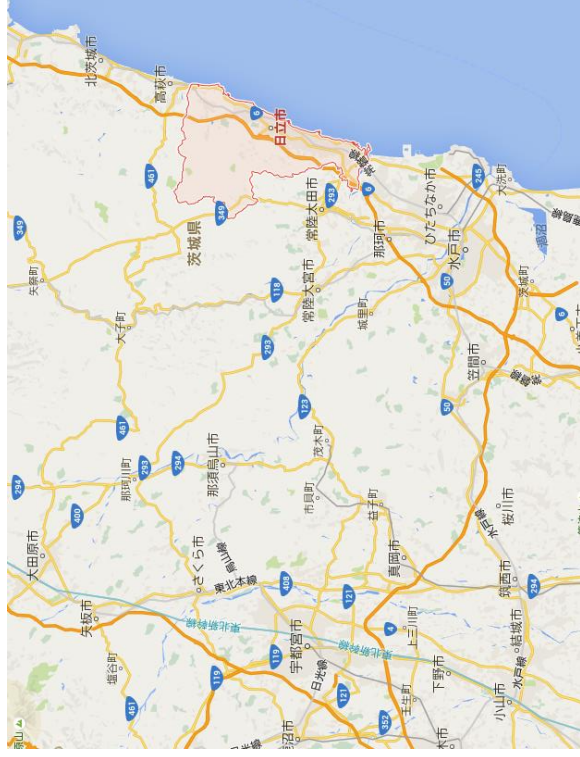
(4) 日立市

①概要



- ◆日立市は、日本で最も広い関東平野の北端、茨城県の北東部にあり、南北25.9km、東西17.9km、面積は225.55km²を有しています。西は阿武隈山系に連なり、東は起伏に富んだ太平洋の海岸線を臨み、穏やかな気候、山・海の豊かな自然環境に恵まれています。
- 日立市プロフィール
- ◆かみね公園、奥日立きららの里、田正音楽記念館、シックセンターなど日立市ならではの施設があり、四季を通じて人が集い楽しい交流拠点を有する県北の中核都市として今も発展し続けています。
- ◆明治時代から鉱業、電気機械産業を中心とした産業が発展し、日本有数の鉱工業都市として成長してきました。
- ◆日立市には、長い歴史を物語る貴重な文化遺産が数多くあり、先人たちの確かな息づかいを今に伝えています。
- ◆長い海岸線には6か所の海水浴場と漁港があり、賑わいと海の幸をもたらしています。また、市の地形は縦に長く、市内に5つある常磐線の駅に沿って市街地が形成され発展しています。

ウォッチングガイド いいね！ がいっぱい日立市



27 産業別・従業員規模別事業所数及び従業員数

(平成21年7月1日現在)

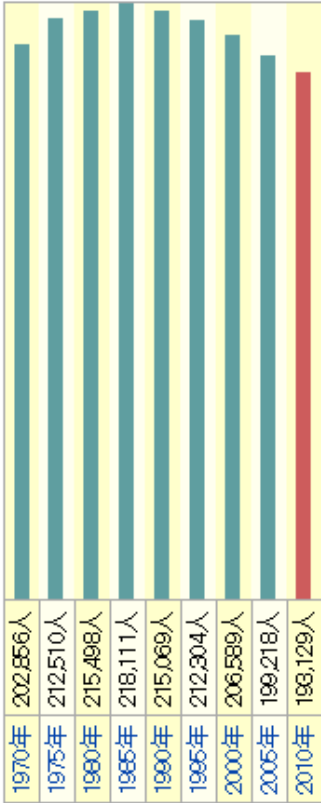
区分	全産業	農林漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	電気・ガス・水道・熱供給・製造業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	宿泊業、飲食サービス業	医療・福祉	教育・学習支援業	複合サービス事業	サービス業(他に分類されないもの)		公務(他に分類されないもの)		
														1	2			
事業所数	8,100	15	5	795	788	12	115	204	2,058	104	377	1,230	434	324	46	1,544	49	
従業員数	100,972	202	39	6,006	28,321	432	7,558	5,415	15,035	1,511	1,172	8,370	8,184	4,140	429	12,666	1,492	
従業員数	個人業主 無給の家族従業員者	91,487	180	37	4,740	27,094	430	7,404	5,168	12,785	1,452	680	7,024	7,666	3,946	388	11,041	1,492
従業員数	61,814	121	33	3,665	22,366	358	6,975	3,787	5,386	1,178	460	1,586	4,857	2,802	281	6,845	1,364	

産業中分類	平成24年			平成25年		
	事業所数	従業員数	製造品出荷額等 万円	事業所数	従業員数	製造品出荷額等 万円
総数	424	26,287	128,312,284	395	23,206	106,700,207
食料品 <small>飲料、たばこ、飼料</small>	15	300	241,377	14	303	221,896
繊維	5	53	55,410	3	42	42,423
木材・木製品	5	33	16,378	4	30	17,379
家具・装飾品	8	86	133,649	7	75	99,056
<small>ハルバ、革、縫加工品</small>	5	30	19,107	4	24	19,222
印刷・印刷関連業	3	202	338,908	3	209	373,964
化学	9	144	163,072	7	122	153,996
石油・石炭製品	2	733	-	2	785	X
プラスチック製品	-	-	-	-	-	-
ゴム製品	24	505	951,270	23	491	904,432
<small>ハルバ、印刷、皮革</small>	3	39	18,070	3	42	18,260
窯業・土石製品	1	4	X	1	4	X
鉄鋼	11	532	3,470,429	11	508	3,118,404
非鉄金属	12	231	556,464	11	262	1,094,208
金属製品	25	3,920	38,718,993	25	3,299	34,945,749
はん用機械	60	1,093	1,461,616	50	910	1,116,142
生産用機械	30	6,654	40,742,366	30	4,935	25,512,297
業務用機械	35	1,097	2,166,293	27	508	994,931
電子部品・デバイス	8	176	206,982	9	247	306,459
電気機械	13	621	1,177,930	11	840	1,001,506
情報通信機械	109	8,366	29,743,928	110	8,343	29,839,813
輸送用機械	3	300	369,202	4	308	344,299
その他の製造業	34	1,130	2,965,863	32	887	2,091,099
	6	48	69,464	4	32	53,120

(注) 平成23年工業統計調査は、平成24年経済センサス-活動調査実施のため中止。
資料：工業統計調査

③人口動態

日立市の人口推移

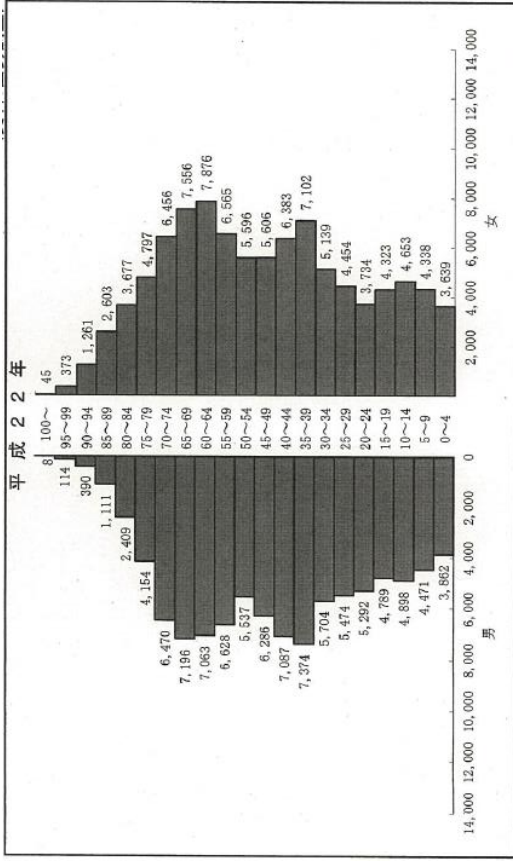


総務省統計局 国勢調査より

平成27年国勢調査結果

項目	平成27年総人口	増減数	増減率(%)
平成27年総人口	185,149人	△7,980人	△4.1

日立市の人口ピラミッド



(資料:国勢調査)

日立市ホームページ

④転出入

茨城県日立市

(人)

	総数													男						女							
	総数	0～9歳					10～19歳					20～29歳			30～39歳			40～49歳			50～59歳			60歳以上			不詳/その他
			0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	
転入	3,708	328	291	1,575	776	345	192	201	0	2,219	166	200	977	424	234	123	95	0	1,489	162	91	598	352	111	69	106	0
転出	5,212	455	399	2,200	1,117	453	249	339	0	2,979	242	237	1,296	618	290	149	147	0	2,233	213	162	904	499	163	100	192	0

住民基本台帳人口移動報告 参考表(年齢(10歳階級), 男女, 転入・転出市区町村別結果)総務省

総人口に対する転入数比	2.0%
総人口に対する転出数比	2.8%
20歳人口転入数比	8.3%
20歳人口転出数比	11.6%
転入総数に対する0～9歳の比率	8.8%

※20歳人口転入数比は、20代人口に対する転入人口の比率

⑤その他情報



日立市 日立市 日立市

日立市 転入子育てで定住応援

お探しの情報は向ですか? よく検索されるキーワード: 市営 人口 入札 図書館 住民票 △スポーツ 戸籍簿本

Google カスタム検索

翻訳: English 中文 西語

ふりがな ふりがな

白黒 通常 拡大 縮小

音声読み上げ 音声読み上げ

移動する 本文へ

サイトマップ 携帯サイト

ふりがな ふりがな

配色

よくある質問と回答

ご意見・お問い合わせ

トピックス

観光・イベント案内

市内で楽しむ情報

市営情報

市の施設・施設・条例など

日立風流物

日立風流物



日立風流物

「日立風流物」は、宮田地区の鎮守である神峰神社(かみねじんじや)の大祭りに、氏子たちが奉納してきた山車です。五段屋形開閉式山車で、その規模は高さ15メートル、重さは約5トンにもなります。

日立市ホームページ

(5) 苫小牧市

① 概要

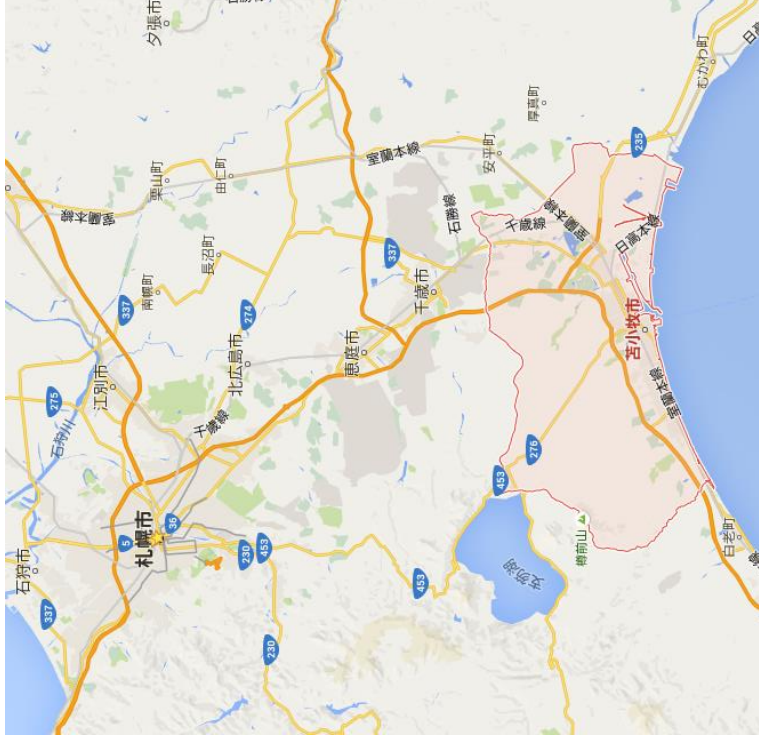


太平洋に臨む私たちのまち苫小牧は、先人のたゆみない努力と英知の結集のもと、人口17万3千人を超える道内5番目の都市となりました。国際拠点港湾である海の玄関「苫小牧港」と空の玄関「新千歳空港」の「ダブルポート」を有し、鉄道、国道、高速自動車道などの交通アクセスにも恵まれた、北海道経済発展の大きな役割を担う産業拠点都市として発展を続ける、活気に満ちたまちです。

また、紙・パルプ、自動車部品、金属などの工業基地、石油備蓄基地や道内最大の火力発電所を有するエネルギー基地など多様な産業が集積しており、全国的に注目を集めています。一方で、樽前山麓の広大な森林や、ラムサール条約湿地に指定されるウトナイ湖など、自然豊かな環境を誇っています。

この豊かな自然と調和した、文化の薫り高く潤いのある快適な環境の中で、全ての市民が持てる能力を発揮しながら、ともに生き生きと暮らし、未来に向かってたくましく歩むまち「人間環境都市」を目指してまちづくりをすすめています。

苫小牧市政要覧より



1 事業所数・従業員数・製造品出荷額等の推移

年次	事業所数	従業員数(人)	製造品出荷額等 (万円)
平成11年	271	10,451	62,563,621
12年	273	10,283	77,655,768
13年	262	10,296	68,172,844
14年	251	9,661	66,317,550
15年	259	9,801	61,906,724
16年	253	10,335	56,257,334
17年	259	10,528	74,631,422
18年	240	10,575	92,186,556
19年	232	11,486	104,322,840
20年	225	11,240	116,970,711
21年	212	10,409	81,769,786
22年	212	10,536	95,439,650
23年	221	10,716	102,140,359
24年	213	10,985	113,107,458
25年	209	10,719	123,631,010

(注) 従業員4人以上の事業所。 <資料> 市政推進課 工業統計調査

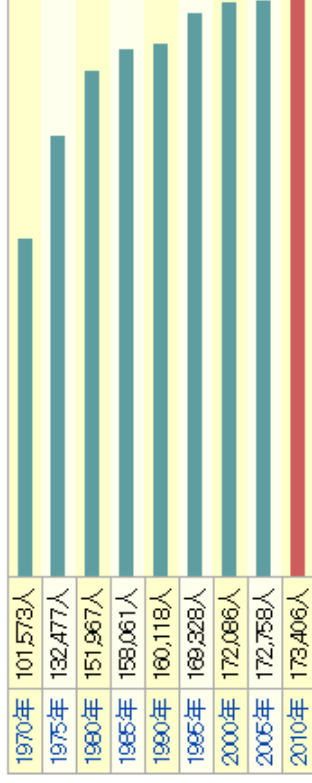
2 経済活動別市内総生産

項目	実数(千円)		
	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1 産業	680,762,403	496,577,481	645,166,469
(1) 農業	924,828	830,713	835,473
(2) 林業	207,963	206,020	253,534
(3) 水産業	1,057,992	1,264,858	1,507,112
(4) 鉱業	9,591,127	8,821,854	8,465,147
(5) 製造業	247,663,923	99,130,457	234,437,801
(6) 建設業	52,613,151	30,718,575	35,033,757
(7) 電気・ガス・水道業	16,696,470	17,040,615	17,881,702
(8) 卸売・小売業	76,511,324	71,130,407	68,125,639
(9) 金融・保険業	21,206,486	21,151,042	17,703,202
(10) 不動産業	7,000,854	5,414,351	5,512,795
(11) 運輸・通信業	89,128,995	77,076,104	94,376,510
(12) サービス業	158,159,290	163,790,485	161,033,787
2 政府サービス生産者	50,594,836	53,885,639	55,081,921
(1) 電気・ガス・水道業	5,840,272	5,800,630	5,075,683
(2) サービス業	12,995,084	12,620,566	12,765,957
(3) 公務	31,759,480	35,464,443	37,240,281
3 対象計長間非営利サービス生産者	11,654,765	12,315,278	12,026,724
4 小計(1+2+3)	743,012,004	562,776,398	712,275,104
5 帰属利子等	10,371,524	8,189,096	7,065,452
市内総生産(4+5)	732,640,480	554,589,301	705,209,652

(注) 平成18年度から平成20年度までの数値を勘及して改定したため、前回公表値とは一致しない箇所がある。

③人口動態

苫小牧市の人口推移

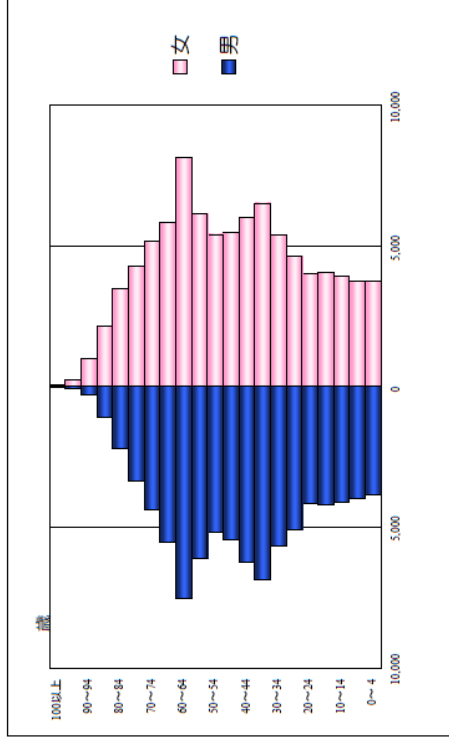


総務省統計局 国勢調査より

平成27年国勢調査結果

平成27年総人口	平成22年総人口	増減数	増減率(%)
172,794人	173,320人	△526人	△0.3

苫小牧市の人口ピラミッド(平成22年)



苫小牧市ホームページ

④転出入

北海道苫小牧市

(人)

	総数											男											女																									
	0～9歳			10～19歳			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50～59歳			60歳以上			不詳/その他			0～9歳			10～19歳			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50～59歳			60歳以上			不詳/その他		
	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/その他												
転入	6,106	649	414	1,978	1,305	789	442	522	73,500	336	236	1,144	743	503	296	236	236	62,606	313	178	834	562	286	146	286	1	286	146	286	286	286	286	286	286	286	286	286	286										
転出	6,079	658	555	1,967	1,222	778	446	448	53,441	322	334	1,069	686	508	317	203	203	22,638	336	221	898	536	270	129	245	3	245	129	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270	270									

住民基本台帳人口移動報告 参考表(年齢(10歳階級), 男女, 転入・転出市区町村別結果) 総務省

総人口に対する転入数比	3.5%
総人口に対する転出数比	3.5%
20歳人口転入数比	11.1%
20歳人口転出数比	11.0%
転入総数に対する0～9歳の比率	10.6%

※20歳人口転入数比は、20代人口に対する転入人口の比率

⑤その他情報

Tomakomai City, Hokkaido

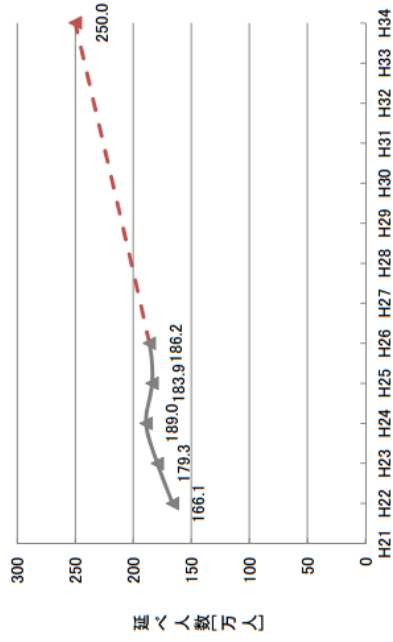
Double Port City

ホーム | 暮らし・手帳さ | 健康・福祉 | 教育・文化・スポーツ | 観光・産業 | 自然・環境 | 市政情報

文字の大きさ | 拡大 | 縮小 | 元に戻す | English:中 | 画面読み上げ | 文字の読みがた | 配色 | 背景 | 標準 | サイト内検索 | Google:カスタム検索 | Q:検索 | 組織案内 | サイトマップ | お問い合わせ | お問い合わせは | きせかえ | する？

苫小牧のお店で 貯まる 使える TOMACHOP OINT とまちょップポイント 加盟店募集中!!

苫小牧市へようこそ
 苫小牧市役所
 北海道苫小牧市旭町
 4丁目5番6号
 0144-32-6111
 市民のみなさまへ
 事業者のみなさまへ
 観光されるみなさまへ



【観光入込客数(延べ人数)の推移】

苫小牧市ホームページ

(参考) 新居浜市

①労働環境

7 産業(大分類)別就業者数の推移 (各年10月1日現在)

産業		平成12年	平成17年	平成22年
総数	総数	57,284	56,024	54,462
第一次産業	第一次産業	845	970	617
第二次産業	第二次産業	56	48	(51)
第三次産業	第三次産業	216	158	115
分類不能の産業	分類不能の産業	5	2	10
農林水産業	農林水産業	7,423	6,430	5,658
建設業	建設業	13,583	12,216	11,475
製造業	製造業	489	398	413
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・ガス・熱供給・水道業	3,847	377	386
情報通信業	情報通信業	11,704	3,087	3,304
運輸業・郵便業	運輸業・郵便業	1,449	9,792	8,279
卸売業・小売業	卸売業・小売業	288	1,211	1,161
金融・保険業	金融・保険業	15,959	348	515
不動産業	不動産業	1,335	2,240	1,831
サービス業	サービス業	83	6,879	2,636
公務	公務		2,263	1,998
分類不能の産業	分類不能の産業		524	2,142
			7,669	7,343
			1,293	305
			189	2,837
				1,329
				2,051

資料：国勢調査

(2) 市内総生産額等の推移

① 市内総生産額の推移

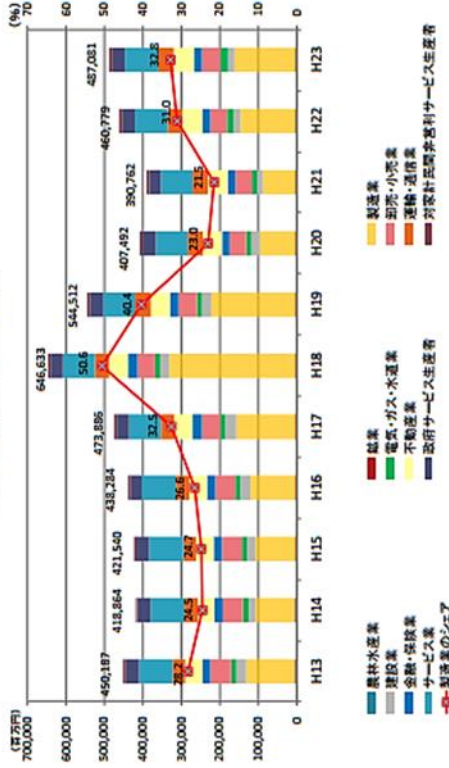
新居浜市の市内総生産額（生産活動によって生み出された付加価値額をいい、産出額－中間投入額、で計算される）の推移は、下図の通りである。

平成23年度（2011年度）の市内総生産額は4,871億円で、製造業の割合が最も多く32.8%を占め、次いでサービス業、不動産が多い。

長期推移で見ると、製造業の動向の影響を強く受けており、平成18年のピークには、市内総生産額が6,466億円となるとともに、製造業の割合は50.6%を占めた。

一方で、世界的な景気後退の影響を受けた平成21年度（2009年度）には、市内総生産額が3,908億円とピーク時から4割減少し、製造業の割合も21.5%まで低下した。

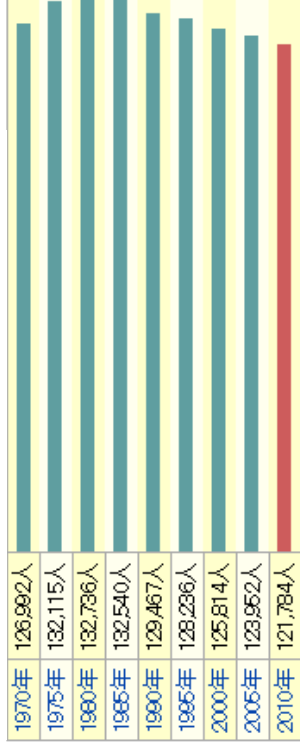
市内総生産の推移



(資料：愛媛県市町村民所得統計)

②人口動態

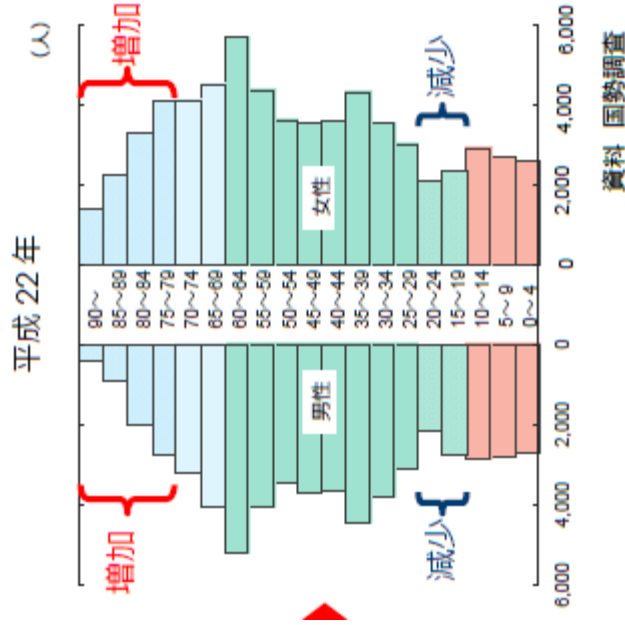
新居浜市の人口推移



平成27年国勢調査結果

	平成27年総人口	平成22年総人口	増減数	増減率(%)
	119,905人	121,735人	△1,830人	△1.5

新居浜市の人口ピラミッド



③転出入

新居浜市

(人)

	総数										男										女											
	0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		不詳/その他		0～9歳		10～19歳		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上		不詳/その他	
	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢	総数	年齢		
転入	2,882	303	165	1,063	664	312	189	186	0	1,556	145	86	577	343	207	123	75	0	1,326	158	79	486	321	105	66	111	0	0	0	0		
転出	3,270	389	260	1,106	712	374	200	228	1	1,747	193	119	599	376	230	133	96	1	1,523	196	141	507	336	144	67	132	0	0	0			
差	388	86	95	57	48	62	11	42		191	48	33	22	33	23	10	21		197	38	62	21	15	39	3	21						

住民基本台帳人口移動報告 参考表(年齢(10歳階級), 男女, 転入・転出市区町村別結果) 総務省

総人口に対する転入数比	2.4%
総人口に対する転出数比	2.7%
20歳人口転入数比	10.4%
20歳人口転出数比	10.8%
転入総数に対する0～9歳の比率	10.5%

※20歳人口転入数比は、20代人口に対する転入人口の比率

(参考) 首都圏年齢階層転出入

平成28年 平成23年 増加人口 増加率(%)
 243,390 205,131 38,259 18.7

港区総人口

東京都港区	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/ その他
総数	21,630	1,396	841	7,166	6,427	3,012	1,457	1,331	0
総数	19,518	1,815	711	4,708	5,982	3,020	1,592	1,683	7

平成28年 平成23年 増加人口 増加率(%)
 154,393 144,786 9,607 6.6

浦和区総人口

埼玉県さいたま市浦和区	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不詳/ その他
総数	10,397	1,322	514	3,033	2,964	1,351	588	623	2
総数	8,050	773	411	2,481	2,125	1,062	561	636	1

(参考) 産業都市の人口動態

	新居浜市	防府市	磐田市	延岡市	日立市	苫小牧市	東京都港区	さいたま市浦和区
総人口に対する転入数比	2.4%	3.9%	2.6%	2.5%	2.0%	3.5%	8.9%	6.7%
総人口に対する転出数比	2.7%	4.1%	2.7%	3.1%	2.8%	3.5%	8.0%	5.2%
20代人口転入数比	10.4%	15.4%	10.0%	8.9%	8.3%	11.1%	30.3%	17.6%
20代人口転出数比	10.8%	17.1%	10.1%	10.9%	11.6%	11.0%	19.9%	14.4%
転入総数に対する0～9歳の比率	10.5%	8.4%	11.9%	12.5%	8.8%	10.6%	3.9%	12.7%

新居浜市の転出入でみる人口動態は産業都市として平均的

20代の転出も平均的

20代・30代、特に20代の転入確保がポイントになるのはどの都市も同様である

20代転出は防府市を除けば1%前後を示すのに対し、転入が低調な延岡市/日立市は人口減少が著しい

20代・30代の転入を拡大するとき

主には就職口をどう維持拡大するかという産業振興的施策の重要度が高いが

加えて若い女性の数（結婚対象）、子育て環境整備、

さらには生活しやすさ、まちの魅力化など周辺整備の重要度も高くなってくる

主婦ワークショップ実施記録

20160630実施

新居浜市 主婦ワークショップ

- 目的 : 新居浜市主婦の新居浜に対する意識把握
- 実施日時 : 2016年6月30日 (木) 午前10時～12時
- 場所 : 新居浜市役所 33会議室
- 出席者 : 新居浜在住主婦7名
事務局2名
司会者、アシスタント2名

テーマフロー

1. 主旨説明/ファシリテーター自己紹介
2. 参加者自己紹介
 - ・ワークショップ中の呼び方/ネームカード記入
 - ・年齢/仕事/家族構成/ご主人の職業
 - ・居住歴生まれた場所/新居浜に住んで何年？/市外に住んだ経験年数
3. 新居浜のいいところ
 - ・住んでいて「ここがいい」と思うポイント
 - ※ 全般的な意見
 - ・新居浜の「ここが好き」
 - ※ 具体的な場所別子銅山/山田住宅/イオンなどについても聞く
 - ・太鼓まつり
 - ※ どのくらい楽しみにしていますか？
 - ・友達が市外から訪ねてきた時どこを案内しますか？
4. 新居浜での子育て
 - ・新居浜は子育てしやすいまちですか？
なぜそう思いますか
 - ・子育てで困っている点はありますか？
5. これからの新居浜
 - ・新居浜をもっとこういうまちにして欲しい、こういうまちにしたい
 - ※ 自由に意見をもらおう
6. 住み続けたいか
 - ※ 今後の意向

新居浜市 主婦ワークショップ 事前アンケート

6月30日ワークショップ当日ご来場時に記入の上お持ちください
ご記入内容はご記入者の個人が特定できるカタチで公表されることはありません

Q1.年齢 ()

Q2.ご職業 ()

Q3.ご家族構成 ()

Q4.「新居浜に住むこと」を市外に住んでいる友人・知人などに薦めたいと思いますか。その程度を0点～10点の内から選んでください。

10	非常に思う	9		8		7		6		5	どちらともいえない	4		3		2		1	全く思わない
----	-------	---	--	---	--	---	--	---	--	---	-----------	---	--	---	--	---	--	---	--------

Q4.居住歴

※生まれてから現在までお住いになった場所とそれぞれの居住年数を概略でお書きください

--

Q5.普段よく行く場所をあげてください。その場所に行く理由もお答えください。
※何ヶ所でも結構です。

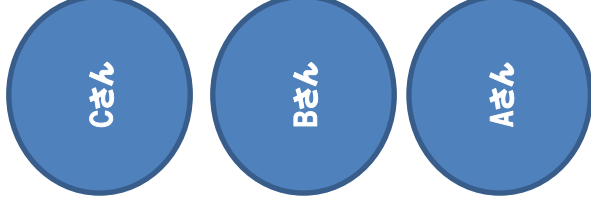
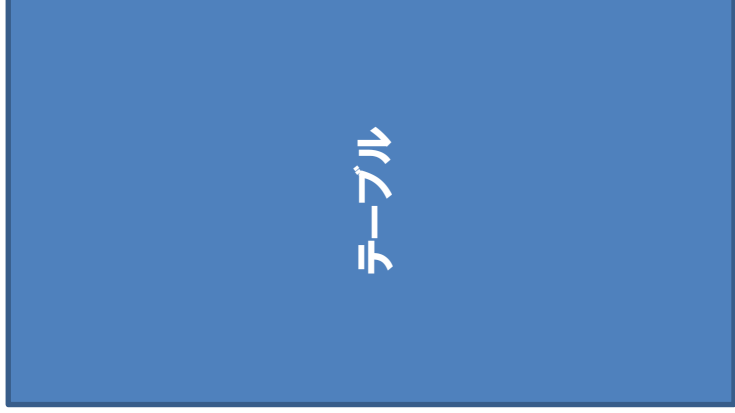
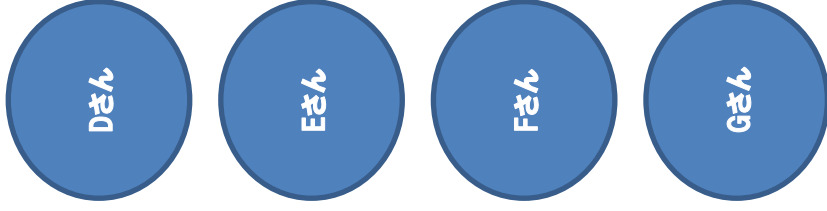
--

Q6.新居浜市内で好きな場所をあげてください。その理由もお答えください。
※何ヶ所でも結構です。

--

会場配置

3人目の子供が9月出産予定 大阪で4年生活してUターン
高校を出て西条市に8年 新居浜市に戻る
ライブ好きママ 福岡に4年居住経験あり
ライブ好き 香川県出身/3歳で新居浜市へ 大学で徳島へ4年居住後 新居浜市に戻る



市の職員 新居浜市で生まれて、市外での居住経験なし
西条市出身、市役所職員（臨時） 西条市に25年、結婚して新居浜市へ
ご主人は会社経営、ご本人も役員 乗馬カヌー、留学経験 夢は新居浜市にオーケストラをすること

出席者プロフィール

N.P.S. (ネットプロモータースコア) とは
新居浜市の推奨度を10段階評価で聞いたもの
10点が最高値

	年齢	ご職業	ご家族構成	N.P.S.
A	40代	会社員	夫、小学生の長女、長男	8点
B	30代	契約社員	夫、長男、長女	7点
C	40代	公務員	夫、子供2人	5点
D	40代	会社員	両親	6点
E	30代	団体職員	夫、子供	5点
F	40代	会社員	夫	5点
G	30代	会社員	夫、長女、次女	5点

よく行く場所/好きな場所

	よく行く場所	好きな場所
A	山根公園、瑞応寺、内宮神社、岡山県倉敷市美観地区、三井アウトレットモール、愛媛県松山市愛媛県立美術館、伊予鉄高島屋、ひめぎんホール、新居浜市別子銅山記念図書角野分館、本館、荷内、西条市立図書館	瑞応寺、フォレスターハウス、 ゆらぎの森、荷内、別子銅山記念図書館、図書館角野分館
B	新居浜イオンモール、マリパーク、西条児童館、とべ動物園、あかがねミュージアム	マリパーク、マイントピア別子
C	木村チエーン、イオンモール、夫の実家	旧広瀬邸
D	イオンモール	
E	イオンモール、市民プール	滝の宮、山根、マリパーク
F	イオンモール、マイントピア別子、広瀬公園	旧広瀬邸
G	イオンモール、図書館、土居あたりの浜辺	11号線から星越峠の景色

	未来の新居浜	その他意見
A	<p>文化、芸術が身近にある。いつもある。 素敵な人がいるまち 教育に力を入れて欲しい 知的興味を満たしてくれる 市民が市政にもっと関わられるまちづくりなど 自然をそのまま残してくれる</p>	<p>あかがねミュージアムはもう少し利用しやすくして欲しい 文化芸術教育環境</p>
B	<p>川と公園が同じ場所にあつたらいいな 兄弟同じ保育園に行けたらいいな 主婦が働きやすい職場を増やして欲しい（就職先） もっとバスを便利に使いたい</p>	<p>子どもが使えるバスが欲しい</p>
C	<p>誰でも学びやすい機会がある 雑然としていない綺麗なまち 強みをみんなが共有できるキャッチーさ 前に出ることをはずがしがらない</p>	<p>普通の主婦が学べる機会がほしい ※大学があれば社会人クラスなどが開設される</p>
D	<p>イベント一つの場所に 小学校の寺子屋 100円バス</p>	<p>小規模なイベントをやる決まったスペースが欲しい</p>
E	<p>文化的な行事があるまち 今ある公園などのメンテナンスのできているまち 車以外でも移動のしやすいまち</p>	<p>子どもにいろいろな体験をさせたい 車以外の移動手段が欲しい 子どもやお年寄りが移動しやすいまちにして欲しい 公園整備</p>
F	<p>多様に生で体験、触れ合いができるように プライバシーのある人のつながりがあるまち のびのびと生活できるまち 子供でも移動しやすい環境</p>	<p>子どもたちが移動する手段がない</p>
G	<p>もっと芸術文化に触れやすいようにイベントを充実させて欲しい 市民が参加情報を知りやすくして欲しい ソウルフードがあるまち</p>	<p>あかがねミュージアムは駅周辺が寂しいので行く機会が少ない 何をやっているのかの情報伝わりにくい 美味しい食べ物がないので友達も呼びにくい</p>

- 多くが新居浜出身者 Uターン
高校までは新居浜/卒業して市外へ/就職してしばらくは市外にいるが「帰ってくれば」の一言（母親）で新居浜に戻る
新居浜で相手を見つけて結婚/子ども育てる
5人/8人がそういうタイプのUターン
- 周囲もほとんどが1度市外に出る
移住後学校が終わって戻る、そのまま就職する、結婚するなど
- 新居浜で結婚/子育て
実家が近いので子育ては実家がサポートしてくれるので働きに出ることが可能に
結果的にほぼ三世帯世帯
住宅費が安いこともあって生活は安定しているようだ

これが新居浜のしあわせ方程式

ただ、みんな大都市の空気を吸ってきたので少し物足りなさを感じている

「未来の新居浜」

- ライブな文化芸術ニーズ 子どもに触れさせたい
大都市生活経験があるので物足りなさを感じているようだ
あかがねミュージアムはまだ定着していない
場所の問題/駐車場・交通の問題/利用料金の問題
- 公共交通機関の充実を求める声
クルマがないと移動できない
子どもやお年寄りが自由に移動できるまちがいい
- 公園/まちの景観整備を求める声
- 新居浜らしさを明確化してほしい
一言で言える言葉/ソウルフード/まちのミッション

勤労男性ワークショップ実施記録

20160823実施

新居浜市 勤労男性ワークショップ

目的 : 新居浜市に働く男性の新居浜に対する意識把握

実施日時 : 2016年8月23日 (火) 午後7時～8時半

場所 : 新居浜市役所 33会議室

出席者 : 新居浜在住勤労者 (市外からの転入者) 4名
オブザーバー (新居浜出身Uターン者) 1名
事務局3名
司会者、アシスタント4名

テーマフロー

1. 主旨説明/ファシリテーター自己紹介

2. 参加者自己紹介

・ワークショップ中の呼び方/ネームカード記入

・年齢/仕事/家族構成

・居住歴

生まれた場所/新居浜に住んで何年? /市外に住んだ経験年数

3. 移住してきて第一印象

・それは変化しましたか

・ご家族の反応はいかがでしたか

※以下の4.5.は2.でいろいろ出た場合は補足程度

4. 新居浜のいいところ

・住んでいて「ここがいい」と思うポイント

※全般的な意見

・新居浜の「ここが好き」

※具体的な場所

別子銅山/山田住宅/イオンなどについても聞く

・太鼓まつり

※どのくらい楽しみにしていますか?

・友達が市外から訪ねてきた時どこを案内しますか?

5. 新居浜の嫌いなところ/不満に感じるところ

6. これからの新居浜

・新居浜をもっとこういうまちにして欲しい、こういうまちにしたい

※自由に意見をもらおう

7. 住み続けたいか

※今後の意向

新居浜市 市民ワークショップ 事前アンケート

ご記入内容はご記入者の個人が特定できるカタチで公表されることはありません

Q1.年齢 ()

Q2.ご職業 ()

Q3.ご家族構成 ()

Q4.「新居浜に住むこと」を市外に住んでいる友人・知人などに薦めたいと思いますか。その程度を0点～10点の内から選んでください。

10	非常に思う	9	8	7	6	5	どちらともいえない	4	3	2	1	0	全く思わない
----	-------	---	---	---	---	---	-----------	---	---	---	---	---	--------

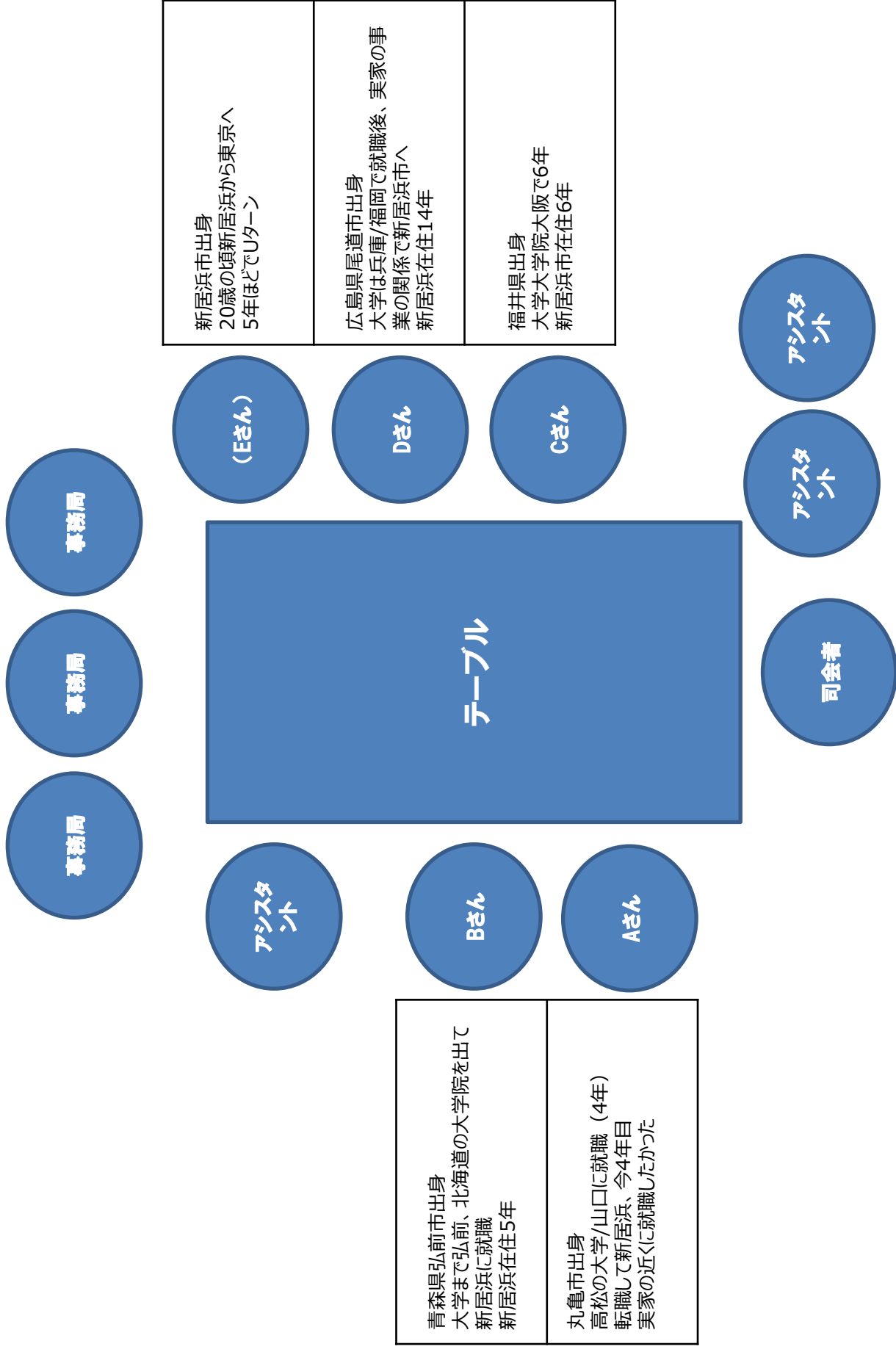
Q4.居住歴

※生まれてから現在までお住いになった場所とそれぞれの居住年数を概略でお書きください

Q5.普段よく行く場所をあげてください。その場所に行く理由もお答えください。
※何ヶ所でも結構です。

Q6.新居浜市内で好きな場所をあげてください。その理由もお答えください。
※何ヶ所でも結構です。

会場配置



出席者プロフィール

	年齢	ご職業	ご家族構成	N.P.S
A	30代	会社員	妻（自営業） 長男、長女	3点
B	20代	会社員	妻（北海道出身、市役所勤務） 子ども1人	3点
C	20代	会社員	単身	5点
D	30代	自営業	妻（新居浜出身） 長女	7点
(E)	40代	自営業	妻、長男、長女	6点

N.P.S.（ネットプロモータースコア）とは
新居浜市の推奨度を10段階評価で聞いたもの
10点が最高値

よく行く場所/好きな場所

	よく行く場所	好きな場所
A	イオン新居浜 (買い物) 滝の宮公園、上部児童センター (子どもの遊び) 香川実家 さぬきこどもの国	滝の宮公園
B	イオン (買い物、レジャー) ハローズ (買い物)	
C	イオン (最低限の生活用品等を購入するため) ハローズ (深夜営業している数少ない店舗のため)	特にない
D	敷島通り (食事)	マリンパーク新居浜 (海が好きだから)
(E)	なが清 (新須賀町) 地元の料理屋 地元の仲間と新鮮な魚介を楽しむ	沢津漁港 地元の漁協や市場があり、また夜には菊本工業地帯が一望できて美しい

移住してきて第一印象/ご家族の反応はいかがでしたか

	第一印象	その後の印象
A	<p>初めて電車で来た時、一緒に来た妻は「本来にこれ大丈夫」と不安を口にした 菊本の工場に着いて、工場地帯なんだなと少し安心した</p>	<p>子ども遊ばせる場所が少ない 雨が降ると行くところがない 夏だと西条へ川遊びに連れて行く 買い物とか遊びだと松山まで出る 交通マナーが悪い</p>
B	<p>最初に来たのは学生で就職面接で、当時は駅の周辺もガーデンとしていたという印象 来たときは独身、妻は札幌市出身、妻ははじめは抵抗はなかったけれど今は不満</p>	<p>交通網が貧弱 休みの日に行くところが少ない、いざ住んでみたら子どもを遊ばせるところが少ない 最近できたマイントピア別子のポーネルンドぐらい、それも少し遠い 結局イオン</p>
C	<p>大学時代は大阪だったので、誰もいないという第一印象</p>	<p>来た時に比べればコンビニが少し増えた 2年ほど前にセブン-イレブンが出来てやっと新居浜にも出来たと思った 独身なので遊ぶ時は松山の方に出る</p>
D	<p>自分も田舎育ちなのでそれほど驚かなかった 人口の割に飲み屋が少ない 女性の口調がきついと思った</p>	<p>休みの日は県外に出ることも多い 神戸まで行くこともある</p>
(E)		

嫌いなところ

	好きなところ/嫌いなところ	太鼓まつり
A	<p>付き合いのある人はあまり広がりが無い 住宅や保育園の関係で接点はあるが、地元の人との接点は少ない（コミュニティが分断？）</p> <p>新居浜のいいところは特にな 5年間いたが思い入れはない 会社関係しかないことで閉鎖的な印象がある/活気が無い</p> <p>家を新居浜に建てたので、転勤するときも単身で行くつもり</p>	<p>祭り自体はいいと思うが、工場前などはケンカがひどいので二度といかない 上部の会場には子どもも連れて行く</p>
B	<p>県外同士の方が話が合うのか、そういう人との付き合いが多いようだ 会社の周囲の県外から来た人は同じような印象を持っていると思う</p> <p>住友の城下町ということで働き口は多い印象がある</p>	<p>祭りは出たことはない 1回見ればいい、やってくる人は楽しいだろうけど</p>
C	<p>好きなところはない</p>	<p>来て3年間は祭りの時期は新居浜にいないようにしていた 近所の人に誘われて上部の祭りに参加するようになった 川西の方の祭りは行かないし、あまりいいものではない 外部の人には入り込めない</p>
D	<p>仕事からみで地元の人との接点もできた 妻の実家も新居浜なので</p> <p>若い人が少ないので、活気のなさになっているかも知れない 市外の人が入りにくいかもしれないが、入りこんでみると大らかであまり閉鎖性は感じない</p>	<p>祭りにも参加するようになった</p>
(E)		

未来の新居浜	
A	<p>子どもを連れての外食場所が少ない イオンにすべてが集中している状態をなんとかして欲しい 将来は丸亀市に戻る</p>
B	<p>これといったものがない 名産/名物が少ない、特にアピールしていない 将来は妻の実家の札幌市に戻ると思う</p>
C	<p>特に希望ということではないが、個人的には営業時間が長くなってほしい/土日休みも多い 仕事が終わるのが遅いので食事も困る 多分実家の福井市に戻るだろう 結婚相手を新居浜市で探す気にはならない 周囲に新居浜市の人と一緒にあった人がいないわけではない</p>
D	<p>すべて中途半端 祭りも上部はいいけど、駅前も、食べ物も別子山もこれだということになってない</p>
(E)	<p>自分も若い頃新居浜市が嫌いで出て行った 戻るとき腹を決めて帰ってきて、子どもも新居浜市で生まれてだんだん馴染んできた 別子山もその人の話を聴くと深みがわかってきた 自分の子どもも外に出ても戻って欲しい 戻ってきたくなるようなまち、他県から来た人もいいところと思えるようなまちにするのが自分たちの務めだと思う</p>

- 4人中3人は技術系の研究職
就職する段階である程度覚悟して来ている
しかし、住み始めてもまちに対して不満は多い
- 地元出身者との接点が少ない
技術系の3人は人間関係も会社がらみがか中心で、「県外」同士の付き合いがほとんど
自営業の参加者は、新居浜市出身者と結婚しており地元で溶け込んでいる
- 太鼓祭りにも関心は薄い
川西の荒っぼい祭りに抵抗感が強い
上部の会場には出かける
自営業の参加者は祭りにも参加している
- あまり期待もしていない
新居浜市の将来についても積極的な意見はあまり出なかった
名産/名物があまりない
すべてが中途半端、駅前も食べ物も別子山も新居浜らしさになっていない
- 家族で出かける場所が少ないことが大きな不満
休日に子供と過ごす場所が少ないことがまちへの不満として大きかった
結局イオンに行くことへの不満
市外に足を延ばすことが多い
- 老後は新居浜から離れる
まちへの愛着が薄く、（老後）仕事がなくなればまちを離れる意向を持っている

高校生ワークショップ実施記録

20160728実施

新居浜高校生ワークショップ

目的 : 新居浜市内の高校生の新居浜に対する意識把握

実施日時 : 2016年7月28日 (木) 午後1時~3時

場所 : 新居浜市役所 5階大会議室

出席者 : 新居浜南 男子3名 女子8名
(3年3名 2年7名 1年1名)
新居浜東 男子2名 女子2名
(3年4名)
新居浜商 男子2名 女子2名
(3年4名)
合計19名

テーマロー

1.自己紹介 (全体)
名前/学校/学年
今何に夢中ですか?

2.2Gにグループ分け

※グループ分けは特に意味を持たせない
NPSの上位グループと下位グループでグループ分けを行った
各グループの進行役を決める
博報堂メンバーが各グループに1名入りサポート

3.「新居浜のここが好き、ここが嫌」
議論30分+発表10分

4.ディスカッションテーマ2
「新居浜、こうなるといいな」
議論30分+発表10分

5.まとめ+感想
合計2時間

新居浜市 高校生ワークショップ 事前アンケート

7月28日ワークショップ当日ご来場時に記入の上お持ちください
ご記入内容はご記入者の個人が特定できるカタチで公表されることはありません

- Q1.年齢 ()
- Q2.在籍校 ()
- Q3.ご家族構成 ()

Q4.市外の友人などの家族が「新居浜に住むこと」を検討している時、あなたは薦めたいと思いますか。その程度を0点～10点の内から選んでください。

10	非常に思う
9	
8	
7	
6	
5	どちらともいえない
4	
3	
2	
1	
0	全く思わない

Q5.居住歴

※生まれてから現在までお住いになった場所とそれぞれの居住年数を概略でお書きください

Q6.普段よく行く場所をあげてください。その場所に行く理由もお答えください。
※何ヶ所でも結構です。

Q7.新居浜市内で好きな場所をあげてください。その理由もお答えください。
※何ヶ所でも結構です。

Q8.高校卒業後の進路について今のお考えをお聞かせください

- 1.卒業後も新居浜に住み続け進学就職などをしたい
 - 2.卒業後は市外に出て進学就職などをしたい
- ↓
- 市外に出たいとお答えの方にお聞きます
- 1.市外に出て2,3年後には新居浜に戻って住みたい
 - 2.市外に出て4,5年後には新居浜に戻って住みたい
 - 3.市外に出て将来的には新居浜に戻って住みたい
 - 4.市外に出て将来的に新居浜に戻ることはないと思う

出席者プロフィール

名前	年齢	高校名	ご家族構成	N.P.S	高校卒業の進路
A	16	新居浜南高等学校	父、母、妹	7点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
B	16	新居浜南高等学校	父、母、妹	6点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
C	16	新居浜南高等学校	母、兄	7点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
D	17	新居浜商業高等学校	未記入	6点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
E	17	新居浜商業高等学校	未記入	2点	2-1 市外に出るが2,3年後には戻りたい
F	18	新居浜東高等学校	父、母	6点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
G	18	新居浜東高等学校	4人家族	5点	未記入
H	16	新居浜南高等学校	父、母、弟	5点	2-2 市外に出るが4,5年後には戻りたい
I	18	新居浜南高等学校	父、母、祖母	7点	2-2 市外に出るが4,5年後には戻りたい
J	17	新居浜南高等学校	父、母、長女、次女、 三女	9点	1 卒業後も新居浜に住みたい
K	17	新居浜南高等学校	母	10点	2-1 市外に出るが2,3年後には戻りたい
L	17	新居浜南高等学校	父、母、弟	9点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
M	17	新居浜東高等学校	父、母、兄	9点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
N	18	新居浜東高等学校	父、姉、姪	8点	1 卒業後も新居浜に住みたい
O	17	新居浜商業高等学校	未記入	10点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
P	17	新居浜商業高等学校	未記入	9点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
Q	16	新居浜南高等学校	父、母、祖父、祖母、 兄	10点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい
R	17	新居浜南高等学校	母、祖母	10点	1 卒業後も新居浜に住みたい
S	16	新居浜南高等学校	祖母、父、母	8点	2-3 市外に出るが将来は戻りたい

N.P.S.

(ネットプロモータースコア)とは
新居浜市の推奨度を10段階評価
で聞いたもの
10点が最高値

よく行く場所/好きな場所

名前	よく行く場所	理由	好きな場所	理由
A	イオンモール	買物	古墳公園	家が近いから
B	イオンモール	買物、映画	マリンパーク	海
C	イオンモール	買物	マイントピア別子	観光抗道がいい
	コスモス	学校に近いから	イオンモール	もう少し大きくなったらもっと好き
D	イオンモール	買物、お店が集まっているから	渦井川	落ち着く
	イオンモール	新居浜で一番大きいショッピングモールだから	広瀬公園	四季を楽しめるから
E	マルナカ	買物	広瀬公園	
	コンビニ	立ち寄りやすい	マイントピア別子	
F	学校	勉強に励むため		
	ハローズ	買物	国領川河川敷	四季を楽しめるから
G	イオンモール		武徳殿	雰囲気が好き
	イオンモール		瑞芯寺	秋の紅葉がとても綺麗
H	カラオケ店	遊ぶため	別子銅山のロード	
	本屋	歌うため	滝の宮公園	
I	イオンモール、TSUTAYA、東平、明屋書店		イオンモール	いろんな人がいて楽しい、買物しやすい
	イオンモール	母とよく買物に行く、なんでも揃うから	東平	歴史ある建物がある
J	イオンモール		別子銅山	
	イオンモール		東平、マイントピア別子、TSUTAYA、フォレストハウス	
K	イオンモール		マイントピア別子	別子銅山の魅力が詰まっている、楽しく学べる
	学校		東洋のマチュピチュ	風景が好き、別子銅山の運搬の近代化の象徴だから
L	学校		東平	
	スパ-	買物	イオンモール	景色がいい、涼しい
M	イオンモール	新居浜で一番大きいショッピングモールで、友達と遊ぶのにいい	黒島公園	いろんなお店があって楽しいから
	スパ-	食べ物を買うため	家	長い滑り台が楽しい、近くに海があるから
N	イオンモール		学校	安心するから
	学校	新居浜市には遊ぶ場所がないから	垣生海岸	友達と会えるから
O	図書館	通っているから	春の河川敷	景色が綺麗だから
	図書館	将来のために絵本を借りる	図書館	広くてBBQも宿泊することができ、家族とも友達とも遊べるから
P	コンビニ、マルヨシ、イオンモール	買物や遊びに行く	イオンモール	桜が満開になるととても綺麗だから
	イオンモール、マルナカ、コープ	買物	駅前や公園	落ち着くから
Q	イオンモール	買物	イオンモール	買物
	イオンモール	買物	イオンモール	設備が整っていたり、綺麗な場所が多いから
R	イオンモール	買物	イオンモール	
	イオンモール、明屋書店、BOOKOFF	買物	マイントピア別子	物が沢山あり、便利だから
S	イオンモール、明屋書店、BOOKOFF	買物	科学博物館、イオンモール	観光抗道が楽しい
				楽しいから

好きなおところ/嫌いなおところ（Aチーム）

好きなおところ	嫌いなおところ
東洋のマチュピチュ（別子銅山）	観光施設が活かされていない
歴史がすごい（別子銅山）	観光施設が遠い
歴史がある	マイントピアから他の所に行く交通手段が少ない
自然が豊か	他県の人に紹介する場所がない
自然が多い	宿泊施設が少ない
近くに自然もあるし、ショッピングモールもあるところ	地域コミュニティ
海と山に囲まれている	市外に住みたい人が多い
海も山も近くにあるところ	高校によって地元のことを知る機会が異なる
人のあたたかさ	若者の地域に対する意識の低さ
地域のつながり	遊べる所が少ない
公園がたくさんある	大学がない
人が優しい	人が集まる場所が限られている
近所の人と距離が近い	中高生が遊んだり、自由に勉強したりする場所がない
観光客が増えるかも？新居浜が綺麗になった、好きになった	遊びに行けるところが少ない
人が少ないが都市計画が進んでる	地元が衰退していついていっていることに緊張感を持っている人が少ない
お祭りが盛ん	遊ぶ場所が限られている
地域一体となる祭りがあるところ	学校にエアコンがない、全高校に設置して欲しい
学校が多い	上部地区にあまり遊ぶところがない
学校が多くある	街灯が少ない
各高校に特色がある	コンビニの場所が近い
市内の小中全てがユネスコスクールに認定	交通手段が少ないところ
介護施設が多い	

好きなおところ/嫌いなおところ（Bチーム）

好きなおところ	嫌いなおところ
太鼓祭り	道路が狭い
太鼓祭り	バス、電車のどの交通の便が悪い
太鼓祭りがある	交通の便が悪い
太鼓祭りがある	大学がない
太鼓のお祭りがある	猫カフェがない
太鼓祭りがある	商店街に訪れる人が少ない
方言がある	別子銅山以外に名所がない
産業遺産がある	名所が少ない
多くの歴史がある	はつきりした特産品がない
別子銅山がある	ふぐざく・ざんき
別子銅山	川で泳げない
武徳殿	夜に出歩く人が多い（バイクなどの音が迷惑）
鷲尾助解治	祭りでケガをする人や逮捕される人が多い
公園が多い	祭りの日にケガ人がでてしまふ、祭りの時に体調が悪くなった時に行動できない
公園が多い	口が悪い
広瀬公園が綺麗	ながらスマホが多くなってきている（歩きスマホなど）
山と海とが近い	たまり場になる場所が多くなってきている
自然が豊か、川が綺麗、緑が多い	市の中心となる場所がない
河川敷の桜並木	
自然が多い、広瀬公園など	

次の新居浜（Aチーム）

次の新居浜
観光施設を増やす（山田社宅など）
住みたいまちを続けたいまちにする
新居浜市の歴史をみんなが知れるようになるという
空き家を利用（宿泊施設、古民家Caféなど）
空き家を有効に使う
別子銅山の産業遺産を実際に利用する
歴史遺産を守っていく
外から来た人を歓迎できるまち、宿泊、観光など
インターから出てすぐに新居浜市の地図や看板などを設置する
科学博物館のプラネタリウムをもっと紹介する
祭りの日に県外や市外から来て頂いた人に違う観光地をアピールする
行事とかを増やして地域の人たちのコミュニティを深めていけるといい
生活しやすいまち（子育て支援、教育、仕事、遊ぶ場所）
防災意識の高いまち
子育て支援の活性化（父子、母子家庭など）
ボランティア活動を自分たちで考えてできるようなのを作ってほしい
Free wifi の設置
危険な場所の整備をして欲しい（ガードレールなど）
昭和通りを活性化して欲しい
昭和通りの活性化
遊べる所を作ってほしい
イオンモール以外にも人が集まりやすい場所を増やして欲しい
若者の交流の場を増やす
進歩できる場所をつくる
特産品をつくる
格差ない大きなサイフクンTカード？
休日や祝日などに新居浜周遊バスをもうける
交通手段を増やして欲しい
バスとかの交通手段を増やして欲しい
バスの一日券ができて欲しい
あかがねミュージアムをもっと活用する
あかがねミュージアムを使った若い人も高齢の方と楽しめる催しを考える、開催して欲しい
あかがねミュージアムの活用

次の新居浜（Bチーム）

次の新居浜	
観光客が来やすいような太鼓祭りの実行（よい場所を案内して欲しい）	
スポーツを発展→観光客を増やす	
駅に新居浜の案内板を作る←観光客	
団体ホテル	
産業遺産を生かしたまち作り（山田社宅、星越エリア）	
新居浜を出てもまた戻ってきたいと思えるように	
お年寄りのため、住み続けたいと思えるまち（福祉など）	
花の多いまちにしたい	
滝の宮公園 安心	
展望台をもっと	
環境をアピール	
白いキヤラもち	
特産品を作りたい（子供が食べやすい）	
イオンモールしかない、もっと店が欲しい（服がかぶる）	
イオンモールだけじゃなくもっと人が集まるような施設にして欲しい	
商業施設を増やして欲しい	
商店街がにぎわって欲しい（喜光地昭和通り）	
商店街に猫カフェ（商店街がにぎやかに）	
時代にあった店	
ゲームセンター アウトレットモール（安くいろんなものが買える）	
雇用形態が安定して新居浜に戻っても働く場所があったらいい	
イクメンがいるまち（男の人でも育児休暇が取りやすいまち）	
育休を異性でも取れやすい イクメンのまち	
将来的に家庭を持つことになる子育てしやすい環境があったらいい	
例えば子育てしている人同士の交流や支援制度があれば女性の方も安心して子どもを育てることができると思う	
バス、電車の運賃を安く便を多くして欲しい	
道路の整備	
路面電車など、交通手段を増やして欲しい	
交通ルートをもっと多くしたい	
県内外に訪れる新居浜	

地震や津波が起こった時にすぐに救助できるように情報提供をもっと早くして欲しい

放送

ボランティアをもっと盛んに（まちの活性化）

河川敷 花火大会後の掃除

ゴミ拾い大会（食品、日用品あり）

若い人達に自治体をつくる（青年団）

祭りの時もみんなが楽しめるケガ人が出ない祭りにしたい

暴力暴言のないまちになって欲しい

夜の何時以降に出歩かないなどルールを守れるまちにしたい

中高生でも祭りに参加できるようにしたい

- 19人中市外に出る予定は15人
 新居浜にそのまま住み続ける人は3人、未回答者が1名
 やはり高校卒業後転出の傾向ははっきりと出ている
 卒業後の進路（事前アンケート）
 Q8.高校卒業後の進路について今のお考えをお聞かせください 未記入1名
 1.卒業後も新居浜に住み続け進学就職などをしたい 3人
 2.卒業後は市外に出て進学就職などをしたい 15人
 ↓
 市外に出たいとお答えの方にお聞きます 15人中
 1.市外に出て2,3年後には新居浜に戻って住みたい 2人
 2.市外に出て4,5年後には新居浜に戻って住みたい 2人
 3.市外に出て将来的には新居浜に戻って住みたい 11人
 4.市外に出て将来的に新居浜に戻ることはないと思う

- 市外に出たあとのUターンについて、全員が戻って住みたいとしたものの、「4,5年で」と答えた人は4人/15人にとどまる

- 「好きどころ」では太鼓まつり、別子銅山、自然、公園などが上がる
 「嫌いなところ」には遊ぶ場所がないこと、市内の交通が不便なこと、市の中心になる場所がないことなどがあがり、観光歴史資産が活かされていないという指摘もあった

- 故郷が魅力的であって欲しい
 今回は新居浜の観光資源をテーマにする文化サークルメンバーが多かったこともあって、観光活性化への取り組みを求める声が多かった
 その背景として自分の育った故郷への思いも強く感じられた
 子育て支援、教育、仕事、遊ぶ場所などの領域で「帰ってくる時にいいまちであって欲しい」という思いが感じられた
 また「昭和通りの活性化」「市内交通整備」「あかがねミュージアムの有効活用」などの声が複数あった

西高教諭ヒアリング記録

20160630実施

新居浜市 西高教諭ヒアリング

目的 : 西高の生徒の進学・転出・Uターンの状況を把握するために、進路指導の先生方へのヒアリングを実施した

実施日時 : 2016年6月30日(木) 午後1時半～2時半

場所 : 新居浜西高等学校 会議室

出席者 : 高須賀先生
西高5年目・数学・東温市出身・松山南高・進路課長
新居浜市在住13年目・南高勤務経験あり
池本先生
西高3年目・英語・松山市出身・進路指導主事
西条市在住
大内先生
西高2年目・国語・松山市出身・松山南高・進路課員
事務局3名
インタビュアー2名

テーマフロー

- 先生の自己紹介
ご担当教科/西高の在勤期間
ご自身のご出身
- 西高の特徴/新居浜での位置づけ
- 西高生徒の進路の特徴/傾向などについて
最近になって何か変化があればお聞かせください。
男女による差についてもおしらせください。
学生の郷土愛/郷土意識
- 大学卒業後の進路について
伺いたいのは大学卒業後の就職状況やUターン状況ですが、
正確な資料などである必要はなく、あくまでも実感で結構です
- 就職意識
地元・四国、東京、首都圏、関西圏、海外など地理的な傾向
大企業、IT系、官庁など対象企業などへの意識
地元企業への意識などお気づきの点をお聞かせください。

* 発言要旨（進路状況含む学校案内の資料あり）

－西高の特色

- ・進学を目指す中学生が入ってくる。800名中、西条市から50名、四国中央市から100名程度。国立を含む難関大希望者が多い。
- ・西高祭など、学校行事は生徒たちが主体。
- ・本校、高専、東高の併願が多い。高専は国立で先に合格が出るので、合格したら専願で向こうに行く仕組みになっている。

－進学状況

- ・男女比は女子の方が多い。90%以上が国公立大希望。自宅からは通えないので、学費が安い国公立を希望する割合が高い。
- ・275名の卒業生中、国公立合格は現役で150名（130名進学）。あとは私立大学。一部看護系など専門学校。浪人は21名。
- ・進学240名中、中四国地区半分程度、近畿50名程度、関東4-50名程度。
- ・女子だから地元志向があるわけではない。松山だと家から通える松山大学、愛媛大学があるが、新居浜市からは通える大学がないので、どうせ家を出るなら例えば岡山に行くことになる。
- ・7クラス中理系4、文系3。
- ・昔はとにかく勉強して大学に行けということだったが、平成14年からキャリア教育が始まり、何がしたいからどの大学・学部・学科という選択をする傾向が強まっているように思う。進路指導も何かやりたいかを必ず聞くようになっている。
- ・一般の高校より理系が多く、その大半が看護や医療の資格がとりたいという希望を持っている。
- ・工業のまちというイメージもあって、理系が多いのではないかと。保護者の勤め先も関係しているかもしれない。商業のまちである今治は文系の方が多い。理系の方が多い高校は珍しい。工学部志望者も多い。女子は理学療法士、作業療法士、臨床検査技師など医療系、薬学を志望する子が多い。資格を取っても就職の時に難しいからと言って、看護を勧める場合もある。
- ・ゆとり教育の頃に、中学受験をする生徒が出てきた。松山では小学校から中学校に進む時に必ず受験をするか聞くようになっている。これは新居浜だけの傾向ではない。

－大学卒業後の進路

- ・高校の先生も入れ替わるし、把握は難しい。教員や住友関係者で新居浜市出身の人に会うこともあるが。
- ・31歳の西高出身の先生が同僚にいますが、彼の同級生で新居浜に勤めているのを知っているのは2,3人だそう。
- ・松山（の近隣）に住む人の方が大学でも就職でも外に出ない。愛媛大学に行くなら車1台買ってあげるよという話も聞く。松山南高（松山市の進学校）の卒業生400人中、愛媛大学には100人以上（自分たちの頃は150人？）行く。
- ・前任校の今治の理系のクラスの卒業生（男子30人、女子10人）に連絡を取る機会があったが、男子で戻っているのがわかったのは県庁の1人だけだった。女子については岡山で看護の仕事をしていて戻ってきた話も聞いたが、男子はほとんど戻ってきていないのではないかと。今治も新居浜も同じだろう。
- ・工業や商業は就職者が多いので、地元も多いが、進学先が市内にはないので、進学者はあまり戻ってこないと思う。
- ・前任校の宇和は国公立進学は10人程度だが、資格を取りたい希望が高く、松山の河原学園という専門学校などへ行く。就職は地元に戻る子も多いようだ。看護・医療系など。

一 高校生の進学や地元への意識

- ・ 個人個人で違うが、地域活性化という問題意識を持って、そのための勉強をしたいという生徒はいる。近くの学校を希望する生徒には新居浜市を活性化したいという者もいる。
- ・ 何をしたいというわけではないが、「新居浜より都会」という憧れを持つ生徒、都会で暮らしたいという生徒が多い。保護者の方も大学の4年間は都会で厳しい、いろいろな経験をしてほしいという人がいる。保護者はその後は戻ってきてほしいというところがある。
- ・ 四国内とか近いところに進学した生徒の方が将来的には戻ってくる可能性が高いような気がする。
- ・ 保護者は都会での経験がある場合が多そうだ。住友関係の保護者は関東出身だったり、関東の大学へ行った人も多いようだ。新居浜出身の保護者も少なくはないだろうが。
- ・ 1年生では地元より都会という話はまだまだあまり出ない。
- ・ 新居浜の生徒は地元が大好きだと思う。大学生も、高校の時中心的に活動していたような生徒は、祭りの時は地元に戻ってきているのではないか。祭りが中心だが、それだけではなく、地域が好き気がする。
- ・ 祭りが好きだから就職まで新居浜ではならない。祭りの日に休めるから地元で就職という生徒もゼロではないだろうが。
- ・ 西高生は太鼓祭りを見たら嬉しいし、嫌いではないが、線引きはちゃんとしている感じ。高校生は神輿を担ぐのは危険なので禁止されている。最終日の午前中までは普通に授業があるが、午後は休みになる。
- ・ 松山出身の自分から見ると、生徒の祭り好きには違和感を持つほどだった。ノートの最初から最後まで祭りの絵を描いている男子もいた。
- ・ 子どもの頃から祭りに携わり、太鼓に触っていると刷り込まれるのだと思う。女の子も祭りを好きな生徒はいる。
- ・ 以前勤務した南高だと、やんちゃな生徒も多く、祭りの後は半分以上がダウンしていて、出席していればいい方だった。

* ポイント

- ・ 西高のような進学校の場合、全員が進学のために新居浜市を出るが、その後市に戻ってくる者は少数派と推測される。この点は、市民アンケート調査で一定の実態把握ができると思われる。
- ・ 新居浜の高校生は、太鼓祭りを中心に、地元が大好きな生徒が多いように思われる。ただし、進学する生徒にとって、そのことが新居浜で就職する（戻ってくる）動機になるとは考えにくい。

発行

愛媛県新居浜市役所
企画部地方創生推進室

〒792-8585

愛媛県新居浜市一宮町一丁目5番1号

TEL(0897)65-1238(直通)

FAX(0897)65-1216

E-mail sousei@city.niihama.ehime.jp

